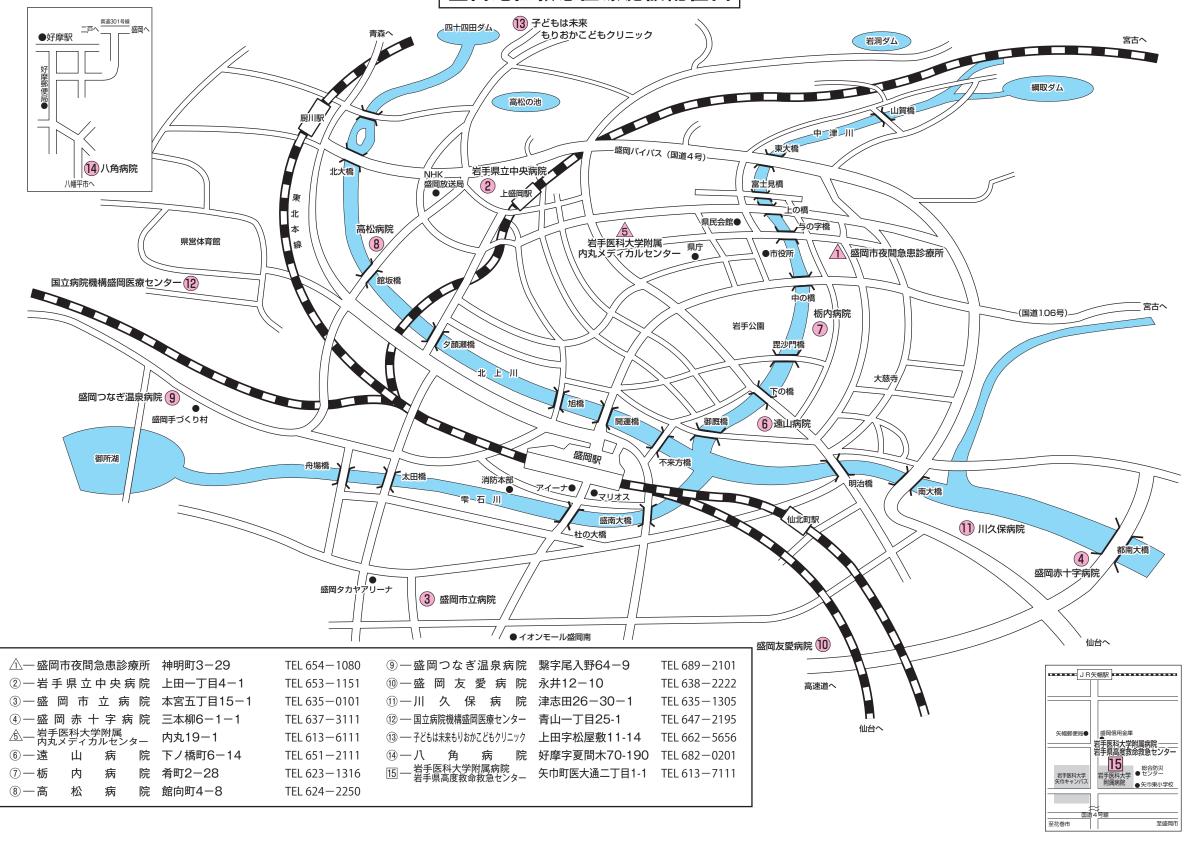
盛岡地区 救急医療体制 のあゆみ

2020

盛岡地区二次救急医療体制40周年特集

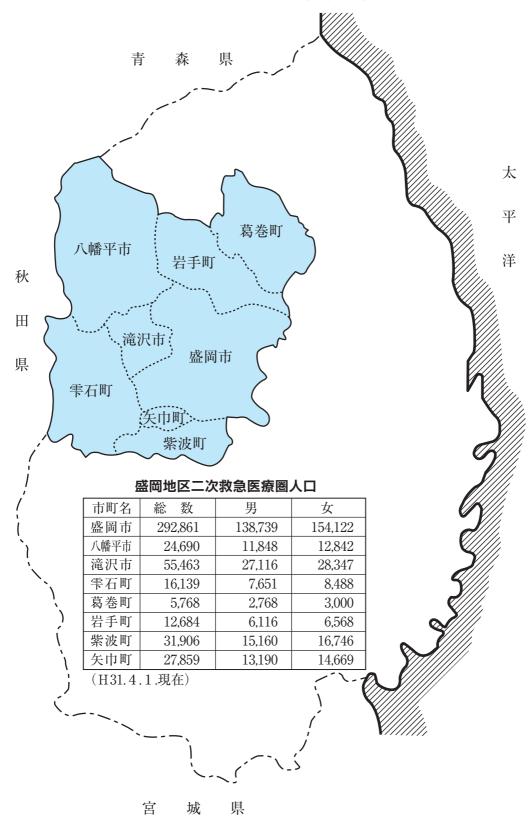
盛岡地区救急医療施設配置図

(令和元年12月現在)



盛岡地区二次救急医療圏

(3市5町)



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ」2020 年版

\Box	\
н	///
н	1/\

序		盛岡市医師会	会長								
		盛岡地区二次	救急医療效	付策委員会委	員長	吉	田	耕太			6
挨	拶	盛岡市保健所	所 長			矢	野	亮	佑		7
		盛岡地区広域	消防組合	消防長		石	井	健	治	•••••	8
I 星	 路間地区	区二次救急医療	体制 40 周	年記念特集				• • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	9
1.	盛岡地	也区二次救急医	療体制 40	年間のまとぬ	ბ			• • • • • •			9
2.	盛岡地	也区二次救急医	療体制 10	年間のまとぬ	ბ		• • • • • •	• • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	29
3.	小児救	文 急病院群輪番	制 10 年間	のまとめ …	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • •	•••••	• • • • • •		•••••	39
Ⅱ. 虿		反間急患診療所									
1.		3告									
		8告・決算・予									
		行日誌から									
		fの現状									
		协医名簿									
		战員名簿									
5.		荔議会									
		₹30 年度第1回									
6.		首打合せ会									
	令和	口元年度盛岡市	夜間急患詞	诊療所従事者	打合せ会		•••••	• • • • • •			64
		高度救命救急セ									
1.		引入院患者数…									
2.											
3.		引入院患者数…									
		モ・搬入方法別									
5.	主な手	手術件数および	内視鏡的液	台療件数	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		•••••	• • • • • •		•••••	70
		び年末年始の救									
1.	令和元	元年度お盆休み	期間中のタ	小 来患者実態	調査報告	·····	• • • • • •	• • • • • •		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	71
2.	令和元	 定年度年末年始	外来患者是	 							76

V. 盛岡地区二次救急医療体制 40 年目のあゆみ ······ 82	
1. 実態報告 82	
2. 経過報告	
3. 令和元年度盛岡地区二次救急医療関係市町会議	
4. 盛岡地区二次救急医療対策委員会133	
5. 盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会139	
6. 第16回盛岡救急医療人のつどい	
7. 盛岡市保健福祉部・子ども未来部との打ち合わせ会	
8.第 37 回救急医療学術講演会(初期・二次・高次救急医療研修会)・・・・・・148	
9. 二次救急病院事務長会議	
10. 令和元年度盛岡市総合防災訓練	
11. 岩手県小児救急電話相談事業(平成 31 年 1 月から令和元年 12 月までのまとめ)… 160	
VI. 救急医療年譜·······166	
VI. 拟心区原中前 100	
VI.	
Ⅵ. 規定・協定書及び設置要項等資料・・・・・	
WI. 規定・協定書及び設置要項等資料·······169	
WI. 規定・協定書及び設置要項等資料 169 1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則 169	
Ⅲ. 規定・協定書及び設置要項等資料・・・・・ 1691. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則・・・・・ 1692. 災害時の医療救護活動に関する協定書・・・・ 170	
W. 規定・協定書及び設置要項等資料1691. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則1692. 災害時の医療救護活動に関する協定書170① 岩手県と岩手県医師会との協定書171	
 Ⅲ. 規定・協定書及び設置要項等資料・・・・・ 169 1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則・・・・ 169 2. 災害時の医療救護活動に関する協定書・・・・ 170 ① 岩手県と岩手県医師会との協定書・・・・ 171 ② 岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書・・・・ 173 	
 Ⅲ. 規定・協定書及び設置要項等資料・・・・・ 169 1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則・・・・・ 169 2. 災害時の医療救護活動に関する協定書・・・・ 170 ① 岩手県と岩手県医師会との協定書・・・・ 171 ② 岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書・・・・ 173 ③ 盛岡市と盛岡市医師会との協定書・・・・ 175 	



序 「盛岡地区救急医療体制のあゆみ」 2020 の発行にあたって

盛岡市医師会会長 盛岡地区二次救急医療対策委員会 委員長 吉 田 耕太郎

本年度より盛岡地区二次救急対策委員会委員長を拝命致しました吉田耕太郎です。 官しくお願い致します。

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ2020」の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

盛岡地区救急医療体制は昭和51年に「夜間急患診療所」が開設、昭和54年に「盛岡地区二次救急医療体制」の運用開始、昭和55年に「高次救急センター」が開設、平成24年よりドクターへリの運行が開始されました。これらの体制構築に尽力された多くの方々と現在まで運用に携わっていらっしゃる全ての関係者のお陰で大きな問題もなく現在に至っている事に心より感謝申し上げます。

東日本大震災・津波から9年、台風10号の被災から4年が経ちましたが改めて被災 された多くの皆様に心から御見舞い申し上げますと共に医師会としては今後も出来る だけの支援を続けて参りたいと思います。

昨年の岩手医科大学病院の矢巾移転に伴う救急患者さんの受診動向の変化に対して も移転前から関係各位で協議し、特定の病院に負担がかからない様に行政からの市民 への啓発などの連携を取り大きな支障なく運用しております。

また、今年は未曾有の新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大、蔓延により日本でも地域によっては医療崩壊の危機に晒されており、未だに終息の目処が立っていない現状です。救急搬送される患者さんの中にも新型コロナウイルスに感染している方がいる可能性もあり現場の救急隊員、受け入れ医療機関の関係者への感染の危険性も付き纏っており、厳重な予防対策も構築し対処して行かなくては救急医療体制も崩壊してしまいます。

今後も何が起こるか予想出来ない中で盛岡地区救急医療体制を維持していくためには、この体制に関わる全ての職種の方々とタクスシスティング、シェアリング等も含めた多職種連携が最も重要になりますのでより一層のご理解、ご協力をお願い致します。



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ―2020―」に寄せて

盛岡市保健所

所長 矢 野 亮 佑

『盛岡地区救急医療体制のあゆみ - 2020 - 』の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

盛岡地区二次救急医療体制が、盛岡市医師会、岩手西北医師会、紫波郡医師会ならびに関係医療機関、消防機関、行政機関および多くの関係団体の皆様のご尽力により、40年の節目を迎えられたことに、敬意を表するとともに心よりお慶び申し上げます。この間、初期救急医療から三次救急医療に至るまで機能分担と連携による救急医療システムが確立され、一次救命処置(BLS)の普及や自動体外式除細動器の設置促進がなされ、さらにはドクターへリの運用が始まり、住民の命と健康を守るため、関係機関の熱意とたゆまぬ努力に改めて深く感謝を申し上げます。

昨年9月には、岩手医科大学附属病院が矢巾町へ移転し、救急医療を含む地域の医療提供体制が大きく変わりました。直後には一部医療機関に患者が集中する状況も見られましたが、現在は盛岡地区の医療機関のご協力と連携により、弾力的に需要を吸収できているものと存じております。盛岡市といたしましても、混雑偏在の緩和のため、盛岡地区8市町で共通のポスターを作成し、広報や医療機関、薬局、福祉施設や他公共施設、スーパーマーケットなどに掲載させて頂き、症状に応じて医療機関を受診することやかかりつけ医を持つことの重要性など、適正な受診の普及啓発に努めてまいりました。

さて、本原稿のご依頼を頂戴したのは、折しも岩手県内で初めて新型コロナウイルス感染症患者が確認された日でした。新型コロナウイルス感染症は患者の8割以上が軽症ないし無症状である一方、1~2割の患者は経過中に重症化し人工呼吸器などの集中治療を要する、広がりやすくかつ死亡リスクも高い厄介な感染症です。保健所では帰国者・接触者外来や盛岡地域外来・検査センターおよび関係医療機関にご協力をいただきながら組織を挙げて帰国者・接触者相談センターの運営や積極的疫学調査などに取り組んでおりますが、救急医療においては搬送された後に同感染症の患者であったことが判明する事例も発生し得ます。徹底した感染対策とともに、二次救急医療体制にご尽力いただいてきた関係機関の皆様の連帯が今改めて試されていると感じずにはいられません。

少子高齢化とそれに伴う疾病構造の変化による救急医療の需要増加、慢性的な医師不足に加えてコロナ禍と、地域医療にとって試練の連続ですが、盛岡市といたしましても住民への救急医療を含む地域医療提供体制に係る情報提供や市町村医師養成事業を通じた医師確保はもとより、保健所として健康なまちづくりの推進、そして感染症蔓延防止策の愚直な実施など、地域医療の下支えの一助となるよう努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、盛岡地区二次救急医療体制の関係者の皆様の御活躍とますますの御健勝を 祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



「盛岡地区救急医療体制のあゆみ―2020―」に寄せて

盛岡地区広域消防組合

消防長 石 井 健 治

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ-2020-」の発刊に当たり、一言ご挨拶を申 し上げます。

日頃から当消防組合の救急業務の円滑な推進につきまして、格別のご理解とご協力 をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

盛岡地区の救急医療体制につきましては、盛岡市医師会、岩手西北医師会、紫波郡 医師会及び関係医療機関のご尽力により、初期救急医療、二次救急医療及び三次救急 医療の体制が確立されるとともに、二次救急病院及び小児救急病院の輪番体制が定着 し、救急医療が円滑に行われておりますことに深く感謝を申し上げます。

また、本年は、日頃の業務にも増して新型コロナウイルス感染症の対応に当たられ、敬意を表するものであります。

さて、昨年は、岩手県立中央病院ヘリポートの開所のほか岩手医科大学附属病院の 新病院への移転が多くの医療従事者の方々のご尽力により無事終了し、救急医療体制 が益々充実されたところであります。

一方で、全国各地においては、8月の九州北部を中心とした豪雨災害をはじめとする自然災害や7月のアニメーション製作会社放火火災や10月の首里城火災など、住民の命と生活を脅かす大きな災害が発生しているところであります。

さらに、全国的に救急出動件数は増加の一途をたどっており、当消防組合においても昨年の救急出動件数は、前年に比べて300件増の18,149件となったところであり、住民の救急医療に寄せる期待は非常に大きくなっております。

当消防組合といたしましては、新型コロナウイルス感染症への対応はもとより、消防機関と医療機関の救急業務の高度化についての協議の場である「盛岡地域メディカルコントロール協議会」に基づき、更なる救命率の向上を図るため、救急隊員の教育訓練の充実、救急救命士及び指導救命士の養成と円滑な運用、岩手県ドクターへリとの連携による救急体制の強化など、関係機関のご理解とご協力をいただきながら救急業務の高度化を積極的に推進し、地域住民の信頼と負託に応えるよう一層努力して参る所存であります。

結びに、プレホスピタルケアの充実と社会的要請に応えるため、引き続き、救急隊 員に対するより一層のご指導とご鞭撻を賜りますとともに、盛岡市医師会のますます のご発展と皆様方の更なるご活躍を祈念申し上げまして、ご挨拶といたします。

I 盛岡地区二次救急医療体制 40 周年記念特集

1. 盛岡地区二次救急医療体制 40 年間のまとめ

はじめに

昭和54年12月1日に発足した盛岡地区二次救急医療体制は、令和元年12月をもって満40年目を迎えた。

その間、参加病院の変遷、新体制への移行、小児輪番病院群輪番制の発足、平成の大合併 と呼ばれる市町村合併、さらには岩手医科大学附属病院の矢巾町移転など幾多の変動を経験 してきた。

この中にあり、盛岡地区の救急医療体制を 40 年間維持できたことは、ひとえに関係各位のご協力と努力の賜物である。

盛岡地区二次救急医療体制の患者受診状況は二次救急医療対策委員会および常任委員会において、毎月の患者受診状況を報告しているが、この 40 年間に蓄積されたデータを集計し、ここに報告したいと思う。

1. 参加病院の変遷

本体制は9病院で発足し、昭和56年(1981年)12月に内丸病院が加わり10病院となった。 その後、昭和58年('83年)7月に、はらた病院が辞退、平成5年('93年)1月に河南病院も辞退し8病院となるが、平成7年('95年)4月1日からは盛岡繋温泉病院(現盛岡つなぎ温泉病院)、盛岡友愛病院、川久保病院の3病院が加わり、輪番病院を南北2か所に置き、輪番病院名を一般に公表する新体制をスタートさせた。

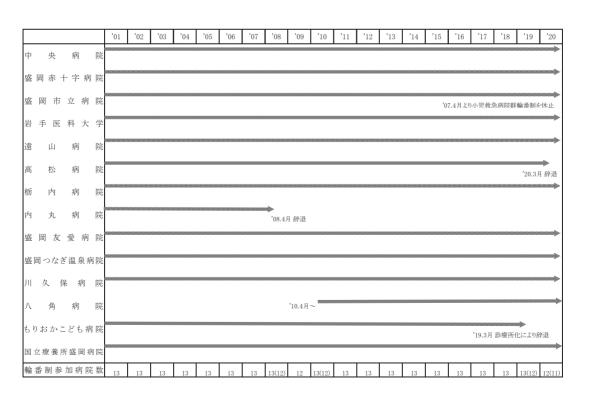
その後、平成 12 年(2000 年) 4 月には国立療養所盛岡病院(現 国立病院機構盛岡医療センター)が二次救急輪番に加わり、その年の 9 月からは南北においていた輪番病院を A、 B の二グループに変更した。

平成20年('08年)4月に内丸病院が辞退。平成22年('10年)4月には玉山村が盛岡市と合併したことにより、八角病院が加入。令和2年('20年)3月に高松病院が辞退したことで、二次救急輪番体制としては現在の11病院体制となる。

また、小児救急病院輪番制については、平成11年('99年)4月に発足し、岩手県立中央病院、 盛岡赤十字病院、盛岡市立病院、岩手医科大学附属病院、川久保病院、もりおかこども病院、 国立療養所盛岡病院(現 国立病院機構盛岡医療センター)の7病院でスタートしたが、小児 科医師不足と勤務医師の高齢化などにより、平成14年('02年)9月に国立病院機構盛岡病院、 平成17年('05年)4月に川久保病院、平成19年('07年)4月に盛岡市立病院の辞退が続き、 4病院に減少。その後、平成20年('08年)に川久保病院が復帰するも、平成31年('19年) 3月にもりおかこども病院の診療所化による辞退、令和元年('09年)10月に国立病院機構盛 岡医療センターが復帰したことで、現在の4病院体制となる。

図1 二次救急医療体制年次別参加病院状況(40年間)

	(1979.12.1盛	岡地区二次輪番係	体制開始)								新体制			小児救	急輸番制		
	1980 '81	$\overline{}$	'84 '85	'86	'87 '88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95 4月~	'96	'97	'98	'99	2000
中 央 病 隊	完																annaip
盛岡赤十字病隊	完																
盛岡市立病隊	完																
岩手医科大学	学																
遠山病	完																mmilp-
高 松 病 隊	完																
栃 内 病 🕅	完						***************************************			***************************************							mmijo-
内 丸 病 隊	完'81.12月~																
河 南 病 防	完									'93.1月	辞退						
原 田 病 隊	完	>	'83.7月 辞退														
盛岡友愛病隊	完																
盛岡つなぎ温泉病院	完																
川久保病隊	完																
もりおかこども病院	完														'99.4月	~	
国立療養所盛岡病院	完														一ヶ輪	野は'2000	0.4E~
輪番制参加病院数	数 9 9(10	0) 10 10(9)	9 9	9	9 9	9	9	9	9	9(8)	8	11	11	11	11	13	13



II 40 年間の患者データについて

盛岡地区二次救急医療体制に関する患者データについては、「盛岡地区救急医療体制のあゆみ」として、1年間の集計を行い、昭和56年(1981年)より毎年発行している。

この「あゆみ」のデータをもとに40年間の患者数をまとめ、報告する。

なお、発足が昭和 54 年 12 月であったため、当初から 1987 年までの年間データは前年 12 月~当年 11 月までの集計としているが、平成元年発行の「あゆみ」掲載の 1988 年の年間データからは 1 月~ 12 月までの集計としている。

2001 年に発行された「あゆみ (20 周年特集) においても、この集計内容によってデータがまとめられているため、これから報告する 40 年間のデータも各年に発行されたあゆみのデータに基づき集計を行っている。

1979 年 (昭和 54 年) 12 月より 2019 年 12 月末までの 40 年間の患者総数はおよそ 208 万人 (2,084,436 人) で、そのうち入院患者数は 248,413 人と来院患者の約 1 割強であった。患者総数の年次別推移を見ると '05 年の 73,462 人をピークに減少しつつある。(図 2 、表 1)

各病院の患者数については、発足後ながらく岩手医科大学附属病院が5割前後を占めていたが、徐々に岩手県立中央病院の割合が増加していき、岩手医科大学附属病院が矢巾町に移転した2019年には岩手県立中央病院の割合が最大となり36.3%、岩手医科大学附属病院が32.3%であった。(表2-1、表2-2)

救急車搬入数は患者数の増加とともに増えてきたが、患者数が2005年以降、減少してきているのに対し、救急車搬入数は増加傾向が続いている。(図7)また、地区別では盛岡地区が6割以上と、この傾向は20年前と比較しても変わっていない。(表3)

このほか月別、時間帯別、診療科別など様々な集計結果を掲載しているので、参考にしていただければ幸いである。

なお、時間帯別の患者数については詳細な統計の記録が残っている期間での内訳となるため、集計期間が40年に満たないところがある点はご容赦いただきたい。

図 2 二次救急医療体制 40 年間来院患者総数年次別推移(1980 ~ 2019)

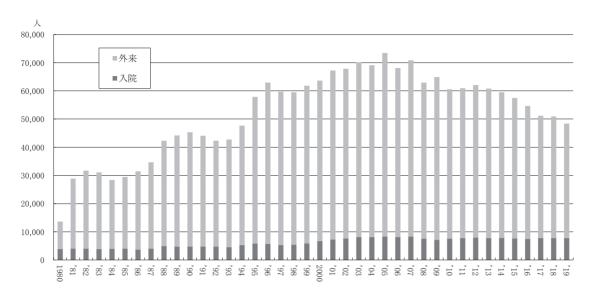


表 1 二次救急医療体制 40 年間来院患者数年次別推移

年	入院	外来	総数
1980	3,863	9,750	13,613
'81	4,070	24,799	28,869
'82	4,046	27,679	31,725
'83	3,907	27,205	31,112
'84	3,959	24,425	28,384
'85	4,020	25,411	29,431
'86	3,718	27,744	31,462
'87	4,045	30,616	34,661
'88	4,944	37,356	42,300
'89	4,767	39,417	44,184
'90	4,711	40,594	45,305
'91	4,753	39,334	44,087
'92	4,713	37,580	42,293
'93	4,571	38,184	42,755
'94	5,272	42,393	47,665
'95	5,776	52,098	57,874
'96	5,757	57,203	62,960
'97	5,372	54,308	59,680
'98	5,398	54,128	59,526
'99	5,908	55,919	61,827

年	入院	外来	総数
2000	6,654	57,021	63,675
'01	7,331	59,917	67,248
'02	7,674	60,172	67,846
'03	8,102	62,004	70,106
'04	8,097	61,016	69,113
'05	8,375	65,087	73,462
'06	8,135	59,953	68,088
'07	8,383	62,463	70,846
'08	7,578	55,373	62,951
'09	7,159	57,734	64,893
'10	7,566	52,981	60,547
'11	7,766	53,176	60,942
'12	7,995	54,066	62,061
'13	7,756	53,054	60,810
'14	7,856	51,650	59,506
'15	7,688	49,827	57,515
'16	7,507	47,141	54,648
'17	7,713	43,424	51,137
'18	7,784	43,153	50,937
'19	7,724	40,668	48,392
合計	248,413	1,836,023	2,084,436

表 2-1 二次救急医療体制 年間来院患者総数 (1980 ~ 1999)

				1980	'81	'82	'83	'84	'85	'86	'87	'88	'89
中	央	病	院	1,406	1,674	1,904	2,307	2,053	2,484	2,590	3,530	5,484	5,592
17	大	71/3	PDC	(10.3)	(5.8)	(6.0)	(7.4)	(7.2)	(8.4)	(8.2)	(10.2)	(13.0)	(12.7)
成日	71.去	上字洞	河河	2,052	2,887	2,919	2,621	2,444	2,978	3,187	3,333	8,722	9,168
THE P	刊 // / /	1 1 1	4) P7C	(15.1)	(10.0)	(9.2)	(8.4)	(8.6)	(10.1)	(10.1)	(9.6)	(20.6)	(20.7)
1:24	図古	立症	: Ret	973	984	924	1,047	812	872	859	1,162	1,437	1,237
16E	rlı (m	1/. 1/	3 1900	(7.1)	(3.4)	(2.9)	(3.4)	(2.9)	(3.0)	(2.7)	(3.4)	(3.4)	(2.8)
屮:	壬匠	科力	- 冯	3,165	13,472	15,957	15,813	15,634	16,250	17,900	19,365	19,214	20,531
白	1. 区	11 ハ		(23.2)	(46.7)	(50.3)	(50.8)	(55.1)	(55.2)	(56.9)	(55.9)	(45.4)	(46.5)
遠	Щ	病	院	2,301	3,390	3,100	3,039	1,017	968	883	1,008	852	687
迷	Щ	71/3	PTC	(16.9)	(11.7)	(9.8)	(9.8)	(3.6)	(3.3)	(2.8)	(2.9)	(2.0)	(1.6)
高	松	病	院	813	1,007	1,075	1,141	1,380	1,485	1,821	1,841	2,153	2,251
同	124	71/3	PTC	(6.0)	(3.5)	(3.4)	(3.7)	(4.9)	(5.0)	(5.8)	(5.3)	(5.1)	(5.1)
栃	内	病	院	1,092	1,335	1,157	1,415	1,398	1,486	1,499	1,416	1,609	1,819
נער	ΝJ	71/3	PDC	(8.0)	(4.6)	(3.6)	(4.5)	(4.9)	(5.0)	(4.8)	(4.1)	(3.8)	(4.1)
内	丸	病	院		1,386	1,249	1,289	1,315	1,372	1,158	1,222	1,163	1,195
LA1	儿	71/3	PTC	_	(4.8)	(3.9)	(4.1)	(4.6)	(4.7)	(3.7)	(3.5)	(2.7)	(2.7)
河	南	病	院	1,350	2,339	3,135	2,294	2,331	1,536	1,565	1,784	1,666	1,704
(11)	闬	7内	閁С	(9.9)	(8.1)	(9.9)	(7.4)	(8.2)	(5.2)	(5.0)	(5.1)	(3.9)	(3.9)
ाड	ш	华	院	461	395	305	146			_			
原	田	病	閁С	(3.4)	(1.4)	(1.0)	(0.5)			_			_
合			計	13,613	28,869	31,725	31,112	28,384	29,431	31,462	34,661	42,300	44,184

	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	合計	平均	比率(%)
中央病院	5,669	5,300	5,687	6,503	7,823	9,229	10,530	10,629	10,514	10,332	111,240	5,562	13.2
1	(12.5)	(12.0)	(13.4)	(15.2)	(16.4)	(15.9)	(16.7)	(17.8)	(17.7)	(16.7)			
盛岡赤十字病院	7,533	6,550	6,283	5,295	6,400	7,767	8,403	7,619	8,018	7,746	111,925	5,596	13.3
	(16.6)	(14.9)	(14.9)	(12.4)	(13.4)	(13.4)	(13.3)	(12.8)	(13.5)	(12.5)			
盛岡市立病院	1,069	1,050	949	1,540	1,387	1,611	1,496	928	945	1,169	22,451	1,123	2.7
m. [4] 1] 12. 7/4 [7].	(2.4)	(2.4)	(2.2)	(3.6)	(2.9)	(2.8)	(2.4)	(1.6)	(1.6)	(1.9)			
岩手医科大学	21,363	23,037	22,310	23,268	25,309	27,510	28,417	27,449	27,799	29,216	412,979	20,649	49.2
石丁区有八子	(47.2)	(52.3)	(52.8)	(54.4)	(53.1)	(47.5)	(45.1)	(46.0)	(46.7)	(47.3)			
遠 山 病 院	2,511	733	590	640	651	645	685	597	625	644	25,566	1,278	3.0
ж щ m m	(5.5)	(1.7)	(1.4)	(1.5)	(1.4)	(1.1)	(1.1)	(1.0)	(1.0)	(1.0)			
高松病院	2,572	2,768	2,653	2,880	2,968	3,496	3,546	3,105	2,976	3,053	44,984	2,249	5.4
14 14 19	(5.7)	(6.3)	(6.3)	(6.7)	(6.2)	(6.0)	(5.6)	(5.2)	(5.0)	(4.9)			
栃 内 病 院	1,876	1,952	1,688	1,467	1,833	1,783	1,890	1,604	1,525	1,595	31,439	1,572	3.7
1/0 F3 7F3 F2C	(4.1)	(4.4)	(4.0)	(3.4)	(3.8)	(3.1)	(3.0)	(2.7)	(2.6)	(2.6)			
内 丸 病 院	1,126	1,166	868	1,136	1,294	1,127	1,222	979	1,017	929	22,213	1,169	2.6
13 74 773 174	(2.5)	(2.6)	(2.1)	(2.7)	(2.7)	(1.9)	(1.9)	(1.6)	(1.7)	(1.5)			
河南病院	1,586	1,531	1,265	26		_		_			24,112	1,722	2.9
113 H3 /F3 F/L	(3.5)	(3.5)	(3.0)	(0.1)	_	_	_	_		_			
原田病院	-	_	-	_	-	-	_	_	-	_	1,307	327	0.2
盛岡友愛病院						1,583	2,446	2,400	2,143	2,358	10,930	2,186	1.3
盆 叫 及 发 柄 阮	-	_	_	_	_	(2.7)	(3.9)	(4.0)	(3.6)	(3.8)			
盛岡つなぎ温泉病院						415	566	563	660	712	2,916	583	0.3
盆両ツなさ血氷病院	-	_	_	_	_	(0.7)	(0.9)	(0.9)	(1.1)	(1.2)			
川久保病院						2,708	3,759	3,807	3,304	4,073	17,651	3,530	2.1
川八体烟阮	-	_	_	_	_	(4.7)	(6.0)	(6.4)	(5.6)	(6.6)			
合 計	45,305	44,087	42,293	42,755	47,665	57,874	62,960	59,680	59,526	61,827	839,713	47,547	100

[※]病院別のデータについては、40年の間に入れ替わりがあることと、また掲載スペースの都合もあり、 20年ごとに区切って掲載している。

表 2-2 二次救急医療体制 年間来院患者総数 (2000 ~ 2019)

	2000	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09
中央病院	11,029	11,779	12,828	13,805	14,065	16,399	16,492	17,857	16,237	17,589
中 大 州 凡	(17.3)	(17.5)	(18.9)	(19.7)	(20.4)	(22.3)	(24.2)	(25.2)	(25.8)	(27.1)
盛岡赤十字病院	7,731	8,343	9,126	9,918	9,492	9,826	8,946	10,391	9,582	9,460
盆門外上于州坑	(12.1)	(12.4)	(13.5)	(14.1)	(13.7)	(13.4)	(13.1)	(14.7)	(15.2)	(14.6)
盛岡市立病院	1,715	2,431	2,492	2,304	2,688	2,997	2,856	2,356	1,975	1,668
盆岡巾立州院	(2.7)	(3.6)	(3.7)	(3.3)	(3.9)	(4.1)	(4.2)	(3.3)	(3.1)	(2.6)
岩手医科大学	29,316	30,347	30,749	31,144	30,883	32,725	29,754	30,519	27,108	27,311
石丁区行八子	(46.0)	(45.1)	(45.3)	(44.4)	(44.7)	(44.5)	(43.7)	(43.1)	(43.1)	(42.1)
遠 山 病 院	585	594	464	524	485	453	482	495	422	389
<u>ж</u> щ 7м, рл.	(0.9)	(0.9)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(0.6)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(0.6)
高 松 病 院	2,980	2,489	2,323	2,235	1,998	1,944	1,749	1,647	1,452	1,656
同 仏 州 凡	(4.7)	(3.7)	(3.4)	(3.2)	(2.9)	(2.6)	(2.6)	(2.3)	(2.3)	(2.6)
栃 内 病 院	1,379	1,569	1,444	1,257	1,137	983	880	755	816	751
100 P3 709 PC	(2.2)	(2.3)	(2.1)	(1.8)	(1.6)	(1.3)	(1.3)	(1.1)	(1.3)	(1.2)
内 丸 病 院	826	850	648	869	778	594	497	611	216	
P3 /L 7/4 P/L	(1.3)	(1.3)	(1.0)	(1.2)	(1.1)	(0.8)	(0.7)	(0.9)	(0.3)	
盛岡友愛病院	2,471	2,469	2,253	2,472	2,487	2,018	1,755	1,766	1,637	1,565
盖阿及 及 / N D.	(3.9)	(3.7)	(3.3)	(3.5)	(3.6)	(2.7)	(2.6)	(2.5)	(2.6)	(2.4)
盛岡つなぎ温泉病院	658	652	576	691	636	623	619	758	609	712
盆両フなご皿水内 机	(1.0)	(1.0)	(0.8)	(1.0)	(0.9)	(0.8)	(0.9)	(1.1)	(1.0)	(1.1)
川久保病院	3,826	4,179	3,850	4,029	3,884	4,434	3,771	3,504	2,754	3,676
/11 /C IA 7/3 P/C	(6.0)	(6.2)	(5.7)	(5.7)	(5.6)	(6.0)	(5.5)	(4.9)	(4.4)	(5.7)
国立病院機構盛岡病院	1,159	1,546	1,093	858	580	466	287	187	143	116
四亚州加州州	(1.8)	(2.3)	(1.6)	(1.2)	(0.8)	(0.6)	(0.4)	(0.3)	(0.2)	(0.2)
合 計	63,675	67,248	67,846	70,106	69,113	73,462	68,088	70,846	62,951	64,893

	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	合計	平均	比率(%)
中央病院	16,561	16,893	17,831	17,237	17,903	18,157	17,323	16,620	17,764	17,585	321,954	16,098	25.9
7 7 7/3 191	(27.4)	(27.7)	(28.7)	(28.3)	(30.1)	(31.6)	(31.7)	(32.5)	(34.9)	(36.3)			
盛岡赤十字病院	8,775	9,091	9,031	8,803	8,037	7,212	6,820	6,517	6,054	5,767	168,922	8,446	13.6
	(14.5)	(14.9)	(14.6)	(14.5)	(13.5)	(12.5)	(12.5)	(12.7)	(11.9)	(11.9)			
盛岡市立病院	1,351	1,181	928	905	979	880	788	881	939	1,659	33,973	1,699	2.7
III. [P4] 1]3 JZ /F3 [7G	(2.2)	(1.9)	(1.5)	(1.5)	(1.6)	(1.5)	(1.4)	(1.7)	(1.8)	(3.4)			
岩手医科大学	24,555	22,908	23,092	23,167	22,191	21,099	19,848	18,491	18,995	15,635	509,837	25,492	41.0
4 1 2 4 7 7	(40.6)	(37.6)	(37.2)	(38.1)	(37.3)	(36.7)	(36.3)	(36.2)	(37.3)	(32.3)			
遠山病院	334	408	355	328	484	342	374	452	313	198	8,481	424	0.7
Æ Щ /A //L	(0.6)	(0.7)	(0.6)	(0.5)	(0.8)	(0.6)	(0.7)	(0.9)	(0.6)	(0.4)			
高 松 病 院	1,527	1,623	1,659	1,695	1,593	1,456	1,457	1,185	200	160	33,028	1,651	2.7
III 1A /N 126	(2.5)	(2.7)	(2.7)	(2.8)	(2.7)	(2.5)	(2.7)	(2.3)	(0.4)	(0.3)			
栃 内 病 院	691	635	729	741	689	807	589	498	511	537	17,398	870	1.4
13 77 176	(1.1)	(1.0)	(1.2)	(1.2)	(1.2)	(1.4)	(1.1)	(1.0)	(1.0)	(1.1)			
内 丸 病 院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5,889	654	0.5
盛岡友愛病院	1,409	1,187	1,191	1,193	1,293	1,318	1,148	850	674	853	32,009	1,600	2.6
盆间及发剂风	(2.3)	(1.9)	(1.9)	(2.0)	(2.2)	(2.3)	(2.1)	(1.7)	(1.3)	(1.8)			
盛岡つなぎ温泉病院	581	664	621	642	530	563	551	446	563	494	12,189	609	1.0
証両 クなさ 価水内肌	(1.0)	(1.1)	(1.0)	(1.1)	(0.9)	(1.0)	(1.0)	(0.9)	(1.1)	(1.0)			
川久保病院	2,498	3,162	2,919	2,507	2,295	2,333	2,518	2,300	2,078	2,289	62,806	3,140	5.0
THE TAX BY BU	(4.1)	(5.2)	(4.7)	(4.1)	(3.9)	(4.1)	(4.6)	(4.5)	(4.1)	(4.7)			
国立病院機構盛岡病院	132	263	330	367	475	516	638	604	647	779	11,186	559	0.9
当	(0.2)	(0.4)	(0.5)	(0.6)	(0.8)	(0.9)	(1.2)	(1.2)	(1.3)	(1.6)			
八角病院	2,133	2,927	3,375	3,225	3,037	2,832	2,594	2,293	2,199	2,436	27,051	2,705	2.2
7 × 19 719 19L	(1.1)	(1.0)	(1.2)	(1.2)	(1.2)	(1.4)	(1.1)	(1.0)	(1.0)	(1.1)			
合 計	60,547	60,942	62,061	60,810	59,506	57,515	54,648	51,137	50,937	48,392	1,244,723	62,236	100

図3 来院患者総数に対する各病院の比率

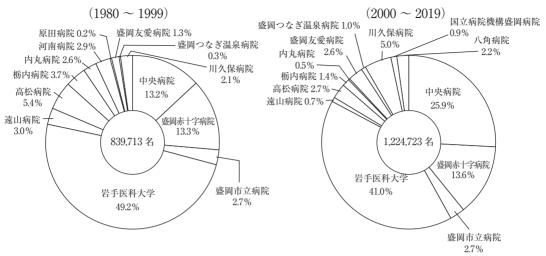


図4 入院患者数に対する各病院の比率

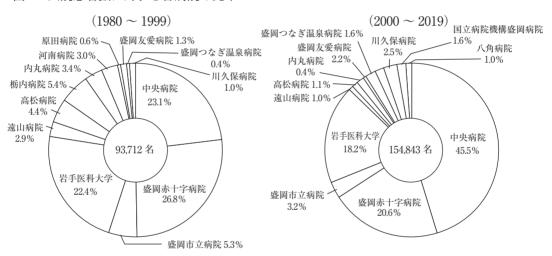


図 5 救急車搬入数に対する各病院の比率

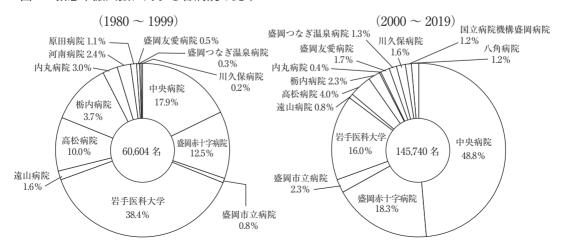
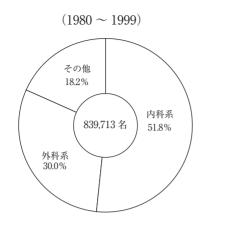


図6 来院患者総数の内訳(診療科別)



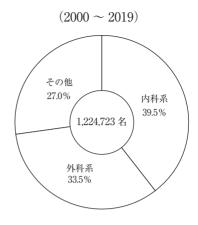


図7 二次救急病院における救急車搬入患者総数の年別推移

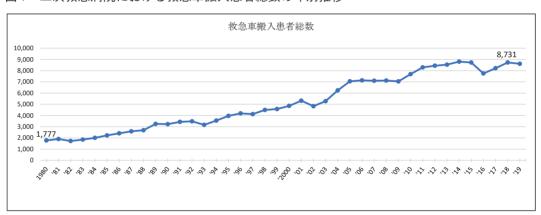


表 3 盛岡地区二次救急患者地区別動態(1992~2019)

	外来患者数	入院患者数	患者総数	比率(%)
※ 盛 岡	968,724	112,841	1,081,565	64.5
雫 石	36,693	6,513	43,206	2.6
葛 巻	2,733	946	3,679	0.2
岩 手	23,001	4,704	27,705	1.7
滝 沢	129,763	15,926	145,689	8.7
紫 波	74,650	13,174	87,824	5.21
矢 巾	74,617	10,217	84,834	5.1
※八幡平	50,675	8,524	59,199	3.5
その他県内	66,489	17,081	83,570	5.0
県 外	51,863	7,500	59,363	3.5
合 計	1,479,208	197,426	1,676,634	100.0

平成4年(1992年)に盛岡市と都南村との合併があり、それ以降のデータをまとめた。

以下の2市については合併によりデータを集計

※盛岡市:平成4年4月1日から旧都南村、平成18年1月10日から旧玉山村と合併

※八幡平市:平成17年9月1日より旧西根町、旧松尾村、旧安代町が合併

表 4 時間帯別外来患者数 (1988 ~ 2019)

		'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	2000	'01	'02	'03
深	夜	4,413	4,565	4,497	4,676	4,688	4,951	5,075	5,773	6,335	6,289	6,204	6,109	6,698	6,839	6,715	7,306
時間夕	ŀ A	1,478	1,373	1,431	1,487	1,518	1,613	1,922	2,321	2,598	2,424	2,523	2,740	2,811	3,187	2,979	3,190
土曜日生	干前	-	-	-	_	-	-	1,765	2,225	1,979	1,648	1,760	2,299	1,818	1,925	1,773	1,948
土曜日生	干後	-	-	-	-	-	-	2,308	4,812	3,258	3,156	3,400	3,892	3,442	3,409	3,338	3,667
日 祝	П	10,556	11,972	13,286	11,125	10,064	10,501	10,281	12,478	15,393	13,510	13,338	14,098	13,968	15,264	15,386	14,564
時間タ	∤ B	11,074	11,290	11,148	11,462	10,906	10,410	10,130	13,582	14,350	13,654	13,263	13,682	14,492	15,025	14,981	15,626
夜	間	9,835	10,216	10,232	10,584	10,404	10,709	10,912	10,907	13,290	13,442	13,497	13,099	13,792	14,268	15,000	15,703
合	計	37,356	39,416	40,594	39,334	37,580	38,184	42,393	52,098	57,203	54,123	53,985	55,919	57,021	59,917	60,172	62,004

	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
深夜	6,916	7,322	6,827	7,038	6,462	6,717	6,397	6,199	6,167	6,003	5,640	5,431	5,353	4,848	5,011	4,620
時間外 A	3,325	3,566	4,064	4,321	3,767	4,172	3,934	4,017	4,174	4,143	3,917	3,899	3,513	3,513	3,433	3,319
土曜日午前	1,971	2,162	1,987	1,837	1,660	1,600	1,645	1,761	1,698	1,373	1,388	996	1,002	839	1,088	1,262
土曜日午後	3,601	3,880	3,554	3,670	3,333	3,358	3,262	3,479	3,345	3,174	3,118	2,553	2,756	2,366	2,406	2,715
日 祝 日	14,534	14,618	13,144	13,676	12,085	12,483	10,805	11,007	11,399	11,679	11,680	12,087	10,437	9,626	8,884	8,499
時間外B	15,127	16,487	14,875	16,186	14,054	15,204	13,688	13,767	14,271	13,615	13,418	12,672	12,388	11,385	11,413	10,375
夜 間	15,542	17,052	15,502	15,735	14,012	14,200	13,250	12,946	13,012	13,067	12,489	12,189	11,692	10,847	10,918	9,878
合 計	61,016	65,087	59,953	62,463	55,373	57,734	52,981	53,176	54,066	53,054	51,650	49,827	47,141	43,424	43,153	40,668

図8 時間帯別外来患者数 (1988~2019)

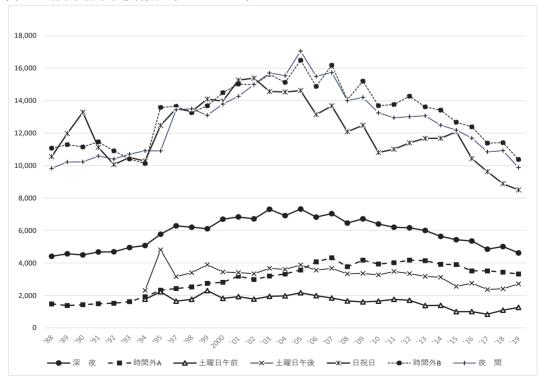


表 5 時間帯別入院患者数 (1988 ~ 2019)

		'88	'89	'90	'91	'92	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	2000	'01	'02	'03
深	夜	1,075	905	929	1,004	1,036	1,020	1,031	1,100	1,065	1,004	969	959	1,103	1,218	1,256	1,256
時間	外 A	381	333	372	396	329	353	420	443	432	378	406	422	476	543	546	546
土曜日	午前	-	-	-	-	-	-	217	189	170	180	197	258	216	241	255	255
土曜日	午後	-	-	-	-	-	-	292	290	339	291	334	468	419	449	414	414
日初	日	813	841	840	886	848	785	840	918	986	924	922	986	1,120	1,179	1,230	1,230
時間	外 B	1,452	1,373	1,402	1,223	1,275	1,186	1,167	1,395	1,365	1,272	1,318	1,498	1,713	1,880	2,052	2,052
夜	間	1,223	1,315	1,168	1,244	1,225	1,227	1,305	1,441	1,400	1,280	1,395	1,317	1,607	1,821	1,921	1,921
合	計	4,944	4,767	4,711	4,753	4,713	4,571	5,272	5,776	5,757	5,329	5,541	5,908	6,654	7,331	7,674	7,674

	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19
深夜	1,215	1,249	1,155	1,142	1,108	1,007	1,052	1,125	1,139	1,106	1,063	1,085	1,104	1,145	1,136	1,094
時間外A	612	667	666	684	684	651	659	733	771	776	779	778	718	858	822	869
土曜日午前	348	348	351	383	297	275	360	358	333	325	316	302	338	283	342	356
土曜日午後	466	537	494	556	466	456	516	513	529	483	518	433	466	468	481	533
日 祝 日	1,289	1,293	1,208	1,306	1,178	1,091	1,141	1,210	1,209	1,274	1,289	1,269	1,205	1,234	1,199	1,199
時間外B	2,155	2,226	2,189	2,349	2,080	1,969	2,051	2,113	2,219	2,075	2,106	2,037	1,968	2,083	2,114	2,152
夜 間	2,012	2,055	2,072	1,963	1,765	1,710	1,787	1,714	1,795	1,717	1,785	1,784	1,708	1,642	1,690	1,521
合 計	8,097	8,375	8,135	8,383	7,578	7,159	7,566	7,766	7,995	7,756	7,856	7,688	7,507	7,713	7,784	7,724

図 9 時間帯別入院患者数 (1988 ~ 2019)

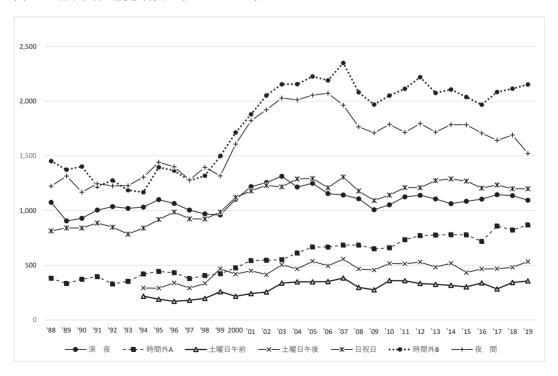


表 6-1 二次救急病院における月別患者数

1980 ~ 1999	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月
中 央 病 院	10,454	8,516	8,851	8,513	10,148	9,057	9,456	8,745	9,208	8,713	8,318	11,261
盛岡赤十字病院	11,548	8,526	8,778	7,873	10,716	8,473	8,931	8,614	9,088	8,469	8,372	12,537
盛岡市立病院	2,563	1,502	1,770	1,459	2,343	1,640	1,580	1,409	1,847	1,756	1,857	2,627
岩手医科大学	40,378	30,284	31,848	30,032	39,650	33,192	35,776	35,983	34,583	31,834	31,370	38,049
遠 山 病 院	2,586	1,990	1,934	1,932	2,345	1,817	1,980	1,902	2,099	1,876	2,151	2,954
高 松 病 院	3,649	3,346	3,303	3,542	4,362	3,801	4,200	4,076	4,095	3,709	3,250	3,651
栃 内 病 院	2,464	1,877	2,078	2,602	3,373	2,669	2,864	2,978	2,836	2,637	2,515	2,546
内 丸 病 院	2,127	1,648	1,592	1,740	2,306	1,762	1,650	1,920	1,884	1,640	1,733	2,309
河 南 病 院	2,379	1,787	1,885	1,882	2,208	2,019	1,976	1,981	2,114	1,885	1,908	2,088
原 田 病 院	136	106	102	119	124	131	95	96	119	76	95	108
盛岡友愛病院	979	688	716	822	1,107	898	907	880	982	877	792	1,282
盛岡つなぎ温泉病院	250	181	190	174	271	247	242	292	262	257	214	336
川久保病院	1,685	1,217	1,200	1,503	1,719	1,274	1,544	1,325	1,343	1,300	1,223	2,318
合 計	81,198	61,668	64,247	62,193	80,672	66,980	71,201	70,201	70,460	65,029	63,798	82,066

表 6-2 二次救急病院における月別患者数

							I					
2000 ~ 2019	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12 月
中 央 病 院	30,009	24,532	25,990	24,615	29,198	24,449	27,370	27,599	26,716	25,858	25,614	30,004
盛岡赤十字病院	16,360	13,148	13,339	12,723	15,593	12,614	14,066	14,720	13,470	12,965	13,200	16,724
盛岡市立病院	2,985	2,589	2,734	2,500	3,359	2,554	2,997	2,557	2,776	2,518	2,654	3,750
岩手医科大学	49,448	37,727	40,874	39,052	48,971	39,299	43,917	43,992	41,754	39,857	38,721	46,225
遠 山 病 院	1,120	686	615	761	800	543	648	504	684	567	677	876
高 松 病 院	3,173	2,700	2,594	2,578	3,168	2,625	2,828	3,149	2,607	2,521	2,260	2,825
栃 内 病 院	1,547	1,231	1,269	1,479	1,843	1,301	1,416	1,530	1,540	1,266	1,275	1,701
内 丸 病 院	964	478	454	376	581	394	459	407	485	400	323	568
河 南 病 院	3,495	2,485	2,593	2,365	3,034	2,246	2,749	2,601	2,545	2,468	2,373	3,055
原田病院	1,211	1,011	898	971	1,206	835	979	1,104	1,002	906	852	1,214
盛岡友愛病院	6,469	5,460	5,923	4,686	6,166	3,715	3,948	4,883	4,743	4,497	4,981	7,335
盛岡つなぎ温泉病院	1,018	825	870	895	1,037	858	914	864	945	937	895	1,128
川久保病院	3,036	2,258	2,113	2,026	2,652	1,886	2,217	2,541	2,115	1,915	1,753	2,539
合 計	120,835	95,130	100,266	95,027	117,608	93,319	104,508	106,451	101,382	96,675	95,578	117,944

表 7-1 二次救急病院における外来、入院、救急車搬入数 (1980 ~ 1999)

1980 ~ 1999	外	来	入	院	うち救急	急車搬入	総数 (名)
1980 - 1999	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	加坡人(石)
中 央 病 院	89,566	12.0	21,674	23.1	10,854	17.9	111,240
盛岡赤十字病院	86,789	11.6	25,136	26.8	7,605	12.5	111,925
盛岡市立病院	17,440	2.3	5,011	5.3	456	0.8	22,451
岩手医科大学	392,032	52.6	20,947	22.4	23,287	38.4	412,979
遠 山 病 院	22,878	3.1	2,688	2.9	973	1.6	25,566
高 松 病 院	40,892	5.5	4,092	4.4	6,044	10.0	44,984
栃 内 病 院	26,379	3.5	5,060	5.4	6,859	11.3	31,439
内 丸 病 院	19,070	2.6	3,143	3.4	1,834	3.0	22,213
河 南 病 院	21,316	2.9	2,796	3.0	1,427	2.4	24,112
原 田 病 院	715	0.1	592	0.6	654	1.1	1,307
盛岡友愛病院	9,674	1.3	1,256	1.3	324	0.5	10,930
盛岡つなぎ温泉病院	2,541	0.3	375	0.4	165	0.3	2,916
川久保病院	16,709	2.2	942	1.0	122	0.2	17,651
合 計	746,001	100.0	93,712	100.0	60,604	100.0	839,713

表 7-2 二次救急病院における外来、入院、救急車搬入数 (2000 ~ 2019)

2000 ~ 2019	外	来	入	院	うち救急	急車搬入	総数 (名)
2000 - 2019	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	市以安久 (十二)
中 央 病 院	251,553	23.1	70,401	45.5	71,165	48.8	321,954
盛岡赤十字病院	137,096	12.6	31,826	20.6	26,638	18.3	168,922
盛岡市立病院	29,084	2.7	4,889	3.2	3,367	2.3	33,973
岩手医科大学	481,608	44.2	28,229	18.2	23,374	16.0	509,837
遠 山 病 院	6,961	0.6	1,520	1.0	1,224	0.8	8,481
高 松 病 院	31,288	2.9	1,740	1.1	5,805	4.0	33,028
栃 内 病 院	15,396	1.4	2,002	1.3	3,422	2.3	17,398
内 丸 病 院	5,214	0.5	675	0.4	511	0.4	5,889
盛岡友愛病院	28,665	2.6	3,344	2.2	2,491	1.7	32,009
盛岡つなぎ温泉病院	9,776	0.9	2,413	1.6	1,874	1.3	12,189
川久保病院	58,975	5.4	3,831	2.5	2,353	1.6	62,806
国立病院機構盛岡病院	8,726	0.8	2,460	1.6	1,787	1.2	11,186
八角病院	25,538	2.3	1,513	1.0	1,729	1.2	27,051
合 計	1,089,880	100.0	154,843	100.0	145,740	100.0	1,244,723

表 8-1 二次救急病院における診療科別患者数内訳 (1980 ~ 1999)

1980 ~ 1999	内 科	系	外科	系	その	他	総数(名)
1900 1999	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	70U XX (11)
中 央 病 院	64,840	14.9	37,830	15.0	8,570	5.6	111,240
盛岡赤十字病院	63,996	14.7	25,818	10.2	22,111	14.5	111,925
盛岡市立病院	14,309	3.3	4,472	1.8	3,670	2.4	22,451
岩手医科大学	215,204	49.5	89,515	35.5	108,260	70.9	412,979
遠 山 病 院	23,335	5.4	2,105	0.8	126	0.1	25,566
高 松 病 院	14,791	3.4	30,189	12.0	4	0.003	44,984
栃 内 病 院	442	0.1	30,974	12.3	23	0.02	31,439
内 丸 病 院	7,399	1.7	14,520	5.8	294	0.2	22,213
河 南 病 院	14,204	3.3	9,853	3.9	55	0.04	24,112
原 田 病 院	66	0.0	1,241	0.5	0	0.0	1,307
盛岡友愛病院	7,261	1.7	3,514	1.4	15	0.01	10,790
盛岡つなぎ温泉病院	2,340	0.5	650	0.3	66	0.06	3,056
川久保病院	6,505	1.5	1,571	0.6	9,575	6.3	17,651
合 計	434,692	100.0	252,252	100.0	152,769	100.0	839,713

表 8-2 二次救急病院における診療科別患者数内訳(2000~2019)

2000 ~ 2019	内科	系	外科	系	その	他	総数 (名)
2000 2019	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	70U XX (11)
中 央 病 院	134,604	27.4	104,548	25.1	82,802	24.6	321,954
盛岡赤十字病院	63,906	13.0	65,419	15.7	39,597	11.8	168,922
盛岡市立病院	11,181	2.3	7,942	1.9	14,850	4.4	33,973
岩手医科大学	103,465	21.1	83,884	20.1	116,095	34.5	303,444
遠 山 病 院	25,102	5.1	6,819	1.6	23	0.01	31,944
高 松 病 院	84,059	17.1	101,669	24.4	44,726	13.3	230,454
栃 内 病 院	3,527	0.7	19,998	4.8	1	0.0003	23,526
内 丸 病 院	2,522	0.5	3,294	0.8	73	0.02	5,889
盛岡友愛病院	18,596	3.8	7,510	1.8	442	0.1	26,548
盛岡つなぎ温泉病院	13,716	2.8	2,795	0.7	1,139	0.3	17,650
川久保病院	25,764	5.2	2,024	0.5	35,018	10.4	62,806
国立病院機構盛岡病院	4,731	1.0	4,565	1.1	1,890	0.6	11,186
八角病院	124	0.03	6,303	1.5	0.0	0.0	6,427
合 計	491,297	100.0	416,770	100.0	336,656	100.0	1,244,723

表 9-1 二次救急病院における救急車搬入患者内訳(1984~1999)

1984 ~ 1999	深	夜	時間	外 A	土曜日	1午前	土曜日	1午後	日祭	泽 日	時間	外B	夜	間	総	台
1904 - 1999	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)
中央病院	1,776	17.0	1,299	24.6	228	44.8	278	20.8	1,276	16.6	2,666	19.5	2,684	18.6	10,207	19.1
盛岡赤十字病院	1,254	12.0	792	15.0	97	19.1	272	20.4	933	12.2	1,998	14.6	1,641	11.4	6,987	13.1
盛岡市立病院	58	0.6	42	0.8	18	3.5	10	0.7	52	0.7	130	0.9	82	0.6	392	0.7
岩手医科大学	4,477	42.9	1,745	33.1	163	32.0	456	34.2	3,006	39.2	5,023	36.7	6,323	43.8	21,193	39.7
遠 山 病 院	185	1.8	67	1.3	0	0.0	25	1.9	96	1.3	139	1.0	197	1.4	709	1.3
高 松 病 院	1,107	10.6	495	9.4	1	0.2	106	7.9	881	11.5	1,294	9.5	1,506	10.4	5,390	10.1
栃 内 病 院	1,030	9.9	490	9.3	0	0.0	94	7.0	1,041	13.6	1,640	12.0	1,325	9.2	5,620	10.5
内 丸 病 院	323	3.1	137	2.6	1	0.2	62	4.6	235	3.1	361	2.6	399	2.8	1,518	2.8
河 南 病 院	100	1.0	138	2.6	0	0.0	0	0.0	84	1.1	290	2.1	121	0.8	733	1.4
原田病院	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
盛岡友愛病院	57	0.5	36	0.7	1	0.2	20	1.5	36	0.5	89	0.7	85	0.6	324	0.6
盛岡つなぎ温泉病院	36	0.3	25	0.5	0	0.0	3	0.2	22	0.3	35	0.3	38	0.3	159	0.3
川久保病院	32	0.3	12	0.2	0	0.0	8	0.6	11	0.1	26	0.2	33	0.2	122	0.2
合 計	10,435	100.0	5,278	100.0	509	100.0	1,334	100.0	7,673	100.0	13,691	100.0	14,434	100.0	53,354	100.0

表 9-2 二次救急病院における救急車搬入患者内訳(2000~2019)

2000 ~ 2019	深	夜	時間	外 A	土曜日	1午前	土曜日	1午後	日纬	景日	時間	外B	夜	間	総	合
2000 ~ 2019	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)
中央病院	12,847	50.1	9,959	53.6	2,315	58.4	3,974	48.5	8,380	43.3	16,745	47.6	16,945	48.6	71,165	48.8
盛岡赤十字病院	4,312	16.8	3,531	19.0	887	22.4	1,495	18.2	3,695	19.1	6,636	18.9	6,082	17.5	26,638	18.3
盛岡市立病院	509	2.0	424	2.3	127	3.2	188	2.3	485	2.5	844	2.4	790	2.3	3,367	2.3
岩手医科大学	4,724	18.4	2,356	12.7	424	10.7	1,191	14.5	2,995	15.5	5,454	15.5	6,230	17.9	23,374	16.0
遠 山 病 院	372	1.4	96	0.5	3	0.1	44	0.5	137	0.7	183	0.5	389	1.1	1,224	0.8
高 松 病 院	693	2.7	429	2.3	32	0.8	470	5.7	1,565	8.1	1,631	4.6	985	2.8	5,805	4.0
栃 内 病 院	522	2.0	263	1.4	1	0.03	205	2.5	562	2.9	1,000	2.8	869	2.5	3,422	2.3
内 丸 病 院	104	0.4	49	0.3	0	0.0	30	0.4	88	0.5	99	0.3	141	0.4	511	0.4
盛岡友愛病院	363	1.4	414	2.2	10	0.3	143	1.7	372	1.9	648	1.8	541	1.6	2,491	1.7
盛岡つなぎ温泉病院	276	1.1	295	1.6	18	0.5	108	1.3	241	1.2	450	1.3	486	1.4	1,874	1.3
川久保病院	466	1.8	283	1.5	3	0.1	74	0.9	256	1.3	619	1.8	652	1.9	2,353	1.6
国立病院機構盛岡病院	241	0.9	184	1.0	91	2.3	167	2.0	348	1.8	432	1.2	324	0.9	1,787	1.2
八角病院	231	0.9	291	1.6	51	1.3	107	1.3	239	1.2	408	1.2	402	1.2	1,729	1.2
合 計	25,660	100.0	18,574	100.0	3,962	100.0	8,196	100.0	19,363	100.0	35,149	100.0	34,836	100.0	145,740	100.0

表 10-1 二次救急病院来院患者、病院別、時間帯別分布(1980 ~ 1999)

	時間帯別	合 計	比 率		時間帯別	合 計	比 率
	深夜	14,347	13.0		深夜	1,161	5.3
中	時間外A	8,603	7.8	内	時間外A	573	2.6
	土曜日午前	3,478	3.2	' '	土曜日午前	59	0.3
央	土曜日午後	3,158	2.9	丸	土曜日午後	589	2.7
病	日 祭 日	29,778	27.0	病	日 祭 日	8,033	36.4
71/3	時間外B	26,607	24.1	71/3	時間外B	7,883	35.7
院	夜間	24,317	22.0	院	夜間	3,788	17.2
	計	110,288	100.0	1	計	22,086	100.0
盛	深夜	13,178	11.8		深夜	492	4.5
	時間外A	5,029	4.5	盛	時間外A	496	4.6
岡士	土曜日午前	1,966	1.8	岡	土曜日午前	24	0.2
赤	土曜日午後	2,953	2.7	友	土曜日午後	701	6.5
+	日 祭 日	35,553	32.0	愛	日 祭 日	3,493	32.1
字	時間外B	28,533	25.7	病	時間外B	4,222	38.9
病	夜間	24,025	21.6	院	夜 間	1,438	13.2
院	計	111,237	100.0	1	計	10,866	100.0
盛	深夜	1,506	6.8	盛	深夜	198	6.8
	時間外A	1,036	4.7	岡	時間外A	220	7.6
畄	土曜日午前	1,006	4.5	つ	土曜日午前	1	0.03
市	土曜日午後	397	1.8	など	土曜日午後	230	7.9
立	日 祭 日	11,948	54.0	な ぎ 温	日 祭 日	881	30.3
	時間外B	3,734	16.9	泉	時間外B	830	28.5
病	夜間	2,507	11.3	病	夜 間	549	18.9
院	計	22,134	100.0	院	計	2,909	100.0
	深夜	68,554	16.7		深夜	1,020	5.7
岩	時間外A	17,065	4.2	Л	時間外A	578	3.3
	土曜日午前	4,349	1.1	久	土曜日午前	19	0.1
手	土曜日午後	8,295	2.0	ı	土曜日午後	1,235	7.0
医	日 祭 日	86,647	21.1	保	日 祭 日	6,576	37.1
	時間外B	99,347	24,2	病	時間外B	5,228	29.5
大	夜 間	126,243	30.8	院	夜 間	3,090	17.4
	計	410,500	100.0	1	計	17,746	100.0
	深夜	1,026	4.0		深夜	431	1.8
遠	時間外A	1,561	6.1	河	時間外A	1,061	4.4
	土曜日午前	0	0.0		土曜日午前	0	0.0
Щ	土曜日午後	282	1.1	南	土曜日午後	0	0.0
病	日 祭 日	14,782	58.0	病	日 祭 日	6,846	28.4
713	時間外B	5,292	20.8	//3	時間外B	10,168	42.2
院	夜 間	2,546	10.0	院	夜 間	5,606	23.2
	計	25,489	100.0	1	計	24,112	100.0
	深夜	2,789	6.3		深夜	103	7.8
高	時間外A	1,225	2.7	原	時間外A	112	8.5
	土曜日午前	1	0.002	l	土曜日午前	0	0.0
松	土曜日午後	1,658	3.7	田田	土曜日午後	0	0.0
病	日 祭 日	12,459	27.9	病	日 祭 日	351	26.7
	時間外B	16,270	36.5	7/13	時間外B	443	33.7
院	夜 間	10,195	22.9	院	夜 間	304	23.2
	計	44,597	100.0		計	1,313	100.0
	深夜	1,918	6.2				
栃	時間外A	797	2.6				
	土曜日午前	2	0.01				
内	土曜日午後	742	2.4				
病	日 祭 日	8,910	28.6				
71.3				ı			

37.7

22.5 100.0

時間外B

計

間

院

11,752

7,013

31,134

表 10-2 二次救急病院来院患者、病院別、時間帯別分布(2000 ~ 2019)

	時間帯別	合 計	比 率		時間帯別	合 計	比 率
	深夜	43,666	13.6		深夜	221	3.8
中	時間外A	29,438	9.1	内	時間外A	131	2.2
	土曜日午前	12,891	4.0		土曜日午前	0	0.0
央	土曜日午後	19,766	6.1	丸	土曜日午後	495	8.4
病	日 祭 日	53,117	16.5	病	日 祭 日	3,309	56.2
71/9	時間外B	82,875	25.7	7179	時間外B	1,119	19.0
院	夜 間	80,201	24.9	院	夜 間	614	10.4
	計	321,954	100.0		計	5,889	100.0
盛	深夜	18,595	11.0		深夜	1,850	5.8
岡	時間外A	13,762	8.1	盛	時間外A	2,505	7.8
	土曜日午前	6,611	3.9	岡	土曜日午前	187	0.6
赤	土曜日午後	10,722	6.3	友	土曜日午後	2,170	6.8
+	日 祭 日	33,143	19.6	愛	日 祭 日	10,122	31.6
字	時間外B	45,680	27.0	病	時間外B	10,264	32.1
病	夜 間	40,409	23.9	院	夜 間	4,911	15.3
院	計	168,922	100.0		計	32,009	100.0
盛	深夜	1,693	5.0	盛	深夜	771	6.3
	時間外A	3,587	10.6	岡	時間外A	1,294	10.6
畄	土曜日午前	4,547	13.4	つ	土曜日午前	345	2.8
市	土曜日午後	2,602	7.7	なぎ温	土曜日午後	924	7.6
立.	日 祭 日	11,159	32.8	きょ	日 祭 日	3,332	27.3
	時間外B	6,494	19.1	泉	時間外B	3,438	28.2
病	夜間	3,891	11.5	病	夜 間	2,085	17.1
院	計	33,973	100.0	院	計	12,189	100.0
	深夜	71,216	14.0		深夜	4,108	6.5
岩	時間外A	27,521	5.4	Л	時間外A	3,512	5.6
711	土曜日午前	11,685	2.3	久	土曜日午前	486	0.8
手	土曜日午後	24,663	4.8		土曜日午後	4,228	6.7
医	日 祭 日	102,216	20.0	保	日 祭 日	22,854	36.4
	時間外B	124,006	24.3	病	時間外B	16,403	26.1
大	夜間	148,530	29.1	院	夜 間	11,215	17.9
	計	509,837	100.0		計	62,806	100.0
	深夜	599	7.1	軍	深夜	752	6.7
遠	時間外A	361	4.3	立	時間外A	716	6.4
~_	土曜日午前	29	0.3	病	土曜日午前	957	8.6
Щ	土曜日午後	518	6.1	焼機	土曜日午後	1,019	9.1
病	日 祭 日	4,423	52.2	構	日 祭 日	2,572	23.0
加	時間外B	1,526	18.0	国立病院機構盛岡	時間外B	3,157	28.2
院	夜間	1,025	12.1	病	夜 間	2,013	18.0
	計	8,481	100.0	病院	計	11,186	100.0
	深夜	1,690	5.1		深夜	1,392	5.1
高	時間外A	1,076	3.3	八	時間外A	2,587	9.6
	土曜日午前	82	0.2	``	土曜日午前	268	1.0
松	土曜日午後	3,494	10.6	角	土曜日午後	1,951	7.2
4	日祭日	10,633	32.2	卡	日祭日	8,113	30.0
病	時間外B	11,831	35.8	病	時間外B	8,055	29.8
院	夜間	4,222	12.8	院	夜間	4,685	17.3
	計	33,028	100.0		計	27,051	100.0
	深夜	771	4.4			,	
栃	時間外A	596	3.4				
נעו	土曜日午前	8	0.05				
内	土曜日午後	1,576	9.1				
يني.	日 祭 日	5,171	29.7				
病	時間外B	5,886	33.8				
院	方 明 7 日	2,000	33.0				

19.5

100.0

院

間

計

3,390

17,398

表 11-1 二次救急病院来院患者、病院別、外来、入院の分布(1980 ~ 1999)

			外	来					入	、院		
病院名	内科	系	外科	系	その	他	内科	系	外科	系	その1	也
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
中央病院	55,776	14.0	26,803	12.4	7,586	5.7	9,064	24.7	11,027	30.8	1,584	7.5
赤十字病院	54,920	13.8	22,210	10.3	9,660	7.3	9,076	24.7	3,608	10.1	12,451	58.8
盛岡市立病院	12,008	3.0	2,931	1.4	2,501	1.9	2,301	6.3	1,541	4.3	1,169	5.5
岩手医科大学	206,920	52.0	82,200	38.0	102,912	77.9	8,284	22.6	7,315	20.4	5,348	25.2
遠 山 病 院	21,160	5.3	1,607	0.7	116	0.1	2,175	5.9	498	1.4	10	0.05
高 松 病 院	13,390	3.4	27,500	12.7	2	0.002	1,401	3.8	2,689	7.5	2	0.01
栃 内 病 院	345	0.1	26,014	12.0	19	0.01	97	0.3	4,960	13.9	4	0.02
内 丸 病 院	6,566	1.6	12,413	5.7	91	0.1	833	2.3	2,107	5.9	203	1.0
河 南 病 院	12,321	3.1	8,975	4.1	26	0.02	1,883	5.1	878	2.5	29	0.1
原 田 病 院	59	0.01	656	0.3	0	0	7	0.02	585	1.6	0	0
盛岡友愛病院	6,523	1.6	3,006	1.4	15	0.01	738	2.0	508	1.4	0	0
盛岡つなぎ温泉病院	2,001	0.5	609	0.3	61	0.05	339	0.9	41	0.1	5	0.02
川久保病院	6,000	1.5	1,520	0.7	9,189	7.0	505	1.4	51	0.1	386	1.8
合 計	397,989	100	216,444	100	132,178	100	36,703	100	35,808	100	21,191	100

表 11-2 二次救急病院来院患者、病院別、外来、入院の分布(2000~2019)

			外	来			入 院					
病院名	内科	系	外科	系	その	他	内科	系	外科	系	その	他
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
中 央 病 院	99,914	23.8	82,336	22.3	69,303	23.0	34,690	48.0	22,212	46.5	13,499	38.9
盛岡赤十字病院	51,750	12.4	53,686	14.5	31,660	10.5	12,156	16.8	11,733	24.6	7,937	22.9
盛岡市立病院	9,062	2.2	6,413	1.7	13,609	4.5	2,119	2.9	1,529	3.2	1,241	3.6
岩手医科大学	96,502	23.0	80,685	21.9	109,751	36.4	6,963	9.6	3,199	6.7	6,344	18.3
遠 山 病 院	23,116	5.5	6,445	1.7	21	0.01	1,986	2.7	374	0.8	2	0.01
高松病院	78,623	18.8	98,389	26.7	40,645	13.5	5,436	7.5	3,280	6.9	4,081	11.75
栃 内 病 院	3,390	0.8	17,439	4.7	1	0.0003	137	0.2	2,559	5.4	0	0
内 丸 病 院	2,243	0.5	2,899	0.8	72	0.02	279	0.4	395	0.8	1	0.003
盛岡友愛病院	15,909	3.8	6,783	1.8	402	0.1	2,687	3.7	727	1.5	40	0.1
盛岡つなぎ温泉病院	11,756	2.81	2,589	0.7	1,002	0.3	1,960	2.7	206	0.4	137	0.4
川久保病院	23,223	5.5	1,920	0.5	33,832	11.21	2,541	3.5	104	0.2	1,186	3
国立病院機構盛岡病院	3,378	0.8	3,719	1.0	1,629	0.5	1,353	1.9	846	1.8	261	0.8
八角病院	106	0.03	5,678	1.5	0	0	18	0.02	625	1.3	0	0
合 計	418,972	100	368,981	100	301,927	100	72,325	100	47,789	100	34,729	100

表 12-1 二次救急病院来院患者、病院別、内科系、外科系、その他の分布(1980~1999)

产 险 夕	内科	系	外科	系	その	他
病院名	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
中 央 病 院	64,840	14.9	37,830	15.0	9,170	6.0
赤十字病院	63,996	14.7	25,818	10.2	22,111	14.4
盛岡市立病院	14,309	3.3	4,472	1.8	3,670	2.4
岩手医科大学	215,204	49.5	89,515	35.5	108,260	70.6
遠山病院	23,335	5.4	2,105	0.8	126	0.1
高 松 病 院	14,791	3.4	30,189	12.0	4	0.0
栃 内 病 院	442	0.1	30,974	12.3	23	0.0
内 丸 病 院	7,399	1.7	14,520	5.8	294	0.2
河 南 病 院	14,204	3.3	9,853	3.9	55	0.0
原田病院	66	0.0	1,241	0.5	0	0.0
盛岡友愛病院	7,261	1.7	3,514	1.4	15	0.0
盛岡つなぎ温泉病院	2,340	0.5	650	0.3	66	0.0
川久保病院	6,505	1.5	1,571	0.6	9,575	6.2
合 計	434,692	100	252,252	100	153,369	100

表 12-2 二次救急病院来院患者、病院別、内科系、外科系、その他の分布 (2000 ~ 2019)

病院名	内科	系	外科	系	その	他
州 阮 石	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
中 央 病 院	134,604	27.4	104,548	25.1	82,802	24.6
盛岡赤十字病院	63,906	13.0	65,419	15.7	39,597	11.8
盛岡市立病院	11,181	2.3	7,942	1.9	14,850	4.4
岩手医科大学	103,465	21.1	83,884	20.1	116,095	34.5
遠 山 病 院	25,102	5.1	6,819	1.6	23	0.01
高 松 病 院	84,059	17.1	101,669	24.4	44,726	13.3
栃 内 病 院	3,527	0.7	19,998	4.8	1	0.0003
内 丸 病 院	2,522	0.5	3,294	0.8	73	0.02
盛岡友愛病院	18,596	3.8	7,510	1.8	442	0.1
盛岡つなぎ温泉病院	13,716	2.8	2,795	0.7	1,139	0.3
川久保病院	25,764	5.2	2,024	0.5	35,018	10.4
国立病院機構盛岡病院	4,731	1.0	4,565	1.1	1,890	0.6
八角病院	124	0.03	6,303	1.5	0	0
合 計	491,297	100	416,770	100	336,656	100

表 13 二次救急病院来院患者、内科系、外科系、その他と外来・入院、時間帯別分布 (1980 ~ 2019)

		外	来	入	院
	時間帯別	合 計	比 率	合 計	比 率
	深夜	112,767	13.8	16,194	14.9
	時間外A	52,229	6.4	9,223	8.5
内	土曜日午前	16,169	2.0	3,557	3.3
科	土曜日午後	31,211	3.8	5,598	5.1
系	日 祭 日	194,840	23.9	17,968	16.5
不	時間外B	203,992	25.0	29,344	27.0
	夜 間	203,875	25.0	26,889	24.7
	計	815,083	100	108,773	100
	深夜	46,126	7.9	12,739	15.3
	時間外A	31,262	5.4	7,215	8.7
外	土曜日午前	14,681	2.5	2,505	3.0
 	土曜日午後	31,491	5.4	3,923	4.7
- 	日 祭 日	148,997	25.5	14,321	17.2
系	時間外B	168,521	28.9	23,534	28.2
	夜 間	142,518	24.4	19,114	22.9
	計	583,596	100	83,351	100
	深夜	52,309	12.1	13,912	24.9
	時間外A	20,761	4.8	4,750	8.5
そ	土曜日午前	10,794	2.5	1,295	2.3
Ø	土曜日午後	18,590	4.3	1,903	3.4
	日 祭 日	113,896	26.3	7,242	13.0
他	時間外B	102,592	23.7	12,716	22.8
	夜 間	114,001	26.3	14,061	25.2
	計	432,943	100	55,879	100
総	計	1,831,622		248,003	

図 10 診療科毎時間帯別の来院患者分布

時間外B

23.7%

26.3%

〈内科系・外来〉 〈内科系・入院〉 時間外A 深夜 6.4% 深夜 13.8% 14.9% 夜間 土曜日午前 夜間 時間外A 25.0% 24.7% - 2.0% 8.5% 土曜日午前 土曜日午後 3.3% 3.8% 土曜日午後 時間外B 時間外B 5.1% 日祭日 日祭日 25.0% 27.0% 23.9% 16.5% 〈外科系・外来〉 〈外科系・入院〉 時間外A 5.4%土曜日午前 深夜 2.5% 深夜 7.9% 夜間 夜間 15.3% 土曜日午後 24.4% 22.9% 5.4% 時間外A 8.7% 土曜日午前 3.0% 土曜日午後 日祭日 時間外B 4.7% 25.5% 日祭日 時間外B 28.2% 17.2% 28.9% 〈その他・外来〉 〈その他・入院〉 時間外A 4.8% 深夜 土曜日午前 12.1% 2.5% 深夜 夜間 夜間 24.9% 土曜日午後 26.3% 25.2% 4.3% 時間外A 8.5% 日祭日

時間外B

22.8%

日祭日

13.0%

土曜日午前

~ 2.3%

土曜日午後 3.4%

2. 盛岡地区二次救急医療体制 10 年間のまとめ

 $(2010.1 \sim 2019.12)$

二次救急病院は2010年より八角病院が加入し、この10年間はA群3病院、B群9病院の体制を維持しながら運営されてきた。

患者数は 2012 年の 54,066 人のピークから、2019 年には 1 万 3 千以上減少し、40,668 人となっている。(図 2) これに対し、救急車搬入件数は 2015 年に 7,688 人まで減少したが、2016 年以降、再び増加傾向にあり、2018 年には 8,731 人となった。(図 3)

この10年間は二次救急輪番病院の体制には変更なかったが、一番大きな出来事として、 2019年9月の岩手医科大学附属病院の矢巾町移転があげられる。

医大移転にあたり、二次救急医療対策委員会としても平成25年から対応を協議し、各二次 救急病院の協力体制を築くこと、また各市町とも連携し住民への適正受診に関する周知活動を 行うことで、移転後も大きな混乱はおきなかった。

しかしながら岩手医科大学附属病院の移転が与えた影響は患者数に反映されている。各病院の患者数は表1に示す通りだが、岩手医科大学は移転前年に比べ3,360人減少し、また救急体制を強化した盛岡市立病院は前年に比べ720人増加と1.8倍になった。このデータは19年12月までのデータであり、医大移転後3か月程度しか反映されていないため、今後も動向には注視していく必要があると思われる。

図4~7に各区分別の10年間総数、図8~10に月別及び時間帯別の患者数を示す。表2は地区別患者数の分布であるが、盛岡医療圏のみならず、県内外の患者が9%占めている。表5~8は病院別の集計を示すが、救急車搬入の81%をA群病院で対応し、その65%が県立中央病院で対応している。表9以下詳細な分類の集計を示す。

図 1 二次救急医療体制年次別参加病院状況(2010年~2020年)

(1979.12.1 盛岡地区二次輪番体制開始)

	'2010	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2
岩手県立中央病院											
盛岡赤十字病院											
盛岡市立病院											
岩手医科大学											
遠山病院											
高 松 病 院											
栃 内 病 院											
盛岡友愛病院											
盛岡つなぎ温泉病院											
川久保病院											, (funns
もりおかこども病院											
国立病院機構盛岡病院											
八 角 病 院											

19.3月より無床化のため小児救急病院群輪番制から脱退 19.10月より小児救急病院群輪番制を再開 10.4月より二次救急病院群輪番制に参加

輪番制参加病院数 13 13 13 13 13 13 13 13 13 12

※国立病院機構盛岡病院は2019年3月より病院名称を国立病院機構盛岡医療センターに変更しました。

図 2 二次救急医療体制 10 年間来院患者総数年次別推移 (2010.1~2019.12)

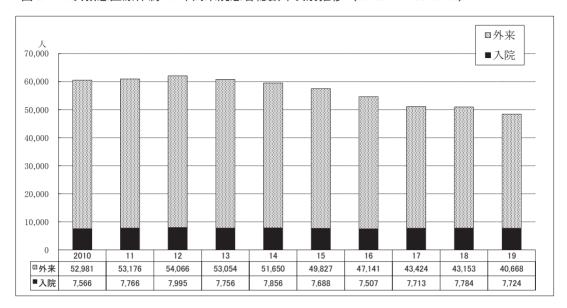


表 1 二次救急医療体制 10 年間来院患者総数 (2010.1 ~ 2019.12)

	'2010	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	合計	平均	比率 (%)
岩手県立中央病院	16,561	16,893	17,831	17,237	17,903	18,157	17,323	16,620	17,764	17,585	173,874	17,387.4	(30.69)
石丁尔 丛 丁 天 州 阮	(27.4)	(27.7)	(28.7)	(28.3)	(30.1)	(31.6)	(31.7)	(32.5)	(34.9)	(36.3)	(30.7)		
盛岡赤十字病院	8,775	9,091	9,031	8,803	8,037	7,212	6,820	6,517	6,054	5,767	76,107	7,610.7	(13.43)
益 同 か 于 内 阮	(14.5)	(14.9)	(14.6)	(14.5)	(13.5)	(12.5)	(12.5)	(12.7)	(11.9)	(11.9)	(13.4)		
盛岡市立病院	1,351	1,181	928	905	979	880	788	881	939	1,659	10,491	1,049.1	(1.85)
 	(2.2)	(1.9)	(1.5)	(1.5)	(1.6)	(1.5)	(1.4)	(1.7)	(1.8)	(3.4)	(1.9)		
岩手医科大学	24,555	22,908	23,092	23,167	22,191	21,099	19,848	18,491	18,995	15,635	209,981	20,998.1	(37.07)
石丁区 仟八十	(40.6)	(37.6)	(37.2)	(38.1)	(37.3)	(36.7)	(36.3)	(36.2)	(37.3)	(32.3)	(37.1)		
遠山病院	334	408	355	328	484	342	374	452	313	198	3,588	358.8	(0.63)
逐 川 炯 阮	(0.6)	(0.7)	(0.6)	(0.5)	(0.8)	(0.6)	(0.7)	(0.9)	(0.6)	(0.4)	(0.6)		
高 松 病 院	1,527	1,623	1,659	1,695	1,593	1,456	1,457	1,185	200	160	12,555	1,255.5	(2.22)
同 仏 炯 阮	(2.5)	(2.7)	(2.7)	(2.8)	(2.7)	(2.5)	(2.7)	(2.3)	(0.4)	(0.3)	(2.2)		
栃 内 病 院	691	635	729	741	689	807	589	498	511	537	6,427	2,142.3	(1.13)
707 P1 7内 P元	(1.1)	(1.0)	(1.2)	(1.2)	(1.2)	(1.4)	(1.1)	(1.0)	(1.0)	(1.1)	(1.1)		
八角病院	2,133	2,927	3,375	3,225	3,037	2,832	2,594	2,293	2,199	2,436	27,051	2,705.1	(4.78)
八月烟炕	(3.5)	(4.8)	(5.4)	(5.3)	(5.1)	(4.9)	(4.7)	(4.5)	(4.3)	(5.0)	(4.8)		
盛岡友愛病院	581	664	621	642	530	563	551	446	563	494	5,655	565.5	(1.00)
益 叫 及 发 柄 阮	(1.0)	(1.1)	(1.0)	(1.1)	(0.9)	(1.0)	(1.0)	(0.9)	(1.1)	(1.0)	(1.0)		
盛岡つなぎ温泉病院	1,409	1,187	1,191	1,193	1,293	1,318	1,148	850	674	853	11,116	1,111.6	(1.96)
盆岡 ノなさ 価水内に	(2.3)	(1.9)	(1.9)	(2.0)	(2.2)	(2.3)	(2.1)	(1.7)	(1.3)	(1.8)	(2.0)		
川久保病院	2,498	3,162	2,919	2,507	2,295	2,333	2,518	2,300	2,078	2,289	24,899	2,489.9	(4.40)
川八体州阮	(4.1)	(5.2)	(4.7)	(4.1)	(3.9)	(4.1)	(4.6)	(4.5)	(4.1)	(4.7)	(4.4)		
国立病院機構盛岡病院	132	263	330	367	475	516	638	604	647	779	4,751	475.1	(0.84)
凶 业 例	(0.2)	(0.4)	(0.5)	(0.6)	(0.8)	(0.9)	(1.2)	(1.2)	(1.3)	(1.6)	(0.8)		
合 計	60,547	60,942	62,061	60,810	59,506	57,515	54,648	51,137	50,937	48,392	566,495	56,649.5	(100.0)
D FI	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		

図 3 二次救急病院における救急車搬入患者総数の年別推移 (2010.1~2019.12)

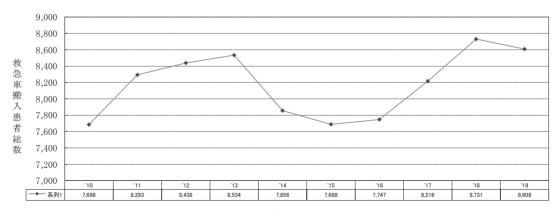


図4 来院患者総数に対する各病院の比率 図5

図5 来院患者総数の内訳(診療科別)

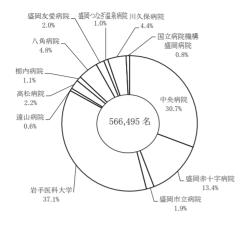
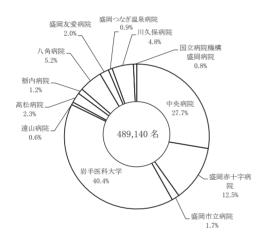




図6 外来患者数に対する各病院の比率

図7 入院患者数に対する各病院の比率



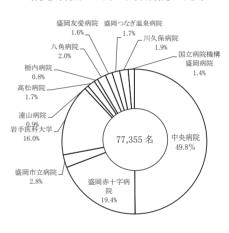


図8 月別患者数推移(2010.1~2019.12)

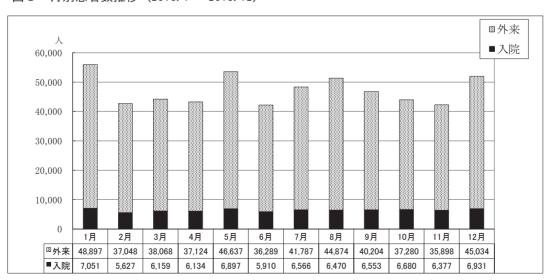


図 9 時間帯別外来患者数 (2010.1~2019.12)

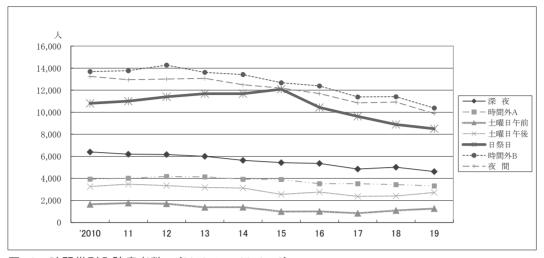


図 10 時間帯別入院患者数 (2010.1~2019.12)

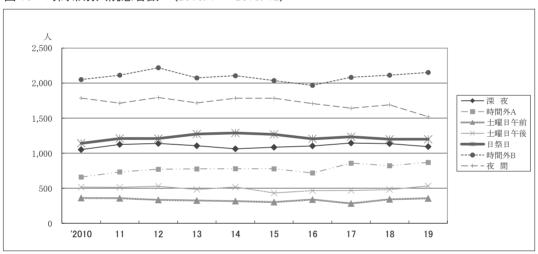


表 2 盛岡地区二次救急患者地区別動態 (2010.1~2019.12)

					外来患者数	入院患者数	患者総数	比率 (%)
盛				岡	306,917	42,690	349,607	61.7
雫				石	11,979	2,784	14,763	2.6
葛				巻	1,087	506	1,593	0.3
岩				手	12,396	2,485	14,881	2.6
滝				沢	42,475	6,584	49,059	8.7
紫				波	28,671	5,573	34,244	6.0
矢				巾	24,769	3,954	28,723	5.1
八		幡		平	19,346	3,485	22,831	4.0
そ	0)	他	県	内	24,082	6,821	30,903	5.5
県				外	17,418	2,473	19,891	3.5
合				計	489,140	77,355	566,495	100

表 3 時間帯別外来患者数 (2010.1~2019.12)

	'2010	'2011	'2012	'2013	'2014	'2015	'2016	'2017	'2018	'2019	合計
深夜	6,397	6,199	6,167	6,003	5,640	5,431	5,353	4,848	5,011	4,620	55,669
時 間 外 A	3,934	4,017	4,174	4,143	3,917	3,899	3,513	3,513	3,433	3,319	37,862
土曜日午前	1,645	1,761	1,698	1,373	1,388	996	1,002	839	1,088	1,262	13,052
土曜日午後	3,262	3,479	3,345	3,174	3,118	2,553	2,756	2,366	2,406	2,715	29,174
日 祭 日	10,805	11,007	11,399	11,679	11,680	12,087	10,437	9,626	8,884	8,499	106,103
時 間 外 B	13,688	13,767	14,271	13,615	13,418	12,672	12,388	11,385	11,413	10,375	126,992
夜 間	13,250	12,946	13,012	13,067	12,489	12,189	11,692	10,847	10,918	9,878	120,288
合 計	52,981	53,176	54,066	53,054	51,650	49,827	47,141	43,424	43,153	40,668	489,140

表 4 時間帯別入院患者数 (2010.1~2019.12)

	'2010	'2011	'2012	'2013	'2014	'2015	'2016	'2017	'2018	'2019	合計
深夜	1,052	1,125	1,139	1,106	1,063	1,085	1,104	1,145	1,136	1,094	11,049
時 間 外 A	659	733	771	776	779	778	718	858	822	869	7,763
土曜日午前	360	358	333	325	316	302	338	283	342	356	3,313
土曜日午後	516	513	529	483	518	433	466	468	481	533	4,940
日 祭 日	1,141	1,210	1,209	1,274	1,289	1,269	1,205	1,234	1,199	1,199	12,229
時間外B	2,051	2,113	2,219	2,075	2,106	2,037	1,968	2,083	2,114	2,152	20,918
夜 間	1,787	1,714	1,795	1,717	1,785	1,784	1,708	1,642	1,690	1,521	17,143
合 計	7,566	7,766	7,995	7,756	7,856	7,688	7,507	7,713	7,784	7,724	77,355

表 5 二次救急病院における月別患者数 (2010.1~2019.12)

$2010.1 \sim 2019.12$	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
中 央 病 院	16,356	13,175	13,747	13,380	15,815	13,287	14,994	15,522	14,590	14,071	13,435	15,502	173,874
盛岡赤十字病院	7,590	5,728	5,908	5,643	7,033	5,561	6,547	7,007	6,197	5,801	5,819	7,273	76,107
盛岡市立病院	957	725	800	759	967	733	943	958	869	866	789	1,125	10,491
岩手医科大学	20,813	15,413	16,352	16,267	20,091	16,190	18,283	19,305	17,345	16,322	15,398	18,202	209,981
遠 山 病 院	503	368	209	308	334	232	263	197	291	249	219	415	3,588
高 松 病 院	1,191	1,008	857	999	1,174	980	1,100	1,324	949	938	849	1,186	12,555
栃 内 病 院	594	364	462	586	791	417	469	528	543	462	532	679	6,427
八 角 病 院	3,036	2,258	2,113	2,026	2,652	1,886	2,217	2,541	2,115	1,915	1,753	2,539	27,051
盛岡友愛病院	1,252	869	851	801	1,101	744	997	940	946	834	758	1,023	11,116
盛岡つなぎ温泉病院	582	516	425	441	520	380	473	527	470	378	368	575	5,655
川久保病院	2,612	1,914	2,168	1,671	2,616	1,457	1,683	2,092	2,039	1,727	1,979	2,941	24,899
国立病院機構盛岡病院	462	337	335	377	440	332	384	403	403	397	376	505	4,751
合 計	55,948	42,675	44,227	43,258	53,534	42,199	48,353	51,344	46,757	43,960	42,275	51,965	566,495

表 6 二次救急病院における外来、入院、救急車搬入数 (2010.1~2019.12)

	外	来	入	院	うち救急	急車搬入	to Met. (Fr)	
$2010.1 \sim 2019.12$	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	総数 (名)	
中 央 病 院	135,324	27.7	38,550	49.8	44,556	53.1	173,874	
盛岡赤十字病院	61,128	12.5	14,979	19.4	14,902	17.8	76,107	
盛岡市立病院	8,297	1.7	2,194	2.8	2,179	2.6	10,491	
岩手医科大学	197,587	40.4	12,394	16.0	8,793	10.5	209,981	
遠 山 病 院	2,917	0.6	671	0.9	937	1.1	3,588	
高 松 病 院	11,218	2.3	1,337	1.7	3,744	4.5	12,555	
栃 内 病 院	5,784	1.2	643	0.8	1,626	1.9	6,427	
八 角 病 院	25,538	5.2	1,513	2.0	1,490	1.8	27,051	
盛岡友愛病院	9,913	2.0	1,203	1.6	1,460	1.7	11,116	
盛岡つなぎ温泉病院	4,342	0.9	1,313	1.7	1,259	1.5	5,655	
川久保病院	23,406	4.8	1,493	1.9	1,587	1.9	24,899	
国立病院機構盛岡病院	3,686	0.8	1,065	1.4	1,327	1.6	4,751	
合 計	489,140	100.0	77,355	100.0	83,860	100.0	566,495	

表7 二次救急病院における来院患者の内科系・外科系・その他の総合分布 (2010.1~2019.12)

$2010.1 \sim 2019.12$	内科系		外利	斗系	その)他	総数 (名)	
$2010.1 \sim 2019.12$	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	秘奴(白)	
中 央 病 院	77,072	32.0	58,256	27.5	38,546	33.8	173,874	
盛岡赤十字病院	28,004	11.6	33,010	15.6	15,093	13.2	76,107	
盛岡市立病院	4,422	1.8	4,833	2.3	1,236	1.1	10,491	
岩手医科大学	77,337	32.1	87,925	41.5	44,719	39.2	209,981	
遠 山 病 院	2,459	1.0	1,115	0.5	14	0.01	3,588	
高 松 病 院	3,522	1.5	9,032	4.3	1	0.001	12,555	
栃 内 病 院	124	0.1	6,303	3.0	0	0.0	6,427	
八 角 病 院	21,240	8.8	5,806	2.7	5	0.004	27,051	
盛岡友愛病院	7,908	3.3	2,110	1.0	1,098	1.0	11,116	
盛岡つなぎ温泉病院	5,450	2.3	205	0.1	0	0.0	5,655	
川久保病院	11,228	4.7	402	0.2	13,269	11.6	24,899	
国立病院機構盛岡病院	1,878	0.8	2,865	1.4	8	0.01	4,751	
合 計	240,644	100.0	211,862	100.0	113,989	100.0	566,495	

表 8 二次救急病院における救急車搬入患者内訳 (2010.1~2019.12)

	深	夜	時間	引外 A	土曜日	3午前	土曜	日午後	目	祭目	時間	l外 B	夜	間	総介	∱ A
	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)
中央病院	8,040	56.1	6,421	56.9	1,489	60.4	2,469	52.5	5,099	45.6	10,615	52.5	10,423	53.2	54,979	53.2
盛岡赤十字病院	2,314	16.2	2,045	18.1	556	22.5	874	18.6	2,168	19.4	3,612	17.8	3,333	17.0	18,235	17.6
盛岡市立病院	325	2.3	258	2.3	91	3.7	123	2.6	345	3.1	537	2.7	500	2.6	2,679	2.6
岩手医科大学	1,931	13.5	1,053	9.3	151	6.1	395	8.4	1,226	11.0	2,153	10.6	2,454	12.5	11,817	11.4
遠山病院	153	1.1	47	0.4	2	0.1	25	0.5	77	0.7	87	0.4	176	0.9	743	0.7
高松病院	251	1.8	223	2.0	30	1.2	282	6.0	961	8.6	967	4.8	584	3.0	3,882	3.8
栃 内 病 院	177	1.2	116	1.0	0	0.0	83	1.8	228	2.0	400	2.0	334	1.7	1,672	1.6
八角病院	231	1.6	291	2.6	51	2.1	107	2.3	239	2.1	408	2.0	402	2.1	2,131	2.1
盛岡友愛病院	212	1.5	259	2.3	7	0.3	80	1.7	213	1.9	358	1.8	331	1.7	1,791	1.7
盛岡つなぎ温泉病院	173	1.2	203	1.8	18	0.7	75	1.6	179	1.6	321	1.6	344	1.8	1,657	1.6
川久保病院	342	2.4	227	2.0	0	0.0	50	1.1	190	1.7	449	2.2	444	2.3	2,146	2.1
国立病院機構盛岡病院	177	1.2	139	1.2	72	2.9	139	3.0	265	2.4	329	1.6	249	1.3	1,619	1.6
合 計	14,326	100.0	11,282	100.0	2,467	100.0	4,702	100.0	11,190	100.0	20,236	100.0	19,574	100.0	103,35	100.0

表 9 二次救急病院来院患者、病院別、時間帯別分布 (2010.1~2019.12)

		1117070. 11 117	0,550		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•	
	時間帯別	合 計	比 率		時間帯別	合 計	比 率
中	深夜	23,861	13.7	八	深夜	1,392	5.1
"	時間外A	16,857	9.7		時間外A	2,587	9.6
	土曜日午前	6,662	3.8	tt.	土曜日午前	268	1.0
央	土曜日午後	11,123	6.4	角	土曜日午後	1,951	7.2
بعر	日 祭 日	27,193	15.6	بدر	日 祭 日	8,113	30.0
病	時間外B	45,217	26.0	病	時間外B	8,055	29.8
p.L.	夜間	42,961	24.7	p.L.	夜間	4,685	17.3
院	計	173,874	100.0	院	計	27,051	100.0
r-Pe	深夜	8,166	10.7	r-Pr	深夜	738	6.6
盛	時間外A	7,092	9.3	盛	時間外A	1,259	11.3
岡士	土曜日午前	3,517	4.6	岡	土曜日午前	100	0.9
赤	土曜日午後	5,277	6.9	友	土曜日午後	698	6.3
十	日 祭 日	15,140	19.9	愛	日 祭 日	3,457	31.1
字	時間外B	20,166	26.5	病	時間外B	3,046	27.4
病	夜 間	16,749	22.0		夜 間	1,818	16.4
院	計	76,107	100.0	院	計	11,116	100.0
盛	深夜	615	5.9	盛	深夜	345	6.1
	時間外A	1,093	10.4	岡	時間外A	680	12.0
岡	土曜日午前	1,340	12.8		土曜日午前	334	5.9
市	土曜日午後	924	8.8	なぎ	土曜日午後	417	7.4
立	日 祭 日	2,547	24.3	つなぎ温泉病院	日 祭 日	1,427	25.2
病	時間外B	2,375	22.6	泉	時間外B	1,514	26.8
	夜 間	1,597	15.2	病	夜 間	938	16.6
院	計	10,491	100.0	阮	計	5,655	100.0
ш	深夜	28,693	13.7	111	深夜	1,756	7.1
岩	時間外A	13,239	6.3	Л	時間外A	1,613	6.5
手	土曜日午前	3,497	1.7	久	土曜日午前	179	0.7
1 +	土曜日午後	9,385	4.5	保	土曜日午後	1,665	6.7
155	日 祭 日	41,349	19.7	休	日 祭 日	9,153	36.8
医	時間外B	52,559	25.0	病	時間外B	6,400	25.7
大	夜 間	61,259	29.2	院	夜 間	4,133	16.6
	計	209,981	100.0	阮	計	24,899	100.0
遠	深夜	219	6.1	玉	深夜	285	6.0
J.R.	時 間 外 A	149	4.2	立.	時 間 外 A	318	6.7
ш	土曜日午前	27	0.8	病	土曜日午前	380	8.0
144	土曜日午後	155	4.3	機	土曜日午後	556	11.7
病	日 祭 日	2,066	57.6	病院機構盛岡	日 祭 日	1,114	23.4
71/3	時間外B	611	17.0		時間外B	1,282	27.0
院	夜 間	361	10.1	病院	夜 間	816	17.2
PL	計	3,588	100.0	PDC	計	4,751	100.0
高	深夜	419	3.3				
le0	時間外A	422	3.4				
松	土曜日午前	58	0.5				
14	土曜日午後	1,339	10.7				
病	日 祭 日	4,516	36.0				
7/9	時間外B	4,641	37.0				
院	夜 間	1,160	9.2				
PTC	計	12,555	100.0				
栃	深夜	229	3.6				
ולער	時間外A	316	4.9				
内	土曜日午前	3	0.05				
l ra	土曜日午後	624	9.7				
病	日 祭 日	2,257	35.1				
723	時間外B	2,044	31.8				
1	凌 問	954	14.8	I			

14.8

100.0

954

6,427

夜

計

院

間

表 10 二次救急病院来院患者、病院別、外来、入院の分布(2010.1~2019.12)

	外来							入院					
病院名	内科系		外科系		その他		内科系		外科系		その他		
	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	
中 央 病 院	56,838	28.1	46,489	24.9	31,997	32.1	20,234	52.9	11,767	47.1	6,549	46.2	
赤十字病院	22,459	11.1	26,579	14.2	12,090	12.1	5,545	14.5	6,431	25.8	3,003	21.2	
盛岡市立病院	3,336	1.6	3,835	2.1	1,126	1.1	1,086	2.8	998	4.0	110	0.8	
岩手医科大学	71,968	35.6	84,981	45.5	40,638	40.7	5,369	14.0	2,944	11.8	4,081	28.8	
遠 山 病 院	1,927	1.0	976	0.5	14	0.01	532	1.4	139	0.6	0	0.0	
高 松 病 院	3,386	1.7	7,831	4.2	1	0.001	136	0.4	1,201	4.8	0	0.0	
栃 内 病 院	106	0.1	5,678	3.0	0	0.0	18	0.05	625	2.5	0	0.0	
八角病院	19,946	9.9	5,589	3.0	3	0.003	1,294	3.4	217	0.9	2	0.01	
盛岡友愛病院	7,011	3.5	1,939	1.0	963	1.0	897	2.3	171	0.7	135	1.0	
盛岡つなぎ温泉病院	4,141	2.0	201	0.1	0	0.0	1,309	3.4	4	0.02	0	0.0	
川久保病院	10,050	5.0	379	0.2	12,977	13.0	1,178	3.1	23	0.1	292	2.1	
国立病院機構盛岡病院	1,254	0.6	2,425	1.3	7	0.01	624	1.6	440	1.8	1	0.01	
合 計	202,422	100	186,902	100	99,816	100	38,222	100	24,960	100	14,173	100	

表 11 二次救急病院来院患者、病院別、内科系、外科系、その他の分布(2010.1~2019.12)

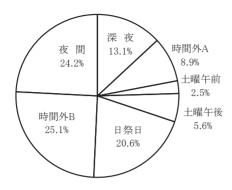
非	i 1	院	名	内和	斗系	外和	斗系	その他		
71	7/13 176		10	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	患者数	比率(%)	
中	央	病	院	77,072	32.0	58,256	27.5	38,546	33.8	
赤	十 :	字 病	院	28,004	11.6	33,010	15.6	15,093	13.2	
盛	岡 市	立非	ክ院	4,422	1.8	4,833	2.3	1,236	1.1	
岩	手医	科ナ	く学	77,337	32.1	87,925	41.5	44,719	39.2	
遠	山	病	院	2,459	1.0	1,115	0.5	14	0.0	
高	松	病	院	3,522	1.5	9,032	4.3	1	0.0	
栃	内	病	院	124	0.1	6,303	3.0	0	0.0	
八	角	病	院	21,240	8.8	5,806	2.7	5	0.0	
盛	岡友	愛非	ክ院	7,908	3.3	2,110	1.0	1,098	1.0	
盛岡	つな	ぎ温泉	病院	5,450	2.3	205	0.1	0	0.0	
Ш	久(呆 病	院	11,228	4.7	402	0.2	13,269	11.6	
国立	病院機	構盛岡	病院	1,878	0.8	2,865	1.4	8	0.0	
合			計	240,644	100	211,862	100	113,989	100	

表 12 二次救急病院来院患者、内科系、外科系、その他と外来・入院、時間帯別分布 (2010.1~2019.12)

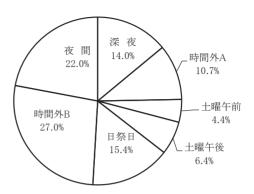
(2010	~ 20	19)		外	来	入	院
	時	間	帯	別	合 計	比 率	合 計	比 率
	深			夜	26,491	13.1	5,347	14.0
内	時	間	外	Α	18,060	8.9	4,095	10.7
	土	曜	午	前	5,107	2.5	1,673	4.4
科	土	曜	午	後	11,375	5.6	2,457	6.4
''	日	夕	<u> </u>	日	41,624	20.6	5,893	15.4
	時	間	外	В	50,796	25.1	10,333	27.0
系	夜			間	48,969	24.2	8,424	22.0
		言	t		202,422	100.0	38,222	100.0
	深			夜	15,704	8.4	3,038	12.2
外	時	間	外	Α	13,682	7.3	2,475	9.9
	土	曜	午	前	5,830	3.1	1,233	4.9
科	土	曜	午	後	12,662	6.8	1,823	7.3
177	日	夕	<u> </u>	日	43,366	23.2	4,172	16.7
	時	間	外	В	49,953	26.7	7,044	28.2
系	夜			間	45,705	24.5	5,175	20.7
		言	t		186,902	100.0	24,960	100.0
	深			夜	13,474	13.5	2,664	18.8
そ	時	間	外	Α	6,120	6.1	1,193	8.4
	土	曜	午	前	2,115	2.1	407	2.9
の	土	曜	午	後	5,137	5.1	660	4.7
()	日	务	Ž.	日	21,113	21.2	2,164	15.3
	時	間	外	В	26,243	26.3	3,541	25.0
他	夜			間	25,614	25.7	3,544	25.0
		言	t		99,816	100.0	14,173	100.0
	総	言	t		489,140		77,355	

図 11 診療科毎時間帯別の来院患者分布

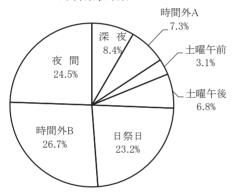
<内科系、外来>



<内科系、入院>



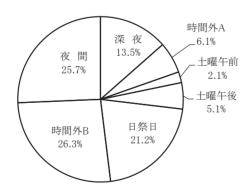
<外科系、外来>



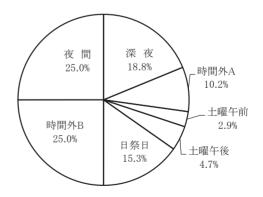
<外科系、入院>



<その他、外来>



<その他、入院>



3. 小児救急病院群輪番制 10 年間のまとめ

 $(2010.1 \sim 2019.12)$

1999 年 4 月に発足した小児救急病院群輪番制は当初 7 病院でスタートした。その後、小児科医師不足、勤務医師の高齢化、退職などにより、2007 年以降は5 病院体制となっていたが、2019 年 4 月に、もりおかこども病院が無床化したことにより脱退。一時、4 病院体制となり、同年 10 月からは 17 年ぶりに国立病院機構盛岡医療センター(旧盛岡病院)が再加入したことで5 病院体制となるも、2020 年 4 月から川久保病院が脱退したことで 4 病院体制となっている。

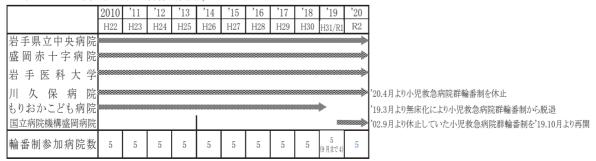
図2に示すように輪番日の病院受診者は年間 5,000 人前後、輪番日以外の病院受診者はここ数年は 2,500 人前後である。輪番日の受診はこの 10 年大きく変動はなく、輪番日以外の受診者は減少傾向にあることから、本制度が市民に周知されたことや、2004 年から開始した小児救急電話相談事業によるものと思われる。病院別統計を表1に示す。

図 4 に救急車搬入数を示す。輪番日の輪番病院への救急車搬入数は年々増加し 2019 年には 491 人となった。逆に輪番日以外(輪番日ではない日の受入)の搬入数は 130 人前後を維持しており、本制度の趣旨に沿う患者動向となっていると思われる。

このほか、月別、病院別、地区別統計を示しているが、地区別では盛岡地区以外の患者が輪番日で78%、輪番日以外で87%あり、県内外の小児救急医療にも貢献している。(表2)

図1 小児救急入院受入病院群輪番制参加病院状況(2010年~2020年)

(1979.12.1 盛岡地区二次輪番体制開始)



※国立病院機構盛岡病院は2019年3月より病院名称を国立病院機構盛岡医療センターに変更しました。

図 2-1 小児救急病院群輪番制 10年間来院患者総数年次別推移(輪番日)(2010.1~2019.12)

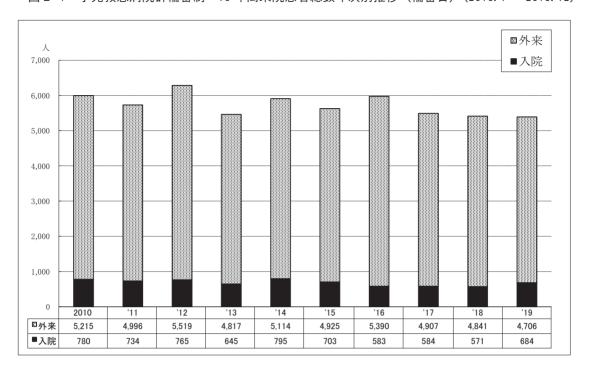


図2-2 小児救急病院群輪番制 10年間来院患者総数年次別推移(輪番日以外)(2010.1~2019.12)

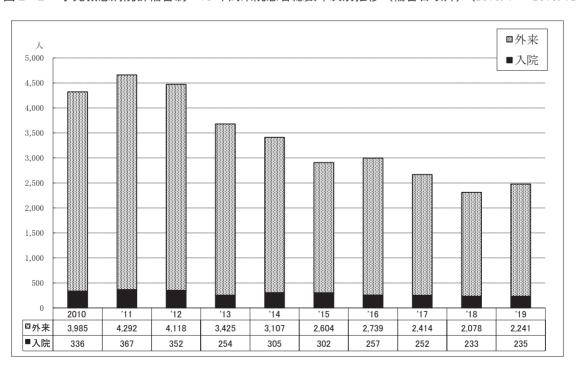


表 1-1 小児救急患者病院別合計表 (輪番日:2010.1~2019.12)

			2010	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	合計	平均	比率(%)
	外	来	1,994	2,031	2,381	1,942	2,314	2,177	2,158	1,935	1,877	1,959	20,768	2,076.8	(41.2)
岩手県立中央病院	入	院	318	381	447	319	390	358	305	290	253	378	3,439	343.9	(50.2)
石丁尔立丁入州机	総	数	2,312	2,412	2,828	2,261	2,704	2,535	2,463	2,225	2,130	2,337	24,207	2,420.7	(48.0)
	うち救急車	搬入患者数	133	176	188	157	190	158	172	189	170	249	1,782	178.2	(45.3)
	外	来	634	646	713	663	618	591	387	299	259	386	5,196	519.6	(10.3)
盛岡赤十字病院	入	院	245	181	145	156	191	144	72	55	45	65	1,299	129.9	(19.0)
	総	数	879	827	858	819	809	735	459	354	304	451	6,495	649.5	(12.9)
	うち救急車	搬入患者数	46	50	51	53	66	35	25	28	22	48	424	42.4	(10.8)
	外	来	1,807	1,265	1,443	1,283	1,228	1,174	1,735	1,717	1,817	1,746	15,215	1,521.5	(30.2)
岩手医科大学	入	院	83	52	57	84	94	113	142	151	197	206	1,179	117.9	(17.2)
4 7 6 11 7 7	総	数	1,890	1,317	1,500	1,367	1,322	1,287	1,877	1,868	2,014	1952	16,394	1,639	(32.5)
	うち救急車	搬入患者数	107	67	84	83	99	86	154	174	178	141	1,173	117.3	(29.8)
	外	来	249	378	350	328	356	401	410	382	347	449	3,650	343.7	(7.2)
川久保病院	入	院	20	13	29	25	23	22	6	9	7	7	161	22	(2.4)
711 /C PK 7F3 17G	総	数	269	391	379	353	379	423	416	391	354	456	3,811	821.7	(7.6)
		搬入患者数	9	16	14	25	32	33	26	24	35	43	257	64.5	(6.5)
	外	来	-	-	-	-	-	-	_	-	-	33	33	33.0	(0.1)
国立病院機構盛岡病院	入	院	-	-	-	-	-	-	_	-	-	15	15	15.0	(0.2)
1 2 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	総	数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	48	5	(0.1)
	うち救急車	搬入患者数	-	-	-	-	-	-	_	-	-	6	6	6.0	(0.2)
	外	来	531	676	632	601	598	582	700	574	541	133	5,568	556.8	(11.0)
もりおかこども病院	入	院	114	107	87	61	97	66	58	79	69	13	751	75.1	(11.0)
0) 40 % 0 0 0 // 1//2	総	数	645	783	719	662	695	648	758	653	610	146	6,319	631.9	(12.5)
		搬入患者数	24	38	39	43	28	26	30	38	26	4	296	29.6	(7.5)
	外	来	5,215	4,996	5,519	4,817	5,114	4,925	5,390	4,907	4,841	4,706	50,430	5,043.0	(100)
合 計	入	院	780	734	765	645	795	703	583	584	571	684	6,844	684.4	(100)
	総	数	5,995	5,730	6,284	5,462	5,909	5,628	5,973	5,491	5,412	5,390	57,274	5,727.4	
	うち救急車	搬入患者数	319	347	376	361	415	338	407	453	431	491	3,938	393.8	(100.0)

表 1-2 小児救急患者病院別合計表 (輪番日以外: 2010.1~2019.12)

			2010	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	合計	平均	比率(%)
	外	来	534	500	602	460	410	378	356	231	197	186	3,854	385.4	(12.4)
岩手県立中央病院	入	院	100	114	126	74	75	88	62	53	51	45	788	78.8	(27.2)
有 1 未五十 人 州 凡	総	数	634	614	728	534	485	466	418	284	248	231	4642	464.2	(9.2)
	うち救急車	搬入患者数	18	26	40	22	23	22	17	18	20	18	224	22.4	(16.4)
	外	来	244	243	244	183	156	125	105	64	63	105	1,532	153.2	(4.9)
盛岡赤十字病院	入	院	87	91	64	56	65	53	32	28	23	18	517	51.7	(17.9)
盖阿 奶 1 于	総	数	331	334	308	239	221	178	137	92	86	123	2049	204.9	(4.1)
	うち救急車	搬入患者数	19	19	17	20	22	11	13	11	6	8	146	14.6	(10.7)
	外	来	1,961	1,960	1,990	1,713	1,662	1,388	1,363	1,198	1,188	1,055	15,478	1,547.8	(49.9)
岩手医科大学	入	院	103	101	119	96	129	143	143	152	153	162	1301	130.1	(45.0)
石 1 区 村 八 丁	総	数	2064	2061	2109	1809	1791	1531	1506	1350	1341	1217	16779	1677.9	(33.3)
	うち救急車	搬入患者数	77	68	88	80	91	79	106	113	105	87	894	89.4	(65.6)
	外	来	1,038	1,405	1,142	909	740	670	893	901	613	881	9,192	984.0	(29.6)
川久保病院	入	院	24	34	19	14	15	7	7	5	2	4	131	18.8	(4.5)
// // // /// /// /// /// ///	総	数	1062	1439	1161	923	755	677	900	906	615	885	9323	1,888	(18.5)
	うち救急車	搬入患者数	8	9	17	17	11	7	5	5	6	3	88	14.5	(6.5)
	外	来	-	-	-	-	-	-	_	-	_	14	14	14.0	(0.0)
国立病院機構盛岡病院	入	院	-	-	-	-	-	-	_	-	-	5	5	5.0	(0.2)
当业剂机风带型闸剂机	総	数	-	-	-	-	-	-	_	_	_	19	19	2	(0.0)
	うち救急車	搬入患者数	-	-	-	-	-	-	-	_	_	5	5	5	(0.4)
	外	来	208	184	140	160	139	43	22	20	17	0	933	93.3	(3.0)
もりおかこども病院	入	院	22	27	24	14	21	11	13	14	4	1	151	15.1	(5.2)
0 7 40 10 0 0 0 174 176	総	数	230	211	164	174	160	54	35	34	21	1	1084	108.4	(2.1)
	うち救急車	搬入患者数	0	1	1	0	0	1	2	1	0	0	6	0.6	(0.4)
	外	来	3,985	4,292	4,118	3,425	3,107	2,604	2,739	2,414	2,078	2,241	31,003	3,100.3	(100.0)
合 計	入	院	336	367	352	254	305	302	257	252	233	235	2,893	289.3	(100.0)
ы п	総	数	4,321	4,659	4,470	3,679	3,412	2,906	2,996	2,666	2,311	2,476	33,896	3,390	
	うち救急車	搬入患者数	122	123	163	139	147	120	143	148	137	121	1363	136.3	(100.0)

図 3-1 月別患者数推移 輪番日 (2010.1~2019.12)

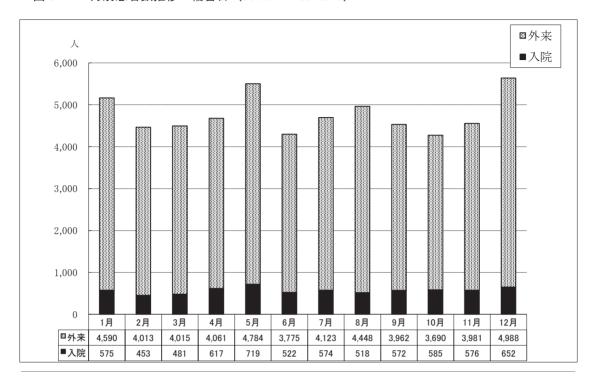


図 3-2 月別患者数推移 輪番日外 (2010.1~2019.12)

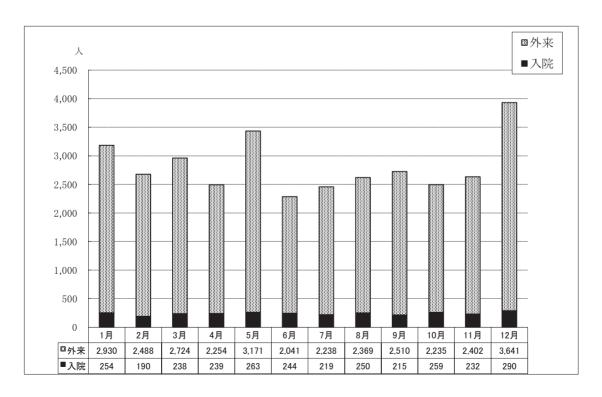


図 4-1 小児救急病院における救急車搬入患者総数の年別推移(輪番日:2010.1~2019.12)

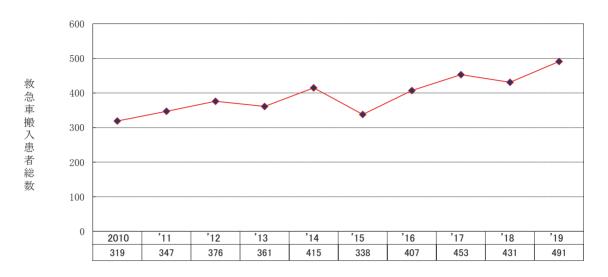


図 4-2 小児救急病院における救急車搬入患者総数の年別推移(輪番日以外:2010.1~2019.12)

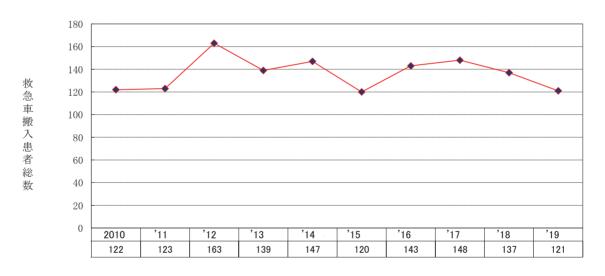


表 2-1 小児救急病院患者地区別動態 (輪番日:2010.1~2019.12)

	外来患者数	比 率	入院患者数	比 率	患者総数	比 率
盛	29,555	58.6	3,951	57.7	33,506	58.5
雫 石	911	1.8	160	2.3	1,071	1.9
葛 巻	132	0.3	18	0.3	150	0.3
岩 手	1,125	2.2	158	2.3	1,283	2.2
滝 沢	6,123	12.1	806	11.8	6,929	12.1
紫波	3,288	6.5	451	6.6	3,739	6.5
矢 巾	3,140	6.2	390	5.7	3,530	6.2
八 幡 平	605	4.6	278	4.1	2,607	4.6
その他県内	621	3.9	410	6.0	2,383	4.2
県 外	592	3.7	222	3.2	2,076	3.6
合 計	46,092	100	6,844	100	57,274	100

表 2-2 小児救急病院患者地区別動態(輪番日以外:2010.1~2019.12)

	外来患者数	比 率	入院患者数	比 率	患者総数	比 率
岡	20,269	65.4	1,575	54.4	21,844	64.4
石	480	1.5	66	2.3	546	1.6
巻	36	0.1	5	0.2	41	0.1
手	400	1.3	56	1.9	456	1.3
沢	2,744	8.9	289	10.0	3,033	8.9
波	1,859	6.0	157	5.4	2,016	5.9
巾	1,862	6.0	161	5.6	2,023	6.0
平	919	3.0	93	3.2	1,012	3.0
県 内	1,248	4.0	369	12.8	1,617	4.8
外	1,186	3.8	122	4.2	1,308	3.9
計	31,003	100	2,893	100	33,896	100
	石卷手沢波巾平内外	岡 20,269 石 480 巻 36 手 400 沢 2,744 波 1,859 巾 1,862 平 919 県 内 1,248 外 1,186	岡 20,269 65.4 石 480 1.5 巻 36 0.1 手 400 1.3 沢 2,744 8.9 波 1,859 6.0 巾 1,862 6.0 平 919 3.0 県 内 1,248 4.0 外 1,186 3.8	岡 20,269 65.4 1,575 石 480 1.5 66 巻 36 0.1 5 手 400 1.3 56 沢 2,744 8.9 289 波 1,859 6.0 157 巾 1,862 6.0 161 平 919 3.0 93 県 内 1,248 4.0 369 外 1,186 3.8 122	岡 20,269 65.4 1,575 54.4 石 480 1.5 66 2.3 巻 36 0.1 5 0.2 手 400 1.3 56 1.9 沢 2,744 8.9 289 10.0 波 1,859 6.0 157 5.4 巾 1,862 6.0 161 5.6 平 919 3.0 93 3.2 県 内 1,248 4.0 369 12.8 外 1,186 3.8 122 4.2	岡 20,269 65.4 1,575 54.4 21,844 石 480 1.5 66 2.3 546 巻 36 0.1 5 0.2 41 手 400 1.3 56 1.9 456 沢 2,744 8.9 289 10.0 3,033 波 1,859 6.0 157 5.4 2,016 巾 1,862 6.0 161 5.6 2,023 平 919 3.0 93 3.2 1,012 県 内 1,248 4.0 369 12.8 1,617 外 1,186 3.8 122 4.2 1,308

表 3-1 小児救急病院における病院別 月別患者数 総数 (輪番日)

2010.1 ~ 2019.12	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	合計
中 央 病 院	2,029	1,799	1,993	2,012	2,307	1,859	12,057	2,097	1,925	1,853	1,859	2,417	24,207
盛岡赤十字病院	618	521	427	571	684	428	500	538	475	457	521	755	6,495
岩手医科大学	1,607	1,288	1,282	1,344	1,507	1,239	1,404	1,324	1,303	1,224	1,337	1,535	16,394
川久保病院	361	259	311	255	453	296	244	447	288	278	287	332	3,811
国立病院機構盛岡病院	-	_	-	_	_	_	_	_	-	14	14	20	48
もりおかこども病院	550	599	483	496	552	475	492	560	543	449	539	581	6319
合 計	5,165	4,466	4,496	4,678	5,503	4,297	4,697	4,966	4,534	4,275	4,557	5,640	57,274

表 3-2 小児救急病院における病院別 月別患者数 総数 (輪番日以外)

2010.1 ~ 2019.12	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	合計
中 央 病 院	421	404	457	387	473	380	339	351	346	306	344	434	4,642
盛岡赤十字病院	156	156	173	164	204	166	159	180	177	142	171	201	2,049
岩手医科大学	1,692	1,364	1,392	1,306	1,564	1,215	1,362	1,498	1,237	1,303	1,219	1,627	16,779
川久保病院	799	673	838	547	1,069	448	519	518	883	671	806	1,552	9,323
国立病院機構盛岡病院	-	_	-	_	-	-	_	_	-	5	7	7	19
もりおかこども病院	116	81	102	89	124	76	78	72	82	67	87	110	1084
合 計	3,184	2,678	2,962	2,493	3,434	2,285	2,457	2,619	2,725	2,494	2,634	3,931	33,896

表 4-1 小児救急病院における市町村別 月別患者数 総数 (輪番日)

2010.	1 ~ 2019.12	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
盛	武	2,994	2,748	2,633	2,744	3,134	2,536	2,756	2,594	2,692	2,571	2,750	3,354	33,506
雫	石	118	81	81	103	92	88	77	82	77	84	82	106	1,071
葛	巻	19	6	12	14	14	10	13	13	9	15	12	13	150
岩	手	128	104	94	111	129	83	121	99	107	77	101	129	1,283
滝	沢	559	529	550	602	667	546	582	572	595	528	573	626	6,929
紫	波	329	315	322	307	366	244	294	323	261	299	310	369	3,739
矢	rļ:	300	256	287	275	362	331	295	296	268	264	269	327	3,530
八	幡平	246	179	206	233	252	195	188	239	202	200	216	251	2,607
県	内	239	168	208	169	240	184	220	233	186	159	153	224	2,383
県	外	233	80	103	120	247	80	151	515	137	78	91	241	2,076
合	計	5,165	4,466	4,496	4,678	5,503	4,297	4,697	4,966	4,534	4,275	4,557	5,640	57,274

表 4-2 小児救急病院における市町村別 月別患者数 総数 (輪番日以外)

2010.1 ~	2019.12	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
盛	岡	1,999	1,848	1,963	1,635	2,183	1,464	1,567	1,515	1,793	1,624	1,724	2,529	21,844
雫	石	53	31	52	39	46	40	50	37	63	36	33	66	546
葛	巻	8	3	0	1	2	3	2	2	6	6	4	4	41
岩	手	37	37	31	42	46	33	38	45	32	32	49	34	456
滝	沢	288	199	279	218	277	242	232	227	259	216	239	357	3,033
紫	波	165	158	176	141	215	133	122	146	155	165	174	266	2,016
矢	巾	195	146	188	128	199	132	164	134	165	153	175	244	2,023
八巾	番 平	102	102	80	105	87	83	76	106	56	64	74	77	1,012
県	内	178	101	117	117	176	112	132	139	125	139	112	169	1,617
県	外	159	53	76	67	203	43	74	268	71	59	50	185	1,308
合	計	3,184	2,678	2,962	2,493	3,434	2,285	2,457	2,619	2,725	2,494	2,634	3,931	33,896

※国立盛岡医療センターは令和元年10月からのデータとなります。

Ⅱ 盛岡市夜間急患診療所 43年目のあゆみ

1. 実態報告

盛岡市医師会、盛岡市夜間急患診療所運営協議会委員

和 田 利 彦 ・ 金 子 博 純 ・ 吉 田 耕太郎

金 濱 誠 己 · 久保田 公 宜 · 小 林 有 一

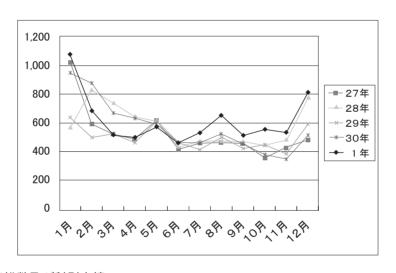
臼 井 由紀子 ・ 吉 田 研 一

盛岡市、盛岡市夜間急患診療所運営協議会事務局 ※ R1.12.31 現在

図1 過去5年間の月別患者分布

(人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	一日平均
H 2 7年	1,014	583	520	481	610	410	459	461	453	352	421	479	6,243	17.1
H 28年	563	823	736	641	609	437	472	469	468	442	477	771	6,908	18.9
H 2 9年	635	495	518	459	606	455	409	497	418	443	382	589	5,906	16.2
H 3 0 年	941	872	666	630	587	462	458	519	450	377	345	512	6,819	18.7
H31/R1年	1,066	675	508	497	568	454	528	647	508	551	528	807	7,337	20.1



表(1) 患者総数及び科別実績

(人)

	月	H31 年				R1年								人士	比率	前年	444 344
Þ	分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12月	合計	(%)	実績	増減
	者総数	1,066	675	508	497	568	454	528	647	508	551	528	807	7,337	100.0	6,819	518
(-	日患者数)	(34.4)	(24.1)	(16.4)	(16.6)	(18.3)	(15.1)	(17.0)	(20.9)	(16.9)	(17.8)	(17.6)	(26.0)	(20.1)		(18.7)	(1.4)
	4.1	578	282	210	185	241	142	173	215	154	174	195	291	2,840	38.7	2,741	99
科	内科	(18.6)	(10.1)	(6.8)	(6.2)	(7.8)	(4.7)	(5.6)	(6.9)	(5.1)	(5.6)	(6.5)	(9.4)	(7.8)		(7.5)	(0.3)
Dil	小児科	488	393	298	312	327	312	355	432	354	377	333	516	4,497	61.3	4,078	419
別	7317647	(15.7)	(14.0)	(9.6)	(10.4)	(10.5)	(10.4)	(11.5)	(13.9)	(11.8)	(12.2)	(11.1)	(16.6)	(12.3)		(11.2)	(1.1)

表(2) 年齢別患者分布

(人)

年曹	净月	H31年 1月	2月	3月	4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	0	28	18	36	33	39	39	44	53	39	43	38	40	450	6.1	419	31
	1~5	204	197	146	196	190	188	228	283	210	200	184	233	2,459	33.5	2,217	242
年	6~12	196	143	98	67	84	63	73	79	93	113	95	212	1,316	17.9	1,160	156
1 '	13 ~ 15	59	35	18	21	21	26	12	22	13	26	17	32	302	4.1	314	△ 12
齢	16 ~ 24	127	67	55	49	63	25	42	46	48	39	45	53	659	9.0	659	0
	25 ~ 34	151	67	47	54	66	39	45	54	42	41	49	64	719	9.8	695	24
別	35 ~ 44	120	67	47	40	49	35	34	34	16	35	42	71	590	8.0	560	30
	45 ~ 54	90	44	30	14	23	13	20	33	12	21	18	49	367	5.0	395	△ 28
	55 ~ 64	53	17	15	7	15	10	11	17	18	17	16	28	224	3.1	198	26
	$65 \sim 74$	27	9	9	8	9	10	9	16	7	7	14	13	138	1.9	106	32
	75 ~	11	11	7	8	9	6	10	10	10	9	10	12	113	1.5	96	17
						計								7,337	100.0	6,819	518

[・]年齢別では、 $1\sim5$ 歳児が最も多く、全体の33.5%を占めている。

表(3) 地域別患者分布

(人)

地域	月	H31年 1月	2月	3月	4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	盛岡市	801	522	369	367	426	340	396	455	381	422	371	614	5,464	74.5	5,066	398
	雫石町	19	7	6	7	5	10	11	6	8	8	11	13	111	1.5	98	13
地	葛巻町	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.0	3	△1
	岩手町	2	4	2	0	3	2	4	5	3	0	3	4	32	0.4	44	△ 12
域	八幡平市	7	8	7	3	5	1	6	7	6	10	11	3	74	1.0	84	△ 10
	滝沢市	102	66	61	50	38	39	47	53	52	58	57	85	708	9.6	615	93
別	紫波町	39	19	25	18	23	24	19	29	24	19	24	16	279	3.8	285	△ 6
	矢巾町	43	28	17	27	32	19	25	28	9	20	33	28	309	4.2	361	△ 52
	その他の県内	19	5	12	12	8	5	10	13	11	9	8	16	128	1.7	93	35
	県 外	34	15	9	13	28	13	10	51	14	5	10	28	230	3.1	170	60
						計								7,337	100.0	6,819	518

[・]地域別で1番多いのは盛岡市の5,464人(全体比74.5%)。前年より398人増。

[・]盛岡市に次いで2番目に多いのは滝沢市の708人(同 9.6%)、3 番目が矢巾町の309人 (4.2%)。

表(4) 曜日別患者分布

(人)

曜日	月 l	H31年 1月	2月	3月	4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	月	112	77	45	86	60	43	69	72	77	73	70	143	927	12.6	900	27
曜	火	142	68	52	61	41	47	79	84	53	71	30	95	823	11.2	786	37
	水	156	69	63	59	94	60	64	87	60	83	67	92	954	13.0	899	55
目	木	135	77	65	52	85	49	70	99	62	89	70	71	924	12.6	850	74
別	金	93	65	69	51	75	37	65	73	47	60	67	62	764	10.4	721	43
,,,	土	217	164	124	97	107	113	100	129	111	87	136	189	1,574	21.5	1,379	195
	日	211	155	90	91	106	105	81	103	98	88	88	155	1,371	18.7	1,284	87
						計	-							7,337	100.0	6,819	518

[・]曜日別では、土・日曜が多くなっており、合わせて約40%を占めている。

表(5) 時間帯別患者分布

(人)

時	界	H31年 1月	2月	3月	4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
71.	午後 7:00~	541	337	217	245	272	210	205	291	241	261	229	409	3,458	47.1	23,091	367
時間	午後8:00~	260	160	135	124	141	122	163	168	142	142	147	185	1,889	25.7	1,805	84
帯	午後 9:00 ~	99	85	94	125	76	93	102	138	1,304	17.8	1,266	38				
	午後 10:00 ~	73	65	51	44	56	37	66	63	49	55	49	75	683	9.3	655	28
	午後 11:00 ~	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0.0	2	1
						言	<u> </u>							7,337	100.0	6,819	518

[・]時間帯別では、午後 7:00 ~ 9:00 までが多く、7 割を占めている。

表(6) 時間帯別有救急度患者分布

(人)

時	睛	H31年 1月	2月	3月	4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	午後 7:00~	106	45	29	36	67	35	27	28	41	43	43	97	597	46.5	409	188
時間	午後8:00~	50	18	19	23	18	18	8	30	20	22	24	43	293	22.8	232	61
帯	午後 9:00 ~	43	20	23	23	23	15	12	21	15	15	17	33	260	20.2	167	93
	午後 10:00 ~	17	11	13	9	13	4	8	15	8	13	10	12	133	10.4	75	58
	午後11:00~ 0 0 0				0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1	1	0
						言	-							1,284	100.0	884	400

[・]有救急度患者は患者全体の17.5%を占め、時間帯別では、午後7:00~8:00までが多く、46.5%を占めている。

表(7) その他事項別人数

(人)

事	頂月	H31年 1月	2月	3月	4月	R1年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	比率 (%)	前年 実績	増減
	医師指導	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0.1	2	0
	看護師等助言	380	290	259	252	314	236	296	282	263	238	240	325	3,375	96.4	3,340	35
救急	急車搬入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0
二次	:救急転送	8	6	7	5	19	16	6	10	10	12	14	11	124	3.5	98	26
						言	<u>-</u>							3,501	100.0	3,440	61

[・]電話問合に対する看護師等の助言件数は3,375件で前年より35件増加した。

表(8) 転送先二次・三次救急病院別診療科別患者分布(平成31年1月~令和元年12月)

救急病院 診療科	内科	小児科	外科	耳鼻科	泌尿器科	眼科	産婦人科	歯科	計
岩手県高度救命救急センター									0
岩手県立中央病院	25	30							55
盛岡市立病院	1								1
盛岡赤十字病院	1	14							15
岩手医科大学附属病院	17	25							42
遠 山 病 院									0
栃 内 病 院									0
高 松 病 院									0
盛岡つなぎ温泉病院盛岡									0
友 愛 病 院									0
川 久 保 病 院		8							8
盛岡医療センター		3							3
子どもは未来もりおかこどもクリニック									0
計	44	80	0	0	0	0	0	0	124
比率 (%)	35.5	64.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

[・]内科が約35%、小児科が約65%を占めている。

表(9) 転送患者疾患別分類(平成31年1月~令和元年12月)

疾 患 名	人	疾 患 名	人
胃・腸炎(急性・感冒性他)	16	気管支炎(急性・喘息様他)	18
虫垂炎	7	気管支喘息	4
急性腹症	9	上気道炎 (急性他)	5
腸重積	0	肺炎	2
腹痛	0	その他呼吸器系	8
便秘	1	インフルエンザ	2
イレウス	1	心臓疾患等循環器系	4
その他消化器系	2	脳血管障害等循環器系	4
脱水症	2	尿管結石等泌尿器系	9
嘔吐	1	その他	23
じんま疹・アナフィラキシー	6	計	124

[・]消化器系が約32%, 呼吸器系が約23%を占めている。

^{・7}年ぶりに岩手県立中央病院が岩手医科大学附属病院の転送合計患者数を上回った。

2. 経過報告・決算・予算

経過報告

令和元年 9 月 26 日 令和 2 年 2 月 7 日 令和元年度盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会 令和元年度第1回盛岡市夜間急患診療所運営協議会

予算·決算

歳 入 (円)

	科	E		30年度決算	R1年度予算	説	明
使	J	刊	料	83,063,418	82,549,000	診療報酬収入	
県	補	助	金	1,126,000	1,260,000	運営費補助金	
雑			入	800	1,000	事務手数料等	
	合	討	-	84,190,218	83,810,000		

歳 出 (円)

科目	30 年度決算	R1年度予算	説明
報酬	48,796,770	49,634,000	管管理者、医師、看護師報酬
共済費	796,582	977,000	社会保険料
賃金	0	226,000	臨時補助員賃金
報償金	182,400	96,000	運営協議会委員謝金
旅費	15,320	16,000	研修会参加旅費
需用費	8,899,737	8,628,000	消耗品、燃料、食糧、印刷、修繕、医薬材料
役務費	385,328	382,000	医療事故賠償保険、電話料、洗濯代
委託料	8,591,751	8,601,000	医療事務委託料、連絡調整委託料等
使用料及び賃借料	1,946,215	2,026,000	タクシー使用料、医事会計システム借上料
備品購入費	456,948	3,348,000	機械器具購入費(HEPAフィルター付き空 気清浄機、薬品用冷蔵庫 30 年度)
合 計	70,071,051	73,934,000	

3. 診療日誌から

平成 31 年 1 月 1 日 (火) H.K

24 名来ました。

23 名のインフル検査で A 陽性 12 名

平成 31 年 1 月 11 日 (金) K.K

本日15名、内インフルエンザ8名(すべ てA型)でした。

内、H.zoster 発症している8ヶ月の授乳中の 母親、子供に感染予防の為に内服投与が必要 なのかわからないので、小児科の Dr.M に診 てもらいました。有難うございました。

平成 31 年 1 月 17 日 (木) A.C

本日 15 名

インフルエンザ多数でした。

先週の土曜日に39℃の発熱があった高校 生。本日、親が連れて来た。

今は既に解熱、少々体がだるいと何しに来た のか???

母親

「学校も休んでいたので、そろそろ登校させ ようかと、ついでに来てみました!」 何かまちがっていますよね、この受診。 「寒いので来ました」と高齢男性。 「他は、何ともありません」発熱もなし! →確かに、今日は寒いですよね。 念のため、解熱剤をわたしてお帰りいただき ました。

平成 31 年 3 月 18 日 (月) T.S 本日の患者、3名 処置後帰宅 インフルエンザなし(2名検査)

「出務を終えるにつき一言」

本夜間救急診療所の開設は昭和51年12月 1日です。この開設を目指して昭和48年7 陰性11名 でした。 月に休日急患診療確保対策地域協議会が設置 され、以後6回の協議会を経てやっと開設に こぎつけたものです。

> 小生が医院を開業したのは、昭和50年1 月で、しかも大学の医局から直接でしたので、 当時の市医執行部以下会員の先生方がこんな にも頑張っておられたことに気づかず、内科 会(廿日会)での議論もあまり実感がなかっ たのかもしれません。ですが以来、その成果 は皆様が目にされている通りで立派にしかも 無事に今日まで継続できたことは慶賀にたえ ません。発足当時の諸先生方のお顔が目に浮 かびます。参加を続けて40周年の時に感謝 状を市長さんから戴きました。これまで続け てこれた一番の要因は医大同級生が2人、小 児科で(W、I) 頑張っておられたのでなん となく続けてこれました。有難うございまし た。

今後、医大の矢巾への移転もひかえ、新た な対応も求められるのでしょう。現和田会長 をはじめ関連諸団体を含めすべての先生方に 最善の方策をお願いするばかりです。

最後に当夜間診療所の看護師や、薬剤師事務 局他の方々に感謝いたします。(皆さん一人 一人最高でした)

平成 31 年 4 月 30 日 (火) T.K

平成最後の日、ありがとう平成、令和まで あと60分・・・

令和元年6月19日(水) K.K

今日の患者さんは全員女性でした。だから どう?ってことはないですが・・・

令和元年 7 月 20 日 (十) Y.S

92 才 F 急性咽頭炎

保険証もお薬手帳もお金も持たず(2000円 wifi あるといいかなと思いました。 だけ)、一人でいらして、耳が遠く、こまり ました。4回目の受診

令和元年9月21日(十) A.C.

皮膚科や外科と思われる患者さんが数名来院 しました。

やはり、岩手医大の1次救急がやっていない 34名 インフル多数 影響でしょうか?

令和元年9月25日(水)K.0

5名でした。

内丸メディカルセンター21時終了を受けて、 夜間急患診療所への受診が増えるのかなあと 思っていましたが、そうでもなかったです。

令和元年 10 月 2 日(水) H.T

今日、肺がん読影会の為、夜間当直を失念 しておりました。T 先生の御好意で早く読影 していただき、こちらに来る事が出来ました。 T 先生に感謝いたします。ありがとうござい ました。

18:15 に到着しました。早すぎ!

令和元年 10 月 4 日(金) K.S

0名でした。

令和元年 10 月 13 日 (日) K.E

ラグビー W 杯、日本史上初の決勝 T 進出! 小児科は忙しそうで見られなかったかな。

令和元年 10 月 26 日(土) K.0

高熱での受診多い インフルエンザ A 型流

行始まった。

令和元年 12 月 24 日 (火) S.0

walk in 7名

インフルエンザは4名中2名

平和なイヴでした。

<盛岡市保健所回答>

建物全体のネットワークセキュリティ等の関 係で、導入は極めて難しい状況です。ご理解 のほどお願いいたします。

令和元年 12 月 30 日 (月) A.C

小児科

平成31年1月9日(水)Y.K

内科 12名 小児科 7名 インフルエンザ 2名

本日、インフルエンザ注意報が今シーズン 初めて発令されました。

よほど混むかと思いましたが、結果7名の み、小児よりも、大人の方で流行している感 じです。

本格的な流行は、来週学校が始まってからになりそうですね。

平成 31 年 1 月 12 日 (土) K.K

患者数 25名 インフルエンザ A 11名 溶連菌 1名 でした。 インフル↑になりました。 ので、

※タミフル DS なくなりそうだったので、注 文お願いしました。

· · · 3連休なのに · · · です。

<盛岡市保健所回答> ご意見いただきありがとうございます。 以後は、薬品が不足しないよう気をつけて参 ります。 企画総務課

平成 31 年 1 月 14 日 (祝・月) Y.M

急患 19名 Flu A 12名

昨日(1/13)は休日救急当番医だった。 154名来院、Flu A 54名、 昼食取れず、19:25終了 歳を取ってさばけなくなった。

平成 31 年 1 月 17 日 (木) Y.M

急患9名

(Flu A 3名)

Flu 検査に関して

日中、「発熱してからあまり時間が経っていないので、夜間急患診療所で検査をするように」と指示をされる医療機関があります。 夜間急患診療所の本来の目的とは異なるので、「時間が経ってないので、明日検査しましょう」と自院で検査をしていただきたい。

平成 31 年 2 月 1 日 (金) T.Y

12名

咳を主訴とした患者さん1名以外は、みんな高熱でした。皆さんインフルエンザと思い来院なさったとみうけました。みんな抗原迅速テストをしました。10人中3人が陽性でした。しかし残りの7人も明日は陽性でしょう。そのうちお二人、絶対インフルエンザAだから、投薬して下さいと申し出あり、おあげしたのですが…。又、双生児母がflu Aで2人同じ様な発熱と症状、一人がA(+)もうお1人にもタミフル投与しました。どうぞみなさんよくなって下さいネ。

この日誌をみて、M 先生の出動がすごく多いのにおどろきました。12月31日、1月10日、14日、17日、そして2月には3日、それに13日の154人の当番医、孤軍奮闘したことが書いてありました。ありがたいですが、ちょっとはずかしくなりました。これではいけないと思います。この夜間急患診療をつづけるにはみんな協力しなくてはいけないと思います。育幼会会長、音頭をとって下さい。→御指摘、もっともです。本来は会長の仕事ですが、M 先生が夜間急患診療所の当番の

手配をして下さっています。御本人の負担に 生食は 100ml のボトルしかなく少量しか入 ならないように、お話しておきます。 2/2U

らないので)

平成 31 年 2 月 25 日 (月) T.T

暖かい日が続き、インフルエンザも減って 来たか、小児の発熱が少なく、腹痛が多かった。 小児科7名

インフルエンザ 0名

溶連菌 1名

4名 内 科

平成 31 年 3 月 27 日 (水) T.K

春はまだ遠方にある寒さです。

Flu A はどこか行ってしまいました? Bは近づいているのでしょうか? 花粉症真っ盛りです。

平成31年4月5日(金) Y.K

小児科 3名

外来の患者さんも少ないが、夜間の患者さ んも少ない。

今年はインフルBの流行なしでシーズン 終了してしまうのでしょうか? 逆に、次の シーズンの大流行が恐いですね。

平成 31 年 4 月 13 日(土) T.S

受診者数 18名

見前地区 → 溶連菌

全体的 → 胃腸炎、hmp?

が流行しているのでしょうか

夜間急患診療所を初めてやらせていただき ました。とても勉強になりました。ありがと うございました。

小児の感染症による脱水補正のため、初期 輸液にヴィーン D200ml を採用して頂けると うれしいです。感染症では SIADH 合併して いることが多い低Na血症も以外と多いです。 又、低血糖も多いので。(ラクテックは乳酸 が入っているので小児では使いづらいです。

平成 31 年 4 月 19 日 (金) T.T

やっと桜の開花。来週は満開?待った春に なる。

次回の勤務から令和元年となる。

小児科 6名

内科 8名

令和元年5月1日(水)T.M

1才女児、高熱で19時に受診、アンヒバ 処方で帰宅。

東京在住、こちらは緑が丘。20時にけい れん発症し、タクシーで移動、途中、盛岡一 高あたりから電話あり。電話では、けいれん つづいているとのことで、その場で救急車と も思いましたが、輪番が日赤 HP なので、そ のまままず来てもらいました。幸い来院時は けいれんは頓挫していました。改めてここか ら救急車で日赤へ搬送となりました。W 先 生ありがとうございました。

令和元年6月12日(水)Y.U

育幼会の皆様へ

夜間急患診療所の小児科を受診したおかあ さんより医師の対応が悪かったというクレー ムがありました。

看護師さん達も特に気にならなかった対応 だったようですが、人によって受けとめ方が いろいろあると思いますので、心にとめてお いて下さい。

その方は事務職員が最後に、自分の子だけ に「お大事に」と言わなかったとも言ってい ます。会計が終わった時は声をかけるように しているそうですが、言わなかったのか聞こ えなかったのか、はっきりしません。

とりあえず、お知らせします。

(育幼会会長)

患児 13名

令和元年8月3日(土)Y.K

小児科 18名 内科 8名

手足口病が多かったです。

A16、A6 あたりが分離されているようです。

令和元年8月30日(土)Y.F

小児科 7名

今夜来た5才の女児。「アリエール」とい 令和1年12月31日(火)T.M う洗剤がはいった小さなゼリー菓子のような 小袋をかんでなめたそうです。いかにもやわ らかなお菓子のような形で、これを一個その まま洗たく器にいれるのだそうです。発売当 初は子供や老人がお菓子だと思ってたべたそ うです。知りませんでした。こんなものを作っ て売る会社の想像力の欠如!発想の貧困!ア メリカの「プロクター&ギャンブル! 社とい うのです。さもありなん名前だ。女児は不味 で嘔吐したそうです。豊島園のプールの遊具 といい、こんなへんなものといい、日本の子 供たちは不幸だと思いました。

令和元年 10 月 22 日 (火) S.T

祝日でしたが、12名と平和な夜でした。 半分ほど flu check しましたが、全員陰性で した。

ここから、さらに流行してくると思います ので、気をつけましょう。

令和1年12月6日(金)Y.U

10 人

- ・インフルエンザ抗原迅速テスト 2名 → 陰性
- ・M 小学校では4年生で学年閉鎖。

柔道の交流試合でインフルエンザに感染し た子がきっかけで、アッと言う間に拡散して しまいました。A型ですが、下痢と嘔吐がひ どい子が多い印象です。

「御報告〕

夜間急患診療所における1才以上のRSウ イルス迅速テストについて

11月28日(金)に開催された育幼会連絡 2回かかる人がいるのですが、コクサッキー 会で、上記検査は実施しないことを申し合わ せましたので、会員の皆様、よろしくお願い 致します。

育幼会会長 Y.U

小児科 18 名

内科 27 名

来年もよろしくお願いします。

4. 診療所の現状

① 夜間急患診療所出動医名簿

平成 31 年 1 月 1 日~令和元年 12 月 31 日

青 山 洋 二 向中野二丁目 54-18

朝 倉 慎 一 茶畑一丁目 8-2

朝 倉 賀 子 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

团 部 弘一 菜園二丁目 5-29

呵 部隆志 肴町 6-6 熊長ビル1階

佳 子 团 部 津志田 26-30-1

团 部 礼司 長橋町 17-45

池 \mathbb{H} 百 政 上太田弘法清水 10-3 本町通三丁目 19-32 池 \mathbb{H} 富 好

石 井 基 嗣

石 井 基 弘 東緑が丘 23-26

板 濹 正 明 中央诵一丁目 7-25 1 階

伊 藤 歩 惟 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

伊 藤 雅 天 津志田 26-30-1 臼 井 由紀子 松園二丁目 2-10

永 塚 健 緑が丘四丁目 1-7

江 村 洋 弘 城西町 7-33

遠 藤 昌 樹 大通三丁目 9-3

小 穴 修 平 内丸 19-1

實太 上田一丁目 18-38 及川

及 川 剛 上田一丁目 4-1

津志田西二丁目 13-3 大 浦 雅 之

大 坂 美和子 本宮一丁目 6-12

大 澤 宏之 茶畑二丁目 8-3

陽子 大 西 **滝沢市穴口 377-1**

大 庭 英 樹 盛岡駅前通13-8

大 平 篤 志 梨木町 2-2

大 屋 勒一郎 西青山一丁目 16-43 荻 野 義信 本宮一丁目 6-12

小 田 淳一 みたけ四丁目 36-32 小 田 翔 一 八幡平市田頭 22-79-1

小野寺 謙 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1

織等俊樹 握 原 和 華 三本柳 6-1-1

本町通 1-8-9

ゆい内科呼吸器科クリニック

あさくらクリニック

岩手医大 小児科

あべ菜園内科クリニック

あべ神経内科クリニック

川久保病院 内科

あべ内科・消化器科クリニック

池田内科

真山池田医院

中ノ橋通一丁目 4-20 水晶堂ビル 4 階 いしい内科・糖尿病クリニック

石井内科消化器科医院

ポランの内科クリニック

岩手医大 小児科

川久保病院 内科

臼井循環器呼吸器内科

えいづか内科胃腸科クリニック

江村胃腸科内科医院

開運橋消化器内科クリニック

岩手医大 消化器内科消化管分野

おいかわ内科クリニック

県立中央病院 小児科

大浦内科・歯科クリニック

荻野病院

大澤クリニック

山口クリニック

盛岡駅前おおば脳神経内科クリニック

おおひら内科循環器科クリニック

大屋内科胃腸科クリニック

荻野病院

盛岡さくらクリニック

八幡平市国民健康保険西根病院

岩手医大 糖尿病,代謝,内分泌内科分野

大手先内科循環器クリニック

盛岡赤十字病院 小児科

桂 永 行 本宮字小板小瀬 13-2 かつら内科クリニック 忠 上田一丁目 4-1 県立中央病院 小児科 加藤 隆 幸 天神町 11-8 加賀野消化器内科・内科クリニック 加藤 加 藤 幸 津志田 26-30-1 川久保病院 内科 金 澤 上堂一丁目 18-24 かなざわ内科クリニック 格 津志田中央三丁目 7-7 循環器内科 金矢クリニック 金矢盲紀 山 広 海 浅岸一丁目 12-22 かなやま内科医院 金 子 博 純 金 乙部 13-135-3 金子胃腸科内科 誠己 向中野三丁目 10-6 杜のこどもクリニック 金 濱 鎌 田潤也 大通二丁目 7-23 おおどおり鎌田内科クリニック 田広基 鎌 本宮二丁目 20-1 鎌田内科クリニック F. 原 充 郎 岩手郡雫石町八卦 1-16 上原小児科医院 井 志津香 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 志家町 4-4 川村光郎 川村内科医院 川 村 みや子 紫波郡矢巾町大字煙山 24-1 みちのく療育園 菅 野 啓 一 山岸二丁目 11-36 菅野小児科医院 山岸二丁目 11-36 菅野小児科医院 菅 野 恒 治 菊 池光洋 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 放射線腫瘍学科 菊 池 均 材木町 2-26-3 階 旭橋クリニック菊池循環器内科 金 美 賢 上田一丁目 4-1 県立中央病院 小児科 正門 金 向中野 5-18-30 まさと脳神経内科クリニック 喜 寛 之 緑が丘 3-2-34 久喜内科・脳神経内科医院 久 くどう医院 丁. 藤 卓 次 前九年三丁目 16-15 工 藤 宏紀 上田一丁目 4-1 県立中央病院 小児科 工藤内科ハートクリニック 工藤 中ノ橋通一丁目 7-13 真 大 久保田 公 宜 大館町 26-3 久保田医院 肥田 龍 彦 菜園一丁目 4-7 菜園循環器内科医院 崇 小坂内科消化器科クリニック 小 坂 永井 19-258-1 児島 陽一 みたけ三丁目 11-36 児島内科医院 小 林 仁 盛岡駅西通二丁目 9-1 マリオス小林内科クリニック 小 林 有 一 三本柳 11-12-4 小林小児科クリニック 齋 藤 明宏 月が丘二丁目 2-60 さいとう小児科クリニック 岩手医大 小児科 齊 藤 寛 治 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 佐々木 诱 高松二丁目 27-27 おはようクリニック 佐々木 朋 子 青山一丁目 25-1 国立病院機構 盛岡医療センター 佐々木 正 孝 中野一丁目 27-10 ささき医院 佐々木 美 香 青山一丁目 25-1 国立病院機構 盛岡医療センター 佐藤邦彦 中ノ橋通二丁目 3-2 もりおか胃腸科内科クリニック

佐藤内科クリニック

佐藤公也

大通三丁目 1-24

佐 藤 由香子 下ノ橋町 4-15 船山内科クリニック 佐 藤 芳 行 本町通一丁目 12-7 内丸病院 内科 澤田哲伸 澤田内科医院 上田一丁目 6-11 小豆嶋 立,頼 仙北三丁目 13-20 小豆嶋胃腸科内科クリニック 小豆嶋 正 晴 紫波郡矢巾町医大诵二丁目 1-1 岩手医大 糖尿病·代謝·内分泌内科分野 菅 井 恭 平 内丸 19-1 岩手医大 消化器内科消化管分野 鈴 木 幸之介 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 鈴 木 恒 男 大涌一丁目 3-4 大通胃腸科内科 鈴 木 知 己 八幡町 2-17 鈴木内科医院 鈴 木 康 之 北松闌二丁目 15-4 内科クリニックすずき 外 舘 玄一朗 岩手医大 小児科 紫波郡矢巾町医大涌二丁目 1-1 髙清水 奈 央 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 田金星都 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 三本柳 6-1-1 髙 野 長 邦 盛岡赤十字病院 小児科 子どもは未来もりおかこどもクリニック 高 橋 明 雄 上田字松屋敷 11-14 下米内二丁目 4-12 髙 橋 進 中津川病院 西松園三丁目 22-1 滝 川 佐波子 而松園内科医院 武 田 薫 花巻市東宮野目第13割112 介護老人保健施設サンホーム 田中 洋 永井 22-29-6 田中循環器内科クリニック 谷 藤 幸 子 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 田村悦子 下ノ橋町 6-14 遠山病院 内科 千 田 明 紀 東安庭 1-23-60 ちだ内科・外科クリニック 千 田 悠太郎 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 千 葉 知 下ノ橋町 6-14 遠山病院 内科 千 葉 太郎 永井 12-10 盛岡友愛病院 千 葉 直樹 中央通三丁目 1-10 ちばクリニック 千 葉 拓 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 糖尿病,代謝,内分泌内科分野 千 葉 芳 久 向中野三丁目 10-3 本宮Cクリニック 岩手医大 小児科 土屋繁国 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 栃 内 秀 貴 神明町 10-35 栃内内科医院 県立中央病院 小児科 戸 恒 恵理子 上田一丁目 4-1 冨 澤勇貴 本町通一丁目 12-7 内丸病院 浩志 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 豊 島 中 島 淳 月が丘二丁目 8-30 中島内科クリニック 中 野 巳三喜 永井 12-10 盛岡友愛病院 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 糖尿病,代謝,内分泌内科分野 中村麻乃 中村こどもクリニック 上厨川字杉原 50-47 中村富雄 中村義明 若園町 2-5 中村内科医院 西島 浅香 上田一丁目 19-5 西島こどもクリニック

西 見 早映子 紫波郡矢巾町医大通二丁目 1-1 岩手医大 小児科 二宮一見 愛宕町 2-47 二宮内科クリニック 宮 由香里 愛宕町 2-47 二宮内科クリニック 原田内科脳神経機能クリニック 原 \mathbf{H} 達男 山岸 3-2-1 山岸中央ビル1階 桶 口 清 一 津志田西 2-13-3 大浦内科・歯科クリニック 井 八幡平市柏台 2-8-2 東八幡平病院 藤 裕 藤 島 敏 智 愛宕町 4-18 藤島内科医院 博 上田二丁目 20-13 本間内科医院 本 間 内丸 19-1 博之 岩手医大 糖尿病,代謝,内分泌内科分野 本 間 米 沢 俊 一 L田字松屋敷 11-14 子どもは未来もりおかこどもクリニック 治 雄 盛岡駅前通 9-10 丸善ビル 5 階 前 多 前多小児科クリニック 蒔 苗 剛 津志田 26-30-1 川久保病院 小児科 松嶋 大 仙北二丁目 1-20 なないろのとびら診療所 \equiv 義孝 浦 中野一丁目 16-10 みうら小児科 \equiv 仁 ŀ. 上田一丁目 4-1 県立中央病院 小児科 水沼吉美 中央通二丁目 11-12 明治中央通ビル1階 水沼内科循環器クリニック \equiv 舩 俊 英 天昌寺町 9-10 三船内科 みやもと内科クリニック 宮本康弘 上厨川字杉原 101-4 武者 毅彦 北飯岡一丁目 2-70 たけ循環器内科クリニック 村 \coprod 淳 紺屋町 3-4 村田小児科医院 村 \mathbf{H} 望 北飯岡一丁目 2-25 ゆうあいの街クリニック 緑が丘四丁目 1-50 アスティ緑が丘1階 森田小児科医院 森 \mathbf{H} 順 森田友明 緑が丘四丁目 1-50 アスティ緑が丘1階 森田小児科医院 森 谷 耕太郎 高松三丁目 11-29 森谷医院 八木千栄 北飯岡三丁目 20-3 もりおか往診ホームケアクリニック 山口淑子 滝沢市穴口 377-1 山口クリニック 山田 宏之 津志田中央 2-18-31 やまだ胃腸内科クリニック 吉 田研一 梨木町 2-13 吉田小児科 吉 田信一 西仙北一丁目 30-50 よしだクリニック 吉 俊 巳 \mathbf{H} 東見前 8-20-16 吉田消化器科内科 活見 渡 邊 高松三丁目 9-8 わたなべ内科・脳神経内科クリニック 渡辺悠太 三本柳 6-1-1 盛岡赤十字病院 小児科

② 役 職 員 名 簿

(令和元年 12月 31日現在)

	開設者	盛同	岡市長		谷	藤	裕	明
4	管理者	盛岡	岡市医師会	会長	和	田	利	彦
	運営協議会							
		会	長	盛岡市保健所長	高	橋	清	実
		副名	会長	盛岡市医師会副会長	金	子	博	純
		委	員	"	吉	田	耕太	郎
			"	盛岡市医師会理事	金	濱	誠	己
			"	"	久傷	田	公	宜
			"	"	小	林	有	_
			"	盛岡市医師会小児科医会会長	臼	井	由紀	已子
			"	盛岡市医師会小児科医会幹事	吉	田	研	_
			"	盛岡薬剤師会副会長	畑	澤	昌	美
			"	盛岡薬剤師会副会長	佐々	木	宣	好
			"	岩手県看護協会会長	及	Ш	吏智	子
			"	盛岡市保健福祉部長	村	上		淳
		事和	务局	盛岡市医師会事務局長	及	Ш	敬-	郎
				盛岡市医師会事務局次長	水	本	達	彦
				盛岡市医師会事務局係長	谷	藤	慎	治
				盛岡市保健所次長兼企画総務課長	工	藤	弘	幸
				盛岡市保健所企画総務課長補佐	佐々	木	_	憲
				盛岡市保健所企画総務課企画総務係長	鈴	木	佳	子
				盛岡市保健所企画総務課企画総務係主任	滝	村	歩	美
				盛岡市保健所企画総務課企画総務係主事	大	澤	優	也

5. 運営協議会

平成 30 年度 盛岡市夜間急患診療所運営協議会

日 時:平成31年2月8日(金) 午後1時

場 所:盛岡市医師会館



1. 報告事項

(1) 平成30年度夜間急患診療所利用状況及 び収入状況(平成30年4月~平成31年 1月までの集計)について(事務局よ り): 平成31年1月はインフルエンザ 流行のため、受診者数が1,066人と多 く、また内科が小児科を上回った。

2. 協議事項

- (1)新規要望薬品の選定及びインフルエン ザ検査キットの選定とナビリーダーの 導入について:新規にアズノールうが い液、クイックナビ-Flu2、クイック ナビリーダーの要望があった。協議の 結果、ともに不採用となった。
- (2)パルスオキシメーターについて:乳幼児用パルスオキシメーターが老朽化したため、新規の購入の必要性について

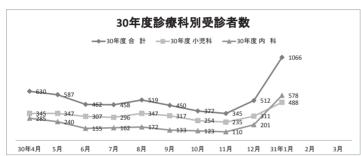
協議した。救急には必要な機器であり、 購入する方向となった。

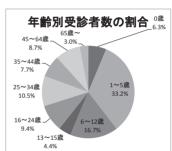
- (3)3か月未満の患者の受け入れについて:3か月未満の児ということを理由に、断らずに診察することを、再確認した。
- (4)岩手医大移転後の対応について 移転後の患者の動向を見ながら対応し ていくこととした。
- (5)インシデントの報告が 2 件あった。 一つは、同一の患者にインフルエンザ 検査を 2 回施行してしまった事例、 もう一つは、アデノウイルス検査を行 うべきところ溶連菌検査を行ってし まった事例。再発防止に努め、対策を 取ることとした。

(小林有一)

診療科別・年齢別の状況

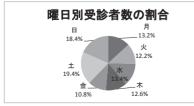
																		(人)
年/月			30年度		参	考:29年	F度			平月	戊 30	年 度	年 齢	別受	診者	針 数		
十/ 万	前年比	合 計	小児科	内 科	合 計	小児科	内 科	0歳	1~5歳	6~12歳	13~15歳	16~24歳	25~34歳	35~44歳	45~54歳	55~64歳	65~74歳	75歳~
30年4月	137. 3%	630	345	285	459	296	163	40	201	81	31	69	83	54	31	18	11	11
5月	96. 9%	587	347	240	606	390	216	50	202	78	24	56	62	55	24	19	11	6
6月	101. 5%	462	307	155	455	296	159	35	182	78	14	37	41	29	24	9	6	7
7月	112. 0%	458	296	162	409	274	135	26	161	88	23	38	41	30	21	15	5	10
8月	104. 4%	519	347	172	497	355	142	42	207	83	18	42	40	35	22	20	6	4
9月	107. 7%	450	317	133	418	311	107	40	198	65	17	29	38	16	24	9	9	5
10月	85. 1%	377	254	123	443	296	147	25	140	68	25	32	34	24	14	7	6	2
11月	90. 3%	345	235	110	382	259	123	22	140	63	10	27	24	20	18	10	7	4
12月	86. 9%	512	311	201	589	380	209	34	161	101	17	53	55	35	30	12	9	5
31年1月	113. 3%	1066	488	578	941	478	463	28	204	196	59	127	151	120	90	53	27	- 11
4~1月までの計	104.0%	5, 406	3, 247	2, 159	5, 199	3, 335	1, 864	342	1, 796	901	238	510	569	418	298	172	97	65
2月	0. 0%				872	474	398											
3月	0. 0%				666	367	299											
合 計		5, 406	3, 247	2, 159	6, 737	4, 176	2, 561	342	1, 796	901	238	510	569	418	298	172	97	65
構成比(%)		100.0	60. 1	39. 9	100. 0	62. 4	37. 6	6. 3	33. 2	16. 7	4. 4	9. 4	10. 5	7. 7	5. 5	3. 2	1. 8	1. 2





曜日別・時間帯別の状況

	31-311033																		(人)
年/月	患者総数	参考:	29年度			瞬	€ 日	別				時	間帯	別			その) 他	
+ / Л	志相秘致	患者数	増 減	月	火	水	木	金	土	日	7時~	8時~	9時~	10時~	11時~	指導	照会	搬入	転送
30年4月	630	459	171	92	57	85	68	64	124	140	288	165	120	57	0	0	267	0	8
5月	587	606	△ 19	56	85	102	91	72	90	91	257	152	128	50	0	0	317	0	9
6月	462	455	7	55	51	59	51	60	110	76	197	122	87	56	0	0	260	0	9
7月	458	409	49	77	60	52	46	51	78	94	177	131	105	45	0	0	265	0	13
8月	519	497	22	73	72	78	86	54	81	75	227	131	81	79	1	0	312	0	11
9月	450	418	32	70	55	55	47	39	89	95	195	118	91	45	1	0	251	0	9
10月	377	443	△ 66	61	53	52	44	39	71	57	164	110	67	36	0	0	194	0	7
11月	345	382	△ 37	34	36	40	58	59	73	45	152	105	60	28	0	0	239	0	7
12月	512	589	△ 77	81	51	47	53	52	118	110	244	124	96	48	0	0	283	0	12
31年1月	1, 066	941	125	112	142	156	135	93	217	211	541	260	192	73	0	0	380	0	6
4月~1月までの計	5, 406	5, 199	207	711	662	726	679	583	1, 051	994	2, 442	1, 418	1, 027	517	2	0	2, 768	0	91
2月		872																	
3月		666	L.,																
合 計	5, 406	6, 737		711	662	726	679	583	1, 051	994	2, 442	1, 418	1, 027	517	2	0	2, 768	0	91
構成比(%)	100			13. 2	12. 2	13. 4	12. 6	10. 8	19. 4	18. 4	45. 2	26. 2	19. 0	9. 6	0. 0				





地域別の状況

4B4%/01 V74/C/U											(人)
年/月	合 計			盛	岡広塚	医療	圏			その他	地域
平/月		盛岡	八幡平	滝沢	雫石	葛巻	岩手	紫波	矢巾	県内	県外
30年4月	630	431	11	61	10	1	11	32	47	12	14
5月	587	434	5	54	13	0	1	18	33	10	19
6月	462	371	6	29	9	0	1	24	14	1	7
7月	458	357	4	44	8	0	1	14	19	3	8
8月	519	332	7	62	4	0	2	27	32	9	44
9月	450	319	10	43	11	0	7	23	21	4	12
10月	377	278	4	45	6	0	4	16	16	5	3
11月	345	253	10	29	5	0	0	16	22	6	4
12月	512	392	2	49	7	1	2	16	21	9	13
31年1月	1, 066	801	7	102	19	0	2	39	43	19	34
2月	0										
3月	0										
合 計	5, 406	3, 968	66	518	92	2	31	225	268	78	158
構成比(%)	100. 0	73. 4	1. 2	9. 6	1. 7	0. 0	0. 6	4. 2	5. 0	1. 4	2. 9
29年度患者数	6, 737	5, 041	84	583	92	1	39	272	365	97	163
構成比(%)	100. 0	74. 8	1. 2	8. 7	1. 4	0. 0	0. 6	4. 0	5. 4	1. 4	2. 4
28年度患者数	6, 434	4, 728	68	570	78	1	41	323	321	107	197
構成比(%)	100. 0	73. 5	1. 1	8. 9	1. 2	0. 0	0. 6	5. 0	5. 0	1. 7	3. 1
27年度患者数	6, 248	4, 696	83	566	98	3	28	259	267	103	145
構成比(%)	100.0	75. 2	1. 3	9. 1	1. 6	0. 0	0. 4	4. 1	4. 3	1. 6	2. 3

	出	席者一覧	
運協役職	氏名	団体及で	び職名
管理者	和 田 利 彦	盛岡市医師会	会長
会 長	高 橋 清 実	盛岡市	保健所長
副会長	金 子 博 純	盛岡市医師会	副会長
	吉 田 耕太郎		副会長
	金 濱 誠 己		理事
	久保田 公 宜	· 盛岡市医師会	理事
	小 林 有 一	盆岡川区即云	理事
委 員	臼 井 由紀子		小児科医会会長
安貝	吉 田 研 一		小児科医会幹事
	畑澤昌美	- 盛岡薬剤師会	副会長
	佐々木 宣 好	盆 梁 即云 	副会長
	及 川 吏智子	岩手県看護協会	会長
	村 上 秀 樹	盛岡市	保健福祉部長
	及 川 敬一郎		事務局長
	水 本 達 彦	盛岡市医師会事務局	次長
	谷 藤 慎 治		係長
事務局	藤井優子		次長兼企画総務課長
尹掰问	佐々木 一 憲		企画総務課長補佐
	鈴 木 佳 子	盛岡市保健所	企画総務係長
	向 田 瑠 夏		主査
	大 澤 優 也		主事

6. 従事者打合せ会

令和元年度 盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会

日 時:令和元年9月26日(木) 午後7時場 所:感岡市保健所7階 大ホール



はじめに盛岡市保健所高橋清実所長より「盛岡市医師会、盛岡市薬剤師会、岩手県看護協会、従事者の皆様の特段の理解と協力により、盛岡市夜間急患診療所の運営が順調に行われていることに感謝申し上げたい。岩手医大の移転は滞りなく終了したが、内丸メディカルセンターの診療体制は大幅に縮小された。さらに盛岡医療圏での適正受診を周知する必要がある。盛岡市夜間急患診療所の運営、管理、診療体制維持にご協力をお願いしたい」と挨拶があった。

続いて盛岡市夜間急患診療所和田利彦管理 者より「岩手医大は大きな混乱なく移転し たが、盛岡市立病院の協力等により二次救急 医療体制は維持される。今後は夜間急患診療 所や休日急患当番医の役割が増すと考えられ る。今後も盛岡市夜間急患診療所の運営にご 協力をお願いしたい」との挨拶があった。

1. 報告事項(盛岡市保健所より)

(1)夜間急患診療所における災害発生時の緊

急連絡体制が確認された。

(2)令和元年度利用状況 (令和元年4~8月まで)

1) 患者数

- ①診療科別…小児科:1,738人(前年度より96人増)、内科956人(同58人減)、計2,694人(同38人増)。 小児科(64.5%)と内科(35.5%)の構成比は例年より小児科の割合が高かった。
- ②年令別…小児では1~5才が最も 多く患者数全体の約40%を占めた。 成人で は25~34才が最も多かった。
- ③曜日別… 例年と同傾向で土曜日 (20.3%) と日曜日 (18.0%) が多い。
- ④時間帯別…例年と同様に 19 ~ 20 時 (45.4%) と 20 ~ 21 時 (26.7%) が 多い。
- ⑤緊急度別…「緊急度あり」と判断 された患者数は小児科10.8%、内科

5.6% だったが、「緊急度なし」は小 5) 救急患者の転送状況 児科 31.0%、内科 11.3% を占めた。

⑥ 地域別…盛岡 (73.7%) が最も多 く、滝沢(8.4%)・矢巾(4.9%)・紫 波(4.2%)。盛岡広域医療圏以外の 患者数は、県内(1.8%)・県外(4.3%) であった。

2) 各種検査・処置の状況

検査件数では、インフルエンザ抗原 迅速診断検査が273件と最も多かっ た。溶連菌抗原迅速検査が140件と例 年より多かったが、他の検査は例年並 み。処置件数では点滴 128 件、吸入 119 件、浣腸 116 件とほぼ例年通りで あった。

3) 紹介状の作成状況

内科 21 人、小児科 43 人、計 64 人 と内科は例年並みの件数であったが、 小児科は例年より多い。

4) 年間最多・最少患者数 最多患者数 49人(小児科28人、 内科 21 人) 8月13日(火) 最少患者数 3人(小児科2人、内 科1人) 6月21日(金)

転送患者合計は56人と昨年度と同 程度。内訳は岩手医科大学付属病院 21人、県立中央病院23人、盛岡赤十字 病院10人、川久保病院2人であった。

2. 協議事項

(1)薬品の導入及び廃止について

1)新規要望薬品

ヴィーン D200ml と強力ポステリ ザン、クリアミンS、アセリオ静注液 1000mgバッグは採用を見送り、今後 必要度をみて再検討とする。

2) 廃止検討薬品

ボルタレンサポ 12.5mg、ノバミン 筋注5 mg、アミカシン硫酸塩注射液 200mg は使用期限切れとなり次第廃 止とする。

(2)機器の導入及び更新について

- 1) 超音波診断装置の更新が要望され、 機種選定と予算化を進める。
- 2) 自動血圧計の導入が要望され、導入 に向けて機種選定を進める。

(金濱誠己)

①診療料別・年齢別の状況

参考: H30年度 令 和 元 年 度 年 齢 年/月 前年比 合 計 小児科 内科合計 小児科内科 0歳 1~5歳 6~12歳 13~15歳 16~24歳 25~34歳 35~44歳 45~54歳 55~64歳 65~74歳 75歳~ 4月 78.9% 185 345 285 196 5月 96.8% 587 241 347 240 39 190 6月 98.3% 454 312 142 462 307 155 39 188 63 25 10 10 7月 115.3% 528 355 173 458 296 162 228 73 8月 124.7% 647 215 519 347 172 17 432 34 4~8月までの計 101.4% 2 694 1, 738 2 656 1, 642 1, 014 192 100.0 64.5 35.5 100.0 59.8

②曜日別・時間帯別の状況

参考: H30年度 曜日別 時間帯別 その他 年/月 患者総数 患者数 増 減 9時~ 10時~ 11時~ 7時~ 8時~ 指導 照会 搬入 転送 月 火 木 金 土 В 水 △ 133 85 587 60 41 94 75 107 106 141 99 56 314 5月 568 △ 19 272 Λ Λ 10 462 43 105 122 85 6月 454 △ 8 47 60 49 37 113 210 236 16 69 79 64 70 100 163 84 87 99 129 291 8日 647 519 128 72 73 103 168 125 282 10 4月~8月までの計 2, 694 2, 656 330 312 364 355 301 546 486 1, 223 718 487 266 0 1, 380 構成比(%) 12. 2% 11. 6% 13. 5% 13. 2% 11. 2% 20. 3% 18. 0% 45. 4% 26. 7% 18. 1% 9. 9%

③地域別の状況

③地域別の状況											(人)
月	合 計			盛	岡広塚	太 医療	圏			その他	也地域
Л		盛岡	八幡平	滝沢	雫石	葛巻	岩手	紫波	矢巾	県内	県外
4月	497	367	3	50	7	0	0	18	27	12	13
5月	568	426	5	38	5	0	3	23	32	8	28
6月	454	340	1	39	10	1	2	24	19	5	13
7月	528	396	6	47	11	0	4	19	25	10	10
8月	647	455	7	53	6	0	5	29	28	13	51
合 計	2, 694	1, 984	22	227	39	1	14	113	131	48	115
構成比(%)	100.0	73. 65	0. 82	8. 43	1. 45	0. 04	0. 52	4. 19	4. 86	1. 78	4. 27
30年度患者数	6, 589	4, 859	81	645	105	3	37	269	313	95	182
構成比(%)	100.0	73. 74	1. 23	9. 79	1. 59	0. 05	0. 56	4. 08	4. 75	1. 44	2. 76
29年度患者数	6, 737	5, 041	84	583	92	1	39	272	365	97	163
構成比(%)	100.0	74. 83	1. 25	8. 65	1. 37	0. 01	0. 58	4. 04	5. 42	1. 44	2. 42
28年度患者数	6, 434	4, 728	68	570	78	1	41	323	321	107	197
構成比(%)	100. 0	73. 48	1. 06	8. 86	1. 21	0. 02	0. 64	5. 02	4. 99	1. 66	3. 06

	出	席者一覧	
運協役職	氏 名	団体及7	び職名
管理者	和 田 利 彦	盛岡市医師会	会長
	吉 田 耕太郎		副会長
	金 子 博 純		副会長
	金 濱 誠 己	- 盛岡市医師会	理事
	久保田 公 宜	盆间巾区即云	理事
委員	臼 井 由紀子		小児科医会 会長
女 只	吉 田 研 一		小児科医会 幹事
	畑 澤 昌 美	· 盛岡薬剤師会	副会長
	佐々木 宣 好	盆 門架用即云	副会長
	村 上 淳	 - 盛岡市	保健福祉部長
	高 橋 清 実	盆间 山	保健所長
	長 山 秋 子		主任看護師
	八重樫 寛 恵	夜間急患診療所	看護師
従事者	米 澤 美 子		看護師
	大 坪 めぐみ	 - (株)メディカルサポート	事務員
	植松美衣		事務員
	及 川 敬一郎		事務局長
	水 本 達 彦	盛岡市医師会事務局	次長
	谷 藤 慎 治		係長
	工藤弘幸		次長兼企画総務課長
	佐々木 一 憲		企画総務課長補佐
事務局	鈴 木 佳 子		企画総務係長
	滝 村 歩 美	」 - 盛岡市保健所	主任
	大 澤 優 也	血門 I	主事
	鈴 木 佳 子		企画総務係長
	向 田 瑠 夏		主査
	大澤優也		主事

Ⅲ 岩手県高度救命救急センター報告

(平成31年1月~令和元年12月)

診療状況

- 1. 疾病別患者数
- 2. 来院時間帯別入院患者数
- 3. 地域別入院患者数
- 4. 搬入先・搬入方法別入院患者数
- 5. 主な手術件数

診療 状況

1. 疾病別入院患者数

1) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

全身疾患	患者数		患者数
感染症	76 (40)	栄養疾患	0 (0)
寄生虫病	0 (0)	代謝疾患	110 (37)
新生物	119 (8)	免疫異常	2 (0)
内分泌疾患	0 (0)		
小 計			307 (85)

系統疾患	患者数		患者数
血液・造血器疾患	9 (3)	泌尿器生殖器疾患	104 (24)
精神障害	221 (6)	周産期	0 (0)
神経・感覚器疾患(てんかんを含む)	402 (62)	皮膚皮下組織	31 (8)
心不全・不整脈など	293 (58)	筋骨格・結合組織	76 (30)
虚血性心疾患など	221 (7)	先天異常	0 (0)
(心筋梗塞・狭心症・動脈瘤)		妊娠	1 (0)
脳血管障害	321 (97)	症状・徴候	81 (15)
呼吸器疾患	172 (73)	診断不明確	0 (0)
消化器疾患	502 (186)	その他	41 (4)
小 計			2,475 (573)

損傷・中毒 患者数

	交通事故	文	その他	1の	事故	事故の	後:	遺症	故意	的加	害	小	計
骨折	95 (79)	303	(216)	0	(0)	13	(12)	411 (307)
関節脱臼	1 (1)	7	(0)	0	(0)	0	(0)	8 (1)
捻挫	7 (2)	4	(2)	0	(0)	0	(0)	11 (4)
頭蓋内損傷	30 (24)	124	(98)	0	(0)	1	(1)	155 (123)
内臓損傷	36 (30)	21	(18)	0	(0)	6	(2)	63 (50)
開放創	13 (5)	115	(24)	0	(0)	20	(4)	148 (33)
血管損傷	0 (0)	2	(1)	0	(0)	0	(0)	2 (1)
表在損傷	4 (0)	8	(1)	0	(0)	1	(0)	13 (1)
挫創	3 (1)	12	(0)	0	(0)	0	(0)	15 (1)
圧挫損傷	48 (13)	121	(24)	0	(0)	7	(0)	176 (37)
異物	0 (0)	6	(1)	0	(0)	0	(0)	6 (1)
熱傷	0 (0)	44	(26)	0	(0)	3	(3)	47 (29)
神経損傷	6 (6)	27	(19)	0	(0)	0	(0)	33 (25)
中毒・薬物中毒	0 (0)	33	(13)	0	(0)	88	(35)	121 (48)
毒作用	0 (0)	9	(5)	0	(0)	0	(0)	9 (5)
後遺症	0 (0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0 (0)
その他・外因作用	0 (0)	41	(15)	0	(0)	20	(6)	61 (21)
外科・内科合併症	0 (0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0 (0)
小 計	243 (161)	877	(463)	0	(0)	159	(63)	1,279 (687)
合 計												4,061 (1,345)

総患者数 4,061 人 () はセンター入院患者数 1,345 人

2. 来院時間帯別入院患者数

1) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

	時間・ 性別	AM 0 B	寺~ AM6時	AM 6 B	寺~ AM9時	AM 9 F	寺〜 PM5時	PM 5 民	テ~ PM8時	PM 8 民	F~ M12 時	小	計	۱۵ ۸
月	12.00	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	合 計
1	月	8	2	13	5	36	27	7	10	11	4	75	48	123
2	月	7	2	3	7	33	31	13	11	6	3	62	54	116
3	月	9	1	8	2	52	21	10	6	13	7	92	37	129
4	月	3	4	7	2	51	23	5	6	8	8	74	43	117
5	月	3	2	5	6	34	32	4	8	12	9	58	57	115
6	月	8	12	3	3	29	24	11	7	9	9	60	55	115
7	月	9	8	2	3	48	26	16	8	6	13	81	58	139
8	月	8	2	7	2	34	25	12	12	6	6	67	47	114
9	月	3	2	3	1	24	16	4	2	4	4	38	25	63
10	月	2	5	5	3	28	25	22	8	9	4	66	45	111
11	月	6	3	4	2	30	25	4	4	7	7	51	41	92
12	月	2	8	3	3	28	24	8	15	11	9	52	59	111
合	計	68	51	63	39	427	299	116	97	102	83	776	569	1,345

3. 地域別入院患者数

1) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

地域別		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均	比率
盛	岡	市	74	67	68	62	63	62	72	61	28	52	38	43	690	57.5	51.3%
滝	沢	市	6	8	12	10	6	9	14	6	3	8	1	6	89	7.4	6.6%
八幡平	で市・岩	音手郡	11	14	10	14	12	10	18	11	7	5	11	7	130	10.8	9.7%
紫	波	郡	8	6	9	5	9	8	11	10	13	20	20	22	141	11.8	10.5%
花	卷	市	4	7	4	10	5	6	5	3	2	10	6	7	69	5.8	5.1%
北上市	う・西利	[]賀町	1	0	1	0	2	3	2	4	0	0	2	5	20	1.7	1.5%
奥州市	市・胆	沢郡	2	1	3	2	0	0	1	1	0	1	1	1	13	1.1	1.0%
一関市	う・西磐	8井郡	3	1	2	0	3	4	1	1	0	3	1	6	25	2.1	1.9%
大船渡市・	陸前高田市	j・気仙郡	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	2	6	0.5	0.5%
釜石市・	遠野市・	大槌町	2	0	4	2	3	4	3	1	1	2	3	1	26	2.2	1.9%
宮古市	j・下閉	引伊郡	2	1	5	3	3	4	2	3	4	1	5	5	38	3.2	2.8%
久慈ī	市・九	戸郡	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	0.3	0.3%
二戸ī	市・二	戸郡	1	3	0	2	0	3	1	0	0	1	0	3	14	1.2	1.0%
青	森	県	3	2	1	4	1	1	1	0	1	1	1	0	16	1.3	1.2%
秋	田	県	1	0	2	0	1	1	2	2	0	1	0	2	12	1.0	0.9%
宮	城	県	1	1	1	0	2	0	2	1	0	0	0	0	8	0.7	0.6%
そ	0)	他	4	4	5	3	4	0	4	8	4	5	2	1	44	3.7	3.3%
合		計	123	116	129	117	115	115	139	114	63	111	92	111	1,345	112.3	100.0%

4. 搬入先・搬入方法別入院患者数

1) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

搬入先 区 分	初期非		接施設	2 次非		聚施設	3次排		養施設	そ	0)	他	小	計	計
搬入先区 分	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	計	救急車	その他	ĦI I
1月	10	2	12	8	13	21	0	0	0	76	14	90	94	29	123
2月	15	6	21	12	10	22	1	0	1	56	16	72	84	32	116
3月	24	4	28	8	7	15	0	0	0	68	18	86	100	29	129
4月	18	4	22	11	7	18	1	0	1	59	17	76	89	28	117
5月	11	2	13	10	9	19	0	0	0	65	18	83	86	29	115
6月	17	4	21	14	7	21	0	0	0	64	9	73	95	20	115
7月	15	13	28	10	13	23	0	0	0	74	14	88	99	40	139
8月	12	3	15	13	5	18	1	0	1	67	13	80	93	21	114
9月	5	3	8	7	3	10	0	0	0	37	8	45	49	14	63
10 月	16	3	19	23	3	26	1	0	1	60	5	65	100	11	111
11 月	10	2	12	14	4	18	1	0	1	52	9	61	77	15	92
12 月	23	3	26	16	8	24	1	0	1	58	2	60	98	13	111
合計	176	49	225	146	89	235	6	0	6	736	143	879	1,064	281	1,345

5. 主な手術件数および内視鏡的治療件数

1) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

)	Ħ	頭部疾患	胸部疾患	腹部疾患	四肢・骨盤疾患	脊椎・脊髄損傷	内視鏡的治療 対象疾患	計
1	月	1	0	4	30	4	9	48
2	月	4	0	4	30	7	15	60
3	月	6	0	2	29	5	10	52
4	月	4	0	8	35	7	15	69
5	月	6	0	8	28	6	6	54
6	月	3	0	6	29	3	10	51
7	月	4	0	2	23	7	11	47
8	月	7	0	6	20	7	7	47
9	月	3	0	2	11	2	3	21
10	月	2	0	5	22	6	12	47
11	月	2	0	7	16	5	20	50
12	月	5	0	8	25	9	6	53
合	計	47	0	62	298	68	124	599

IV お盆及び年末年始の救急医療

1. 令和元年度お盆休み期間中の外来患者数 実熊調查報告

今年のお盆期間中(8月13日(火)~16日(金) 表3. お盆中休診状況(245医療機関) に受診した外来患者数の調査結果をご報告い たします。

アンケート回収率(表1)

対象医療機関は28病院、218診療所、計246 機関で、回収率は100%でした。

表1. アンケート回収率(盛岡市)

	医療機関数	回収数	回収率
病院	28	28	100%
診療所	218	218	100%
合 計	246	246	100%

	8月13日 (火)	8月14日 (水)	8月15日 (木)	8月16日
全日休診	201	219	224	216
半日休診	9	1	3	3
診 療	35	25	18	26
当番医	0	0	0	0

※盛岡市夜間急患診療所はのぞく

病院及び診療所の来院患者数(表4)

4日間の患者総数は18.752名でした。病院 受診16.294名、診療所受診は2.458名の内訳で した。

診療科別診療所及び病院数(表2)

表 2. 診療科別診療所及び病院数

	診療科	医療機関数	計		
	内科	94			
	外科	42			
診	産 婦 人 科	13			
療	小 児 科	13	218		
	眼科	20	218		
所	皮膚・泌尿器科	20			
	耳鼻咽喉科	15			
	夜間急患診療所	1			
病院	二次救急病院	12	28		
	その他の病院	16	20		

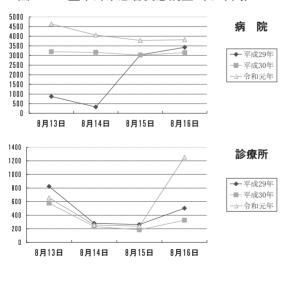
表 4. 病院及び診療所 (令和元年8月13日~8月16日)の来院患者数 (時間帯別)

月日	曜日	時間 機関	AM0時 ~ AM6時	AM6時 ~ AM9時	AM9時 ~PM5時	PM5時 ~ PM8時	PM8時 ~ PM12時	合計
8月13日	火	病院	18	177	4,320	74	49	4,638
		診療所	0	20	578	47	26	671
		合 計	18	197	4,898	121	75	5,309
8月14日	水	病院	21	160	3,748	90	38	4,057
		診療所	1	9	224	28	12	274
		合 計	22	169	3,972	118	50	4,331
8月15日	木	病院	20	100	3,565	53	45	3,783
		診療所	1	26	161	26	24	238
		合 計	21	126	3,726	79	69	4,021
8月16日	金	病院	18	92	3,620	58	28	3,816
		診療所	0	71	1,096	99	9	1,275
		合 計	18	163	4,716	157	37	5,091
	計	病院	77	529	15,253	275	160	16,294
総		診療所	2	126	2,059	200	71	2,458
		総 計	79	655	17,312	475	231	18,752

お盆中外来患者実態調査(図1)

過去3年間の患者数を折れ線グラフで示しました。病院は4日間とも3,000人を超えました。

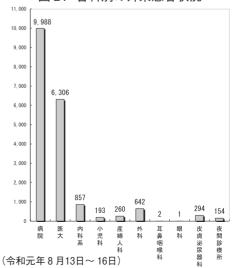
図1. お盆中外来患者実態調査(3年間)



各科別の外来患者状況(図2)

病院受診者9,988名、岩手医大受診6,306名 でした。診療所受診者の内訳は、内科系857名、 外科193名などでした。期間中の夜間急患診 療所の受診者数は154名でした。

図2. 各科別の外来患者状況



病院及び診療所来院患者比率

(図3、図4、図5、図6、図7、図8)

13日~16日の時間帯別の患者総数を岩手医大、二次救急病院、その他の病院、診療所、

夜間急患診療所に分け、図3~8の円グラフ に示しました。今年度も同様に、多くの受診 者を岩手医大の二次救急病院で診ていただき ました。

図3. 病院および診療所来院患者比率

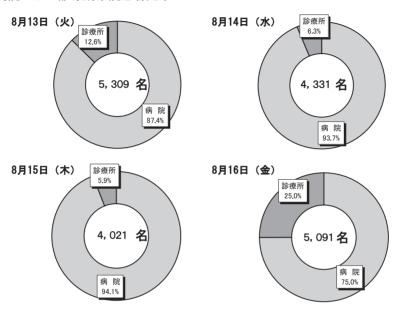


図 4. 深夜 (AM0:00~6:00) の来院患者比率

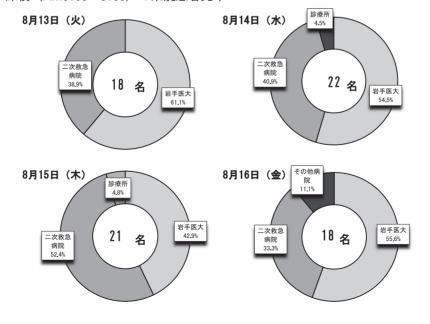


図 5. 時間外 A (AM6:00~AM9:00)の来院患者比率

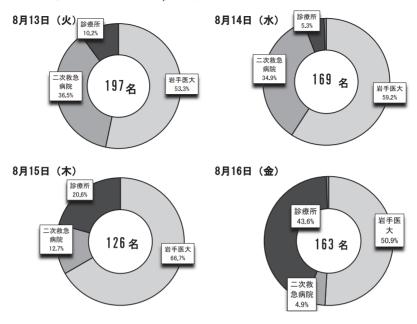


図 6. 日中 (AM9:00~PM5:00) の来院患者比率

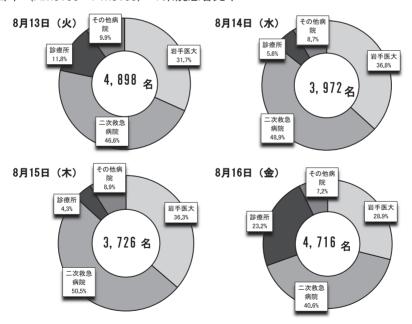


図7. 時間外B (PM5:00~PM8:00) の来院患者比率

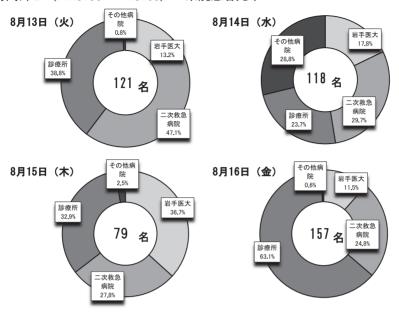
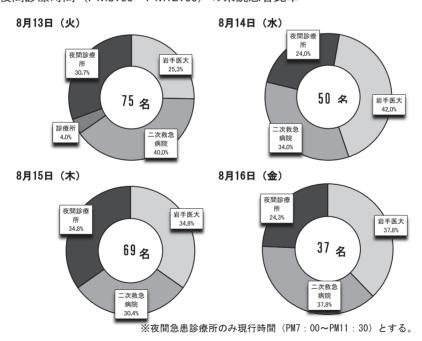


図8. 夜間診療時間 (PM8:00~PM12:00) の来院患者比率



岩手医大附属病院は9月に移転し、地域の 医療体制が大きく変化する中で、これまで以 上に「適正受診」することが求められています。

本アンケートの調査に当たりましては、お

忙しい中、各医療機関の皆様にご協力いただ きました。誌上をもちまして、感謝申し上げ ます。

(鈴木知己)

2. 令和元年度年末年始外来患者実態調查報告

令和元年12月28日~令和2年1月4日までの外来患者アンケート調査について報告します。例年は12月29日~1月6日までの調査でしたが、今回は暦の関係上、28日~4日までの8日間を調査いたしました。昨年の岩手医科大学の矢巾移転に伴い、今回のアンケートより、調査の都合上、岩手医大附属病院はこれまで通り「二次救急病院」として取扱い、岩手医大内丸メディカルセンターは「病院」とします。今回の調査では病院28施設、診療所219施設の合計247施設に依頼し100%の回収率でした(表1)。診療科別診療所及び病院数(表2)と年末年始休診状況(表3)はご覧の通りです。

表1. アンケート回収率(盛岡市)

	医療機関数	回収数	回収率
病 院	28	28	100%
診療所	219	219	100%
合 計	247	247	100%

※予防医学協会・対がん協会・健康管理センターは除く

表 2. 診療科別診療所及び病院数

	診療科	医療機関数	計
	内 科	93	
l	外 科	42	
診	産 婦 人 科	14	
	小 児 科	14	
療	眼科	19	219
	皮膚/泌尿器科	21	
所	耳鼻咽喉科	13	
"	その他	2	
	夜間急患診療所	1	
病	二次救急病院	12	28
院	その他の病院	16	40

※その他は、ゆうあいの里、ゆうあいの街

8日間の来院患者数は病院7,919人、診療所14,618人の合計22,537人となりました。12月28日と1月4日を除く6日間では6,914人となり、昨年度(6,354人)と大きく変化はありませんでした。一方、休み前の12月28日出は病院2,513人、診療所6,231人の合計8,744人、休み明けの1月4日出病院2,478人、診療所4,401人の合計6,879人となりました(表4)。

表 3. 年末年始休診状況(246医療機関)

	12月28日 (土)	12月29日 (日)	12月30日 (月)	12月31日 (火)	1月1日 (水)	1月2日(木)	1月3日	1月4日(土)
全日診療	26	0	0	0	18	17	30	19
午前診療	13	0	0	0	6	4	7	160
休 診	207	241	241	242	218	220	205	67
当 番 医	-	5	5	4	4	5	4	-

※盛岡市夜間急患診療所は除く

表 4. 病院及び診療所(令和元年12月28日~令和 2 年 1 月 4 日)の来院患者数(時間帯別)

(中,将)的(次) (1940年12月20日 1941年1月1日) (2)不同(18日数 (中)同时的))											
		時刻	0 AM	6 AM	9 AM	5 PM	8 PM				
月 日	曜日		}	}	}	}	}	合 計			
		機関	6 AM	9 AM	5 PM	8 PM	12 PM				
		病院	22	185	2,239	39	28	2,513			
12月28日	土	診療所	0	235	5,822	153	21	6,231			
		合 計	22	420	8,061	192	49	8,744			
		病院	16	49	551	44	31	691			
12月29日	日	診療所	2	4	401	36	25	468			
		合 計	18	53	952	80	56	1,159			
		病院	17	63	296	56	34	466			
12月30日	月	診療所	0	17	1,175	57	37	1,286			
		合 計	17	80	1,471	113	71	1,752			
		病院	23	49	249	49	32	402			
12月31日	火	診療所	1	20	536	83	43	683			
		合 計	24	69	785	132	75	1,085			
		病院	19	33	357	40	50	499			
1月1日	水	診療所	0	0	362	39	32	433			
		合 計	19	33	719	79	82	932			
		病院	26	39	231	51	38	385			
1月2日	木	診療所	0	3	359	130	16	508			
		合 計	26	42	590	181	54	893			
		病院	24	35	355	42	29	485			
1月3日	金	診療所	0	3	543	53	9	608			
		合 計	24	38	898	95	38	1,093			
		病院	13	174	2,205	52	34	2,478			
1月4日	土	診療所	0	212	4,120	46	23	4,401			
		合 計	13	0	0	98	57	6,879			
		病院	160	627	6,483	373	276	7,919			
総	計	診療所	3	494	13,318	597	206	14,618			
WE 11		総計	0	0	0	970	482	22,537			
		1.00			·						

過去5年間における年末年始の患者総数の 夜間急患診療所の来院患者数は8日間で総 比較です (表5)。

数419人でした(表6)。

表 5. 過去 5年間における年末年始来院患者総数の比較

年度 月日	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
12月28日	未調査	未調査	未調査	未調査	8,744 (土)
12月29日	6,395 (火)	6,344 (木)	5,119 金	2,178 (土)	1,159 (日)
12月30日	1,393 (水)	1,472 (金)	1,260 (土)	825 (日)	1,752 (月)
12月31日	850 (木)	992 (土)	821 (日)	980 (月)	1,085 (火)
1月1日	706 金	678 (日)	822 (月)	662 (火)	932 (水)
1月2日	687 (土)	1,091 (月)	1,059 (火)	842 (水)	893 (木)
1月3日	639 (日)	833 (火)	966 (水)	867 (木)	1,093 (金)
1月4日	未調査	未調査	未調査	未調査	6,879 (土)
計	10,670	11,410	10,047	6,354	22,537
					(人)

表 6. 夜間急患診療所来院患者数

X 0. 区间心	K O. KIDARATARIOLES										
時間帯	12月28日 (土)	12月29日 (日)	12月30日 (月)	12月31日 (火)	1月1日 (水)	1月2日(未)	1月3日 金	1月4日(土)	計		
午後7時 と 年後8時	46	26	36	22	24	31	33	20	238		
午後8時 ~ 午後11時30分	21	24	37	23	30	15	8	23	181		
計	67	50	73	45	54	46	41	43	419		

夜間帯の診療時間の来院患者数は482人で、 岩手医大附属病院(矢巾)が71人、二次救急 病院(医大除く)が203人でした(表7)。

は5.388人となりました(表8)。岩手医大附 午後5時の間でした(表9)。

属病院は全体の44.3%を占める結果となりま した。

二次救急病院の来院患者数5.388人のうち、 二次救急病院の全時間帯における来院総数 最も受診が多かった受診時間帯は午前9時~

表 7. 夜間診療時間 (8:00P.M.~12:00P.M.) の来院患者数

()内%

	12月28日(生)	12月29日(日)	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(株)	1月3日金	1月4日(土)	計
二次救急病院 (医大を除く)	20 (40.8)	29 (51.8)	28 (39.4)	19 (25.3)	29 (35.4)	33 (61.1)	18 (47.4)	27 (47.4)	203 (42.1)
岩手医大附属病院 (矢 巾)	8 (16.3)	2 (3.6)	6 (8.5)	13 (17.3)	21 (25.6)	4 (7.4)	11 (28.9)	6 (10.5)	71 (14.7)
その他の病院	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)	1 (1.8)	2 (0.4)
診 療 所	0 (0.0)	1 (1.8)	0 (0.0)	20 (26.7)	2 (2.4)	1 (1.9)	1 (2.6)	0 (0.0)	25 (5.2)
夜間急患診療所 (8:00~11:30)	21 (42.9)	24 (42.9)	37 (52.1)	23 (30.7)	30 (36.6)	15 (27.8)	8 (21.1)	23 (40.4)	181 (37.6)
計	49 (100)	56 (100)	71 (100)	75 (100)	82 (100)	54 (100)	38 (100)	57 (100)	482 (100)

(人)

表 8. 二次救急病院各病院別来院患者数

() 内%

	12月28日(土)	12月29日(日)	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(株)	1月3日金	1月4日(土)	合計
岩手医科大学	983 (68.4)	56 (10.7)	84 (21.4)	133 (35.5)	101 (30.8)	60 (17.2)	68 (16.8)	901 (57.0)	2,386 (44.3)
岩手県立中央病院	89 (6.2)	125 (23.9)	100 (25.5)	95 (25.3)	79 (24.1)	120 (34.4)	93 (23.0)	138 (8.7)	839 (15.6)
盛岡赤十字病院	30 (2.1)	42 (8.0)	84 (21.4)	56 (14.9)	31 (9.5)	42 (12.0)	52 (12.9)	31 (2.0)	368 (6.8)
盛岡市立病院	17 (1.2)	20 (3.8)	28 (7.1)	10 (2.7)	18 (5.5)	18 (5.2)	138 (34.2)	23 (1.5)	272 (5.0)
遠 山 病 院	58 (4.0)	1 (0.2)	4 (1.0)	3 (0.8)	31 (9.5)	5 (1.4)	4 (1.0)	3 (0.2)	109 (2.0)
高 松 病 院	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.04)
栃 内 病 院	103 (7.2)	10 (1.9)	5 (1.3)	8 (2.1)	9 (2.7)	12 (3.4)	4 (1.0)	97 (6.1)	248 (4.6)
盛岡つなぎ温泉病院	5 (0.3)	5 (1.0)	8 (2.0)	8 (2.1)	5 (1.5)	6 (1.7)	4 (1.0)	45 (2.8)	86 (1.6)
盛岡友愛病院	3 (1.0)	7 (2.0)	4 (1.0)	11 (4.0)	8 (2.0)	16 (1.0)	8 (2.0)	156 (9.9)	213 (4.0)
川久保病院	130 (9.0)	243 (46.6)	23 (0.0)	14 (3.0)	10 (0.0)	11 (0.0)	11 (2.7)	166 (10.5)	608 (11.3)
国立病院機構盛岡医療センター	7 (0.0)	3 (1.0)	13 (1.0)	11 (0.0)	7 (1.0)	5 (1.0)	4 (1.0)	3 (0.2)	53 (1.0)
八角病院	13 (0.9)	10 (1.9)	39 (9.9)	26 (6.9)	27 (8.2)	54 (15.5)	18 (4.5)	17 (1.1)	204 (3.8)
合 計	1,438	522	392	375	328	349	404	1,580	5,388

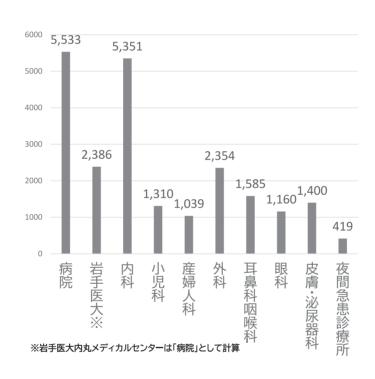
表 9. 二次救急病院時間帯別来院患者数

	B.11 313 B. 31. 311.	777786765 6 8	•			
時間	AM 0	AM 6	AM 9	PM 5	PM 8	合 計
月日	AM 6	AM 9	PM 5	PM 8	PM 12	
12月28日(土)	22	127	1,222	39	28	1,438
12月29日(日)	16	38	393	44	31	522
12月30日(月)	17	47	239	55	34	392
12月31日(火)	23	35	236	49	32	375
1月1日(水)	19	19	201	39	50	328
1月2日(木)	25	25	213	49	37	349
1月3日金	24	34	276	41	29	404
1月4日(土)	13	137	1,345	52	33	1580
合 計	159	462	4,125	368	274	5,388

表10. 岩手県高度救命救急センター時間帯別来院患者数(3次)

時間月日	AM 0 d AM 6	AM 6	AM 9	PM 5	PM 8 ≀ PM 12	合 計
12月28日(土)	0	4	8	5	2	19
12月29日(日)	2	3	3	4	2	14
12月30日(月)	3	4	6	2	0	15
12月31日(火)	2	0	7	1	2	12
1月1日(水)	0	0	4	3	2	9
1月2日(木)	3	0	4	1	2	10
1月3日金	2	4	1	2	3	12
1月4日(土)	1	1	8	2	0	12
合 計	13	11	25	13	11	73

図1. 病院(医大、その他病院)診療所(診療科別)来院患者数



岩手県高度救命救急センターの来院患者数(3次)は73人でした。最も受診が多かった 受診時間帯は午前9時~午後5時でした(表 10)。 病院(医大、その他病院)診療所(診療科別)来院患者数を棒グラフに表すと、病院が5,533人、続いて内科が最も多い5,351人、続いて外科が2,354人でした(図1)。

病院及び診療所の日別の来院患者は、ご覧の通りです(図2)。

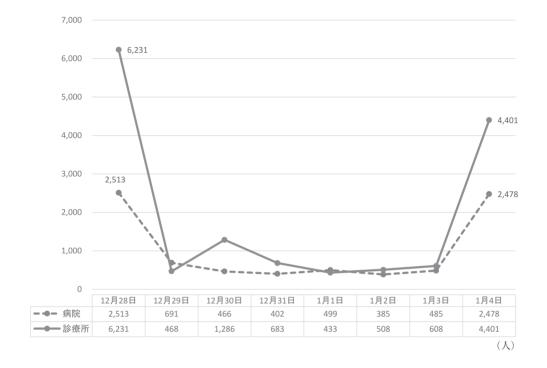


図2. 病院および診療所来院患者数

夜間診療時間帯(午後 8 時~午前 0 時)の来院患者数をみると、12月30日、31日を除いて岩手医大と二次救急病院で 5 割以上の患者を診ていただきました(表11)。

表11. 夜間診療時間(午後8時~午前0時)の来院患者数

	12月28日(土)	12月29日(日)	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(株)	1月3日金	1月4日生	計
岩手医大附属 病院(矢巾)	8	2	6	13	21	4	11	6	71
二次救急病院	20	29	28	19	29	33	18	27	203
診 療 所	0	1	0	20	2	1	1	0	25
その他病院	0	0	0	0	0	1	0	1	2
夜間急患診療所	21	24	37	23	30	15	8	23	181
合 計	49	56	71	75	82	54	38	57	482

深夜(午前0時~午前6時)の来院患者数をみると、8日間すべて、岩手医大と二次救急病院、その他病院で9割以上の患者を診て頂きました(表12)。

表12. 深夜(午前0時~午前6時)の来院患者数

	12月28日(土)	12月29日(日)	12月30日(月)	12月31日(火)	1月1日(水)	1月2日(木)	1月3日金	1月4日(生)	計
岩手医大附属 病院(矢巾)	4	10	5	6	4	6	3	5	43
二次救急病院	18	6	12	17	15	19	21	8	116
診 療 所	0	2	0	1	0	0	0	0	3
その他病院	0	0	0	0	0	1	0	0	1
夜間急患診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	22	18	17	24	19	26	24	13	163

(人)

以上が令和元年度年末年始の外来患者実態調査の結果となります。岩手医大附属病院が矢巾に移転して初めての調査となりましたが、特に大きな混乱はなかったようです。二次救急医療機関におかれましては、盛岡医療圏の要として常日頃から奮闘していただいており、改めて感謝申し上げたいと思います。お陰様で今年は結果からも分かる通り、穏やかな年末年始となりました。

一方、中国で発生した新型コロナウイルス 感染症(COVID-19)は、ここにきて国内の 複数地域で、感染経路が明らかではない患者 が散発的に発生しており、市中感染のフェーズに入ったと言わざるを得ません。今後も事態を注視しつつ、圏域の医療体制をしっかりと堅持していくことがとても重要となります。
本アンケートはお陰様で毎回100%の回収

本アンケートはお陰様で毎回100%の回収率となっております。今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

(鈴木知己)

(※例年、円グラフ等を掲載しておりますが、 今回はページ数が多くなる為、割愛させて頂 きました。)

V 盛岡地区二次救急医療体制 40年目のあゆみ

盛岡地区二次救急医療対策委員会

1. 実態報告

2019年、盛岡地区二次救急医療体制 40年目の大きな出来事として、岩手医科大学附属病院(以下医大)の矢巾移転が9月21日に行われた。移転のため医大の診療が、9月14日予定手術停止、9月18日予定入院を停止、9月19日より救急受け入れを停止し、同日より緊急手術を停止した。患者移送は9月21日に1日で混乱なく無事行われた。9月24日外来、予定入院、救急受け入れを開始し、9月30日より予定手術を開始された。予定入院受け入れも順調に進み通常診療が開始された。この診療受け入れ制限期間において、それぞれの医療機関へ患者の受け入れが事前に調整されており、二次救急には大きな混乱はなかった。また、医大移転に伴い初期救急患者の受診先が県立中央病院に集中することが懸念されたが、盛岡市立病院が夜間救急担当医師を2名に増員し対応した。

2019年の二次救急医療体制について、表1から表3に示すような各病院の割当回数と日程により行われた。医大移転の前後には各病院が輪番を分担した。また小児救急病院に盛岡医療センターが参加した(表2)。二次救急については表4に、小児救急については表5のように報告された。表6には各病院毎の月別と総数を示す。図2に総数の過去3年を比較したグラフを示す。2019年は約2500名減少し、特に7月から11月が過去3年で最も減少していた。医大は移転の9月以降800人台と例年より半減し、県立中央病院と盛岡市立病院が増加した。

									=	为	Z.	救	ζ	急		病		院		当	i	番	7	툿								
	和元 6月	年	1 +:	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 +:	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 +:	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 +:	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 +:	30 日
	県 立 中 央	日直	※外腦循內	内外脳循内	内	内	内	内	内	※ 外腦循內	内外脳循内	内	内	内	内	内	※内 外 脳 循 内	内外脳循内	内	内	内	内	内	外 所 循 内	内外脳循内	内	内	内	内	内		内外脳循内
=	病院盛岡	宿直 日直	外脳循 ※	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循 ※	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循 ※	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循 ※	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外脳循	外 脳 循 ※	外脳循
	市立病院盛	宿直	外 内 ※循	内 外 循	内	外	内	外	外	外 外 ※消	外	内	外	外	内	内	外 内 ※循	内 外消	外	外	内	内	内	外 外 ※消	外内呼	外	外	外	内	内	外 外 ※循	外内内
次	岡赤十字病院	日直 宿直	脳産内	外産消外	外	脳	内整立	内京	循	整産外	耳 産 外	内京	呼外空	循	泌	消整空	脳産外	耳 産 外	外空	脳	外	内整立	循	外産外	耳 産 循 外	泌	外	整空	外空	消	耳産消外	整産外
	院岩 手 医	日直	産	産内外小歯	産	産	産	産	産	産 ※ 外 小 歯	産内外小歯	産	産	産	産	産	産 ※ 外 小 歯	産内外小歯	産	産	産	産	産	産	産内外小歯	産	産	産	産	産	産 ※内 外 小 歯	産内外小歯
救	大病	宿直	内外小歯	内外小歯	婦内外小歯	内外小歯	内外小歯	精內外小歯	神内外小歯:	内外小歯	内外小歯	A 内外小歯	耳内外小歯	鼻内外小歯	四 内 外 小 歯	喉内外小歯	内外小歯	· 限 内外小歯	内外小歯	内外小歯	内外小歯	内外小歯	科内外小歯	内外小歯	カ外小歯	コ内外小歯	内外小歯	ル内外小歯	に内外小歯	対内外小歯	内外小歯	内外小歯
	院 山 病	日直		産り	婦	人和		精	神	神	経っ内	₽ ·	耳	鼻	咽	喉	科	財内	科		皮	膚 ラ	A 1	1 7	内	7		ル	(2 1	(対	応	内
	防伤内	宿直 日直	内	内内	内	内	内	内	内	内	内形成	内	内	内	内	内	内	内形成	内	内	内	内	内	内	内形成	内	内	内	内	内	内	内形成
急	病院高い	宿直 日直	形成	内	整	脳	整	脳	内	形成	形成整	整	脳	整	脳	内	内	整	整	脳	整	整	整	内	形成	整	脳	整	脳	整	形成	形成
	松病院盛	宿直	内	整外	内	整外	内	内	内	整外	外内	整外	内	整外	内	整外	内	外 整 外	内	整外	内	内	内	整外	内内	整外	内	整外	内	整外	内	内 整 外
病	泉病院	日直 宿直	内	整内	内	内	内	内	内	内	内内	内	内	内	内	内	内	内内	内	内	内	内	内	内	内内	内	内	内	内	内	内	内内
	盛岡友爱病	日直宿直		外							泌							整							内							内
院	川 久 保	日直	神	外外	整	内	整	整	内	内	泌小	整	内	整	整	内	内	整外	整	内	外	神	婦	内	内内	整	内	整	整	外	外	内内
190	病院區岡医療	宿直 日直	小 ※ 整	内内	眼	小	内	内	内	内 ※ 内	小整	内	小	内	内	内	内 ※ 内	内整	内	小	内	内	眼	内 ※ 整	内整	内	内	内	眼	内	小 ※ 整	内整
	療センター人	宿直日直	整	内	整	内	内	内	整	内	整	内	内	内	整	内	内	整	内	内	内	内	整	整	整	整	整	内	整	内	整	整
	角病院	宿直	内	内内	内	内	内	内	内	内	内内	内	内	内	内	内	外	外内	内	内	内	内	内	内	内内	内	内	内	内	内	内	内内
受入病院	入	A B	中央栃内	日 赤八 角	医大高松	中央友愛	日 赤つなぎ	医 大川久保	中央遠山	医大市立	医大板内	中央国立	日 赤高 松	医 大友 愛	中 央つなぎ	日赤川久保	医大遠山	中央市立	中央栃内	医大国立	中央八角	日 赤友 愛	医 大つなぎ	中央川久保	日 赤遠 山	医大市立	中央栃内	医大国立	医大八角	中央高松	日 赤つなぎ	医 大川久保

[【]注意事項】 1. 各病院の当直医(診療科)が変更されることがありますので、事前に電話で確認することをおすすめします。
※消防量(複魚際)は患者の状態により、直近または最も適していると考えられる二次教急病院を選定して連絡を入れますので、教
急隊から受入を要贖された場合は可能な限り受入をお願い致します。

2. 最終入院受入病院とは、息息について他の病院が受け入れられない場合、最終関答及び責任をもつ病院です。

3. 小児の入院が必要と思われる場合は、小児救急入院受入病院当番表をご参照下さい。

4. ※印は、休日体制になっていますので、ご留意下さい。

表 2 令和元年度(2019年1月~2019年12月)二次救急輪番病院年間回数

区 分 病 院	年 末 年 始	祝祭日	日曜日	土曜日	平日	年 間 回 数	総回数
盛岡市立病院	0	2	6	5	28	41	49
高 松 病 院	1	2	5	6	26	40	48
盛岡つなぎ温泉病院	1	1	5	5	28	40	47
県立中央病院	2	8	21	21	90	142	173
岩手医大附属病院	2	6	19	19	96	142	169
盛岡赤十字病院	2	4	11	10	54	81	98
遠 山 病 院	0	0	6	7	28	41	47
栃 内 病 院	0	2	6	6	27	41	49
盛岡友愛病院	1	3	6	5	25	40	50
川久保病院	1	3	6	4	26	40	50
八角病院	1	2	7	6	25	41	51
国立療養所盛岡医療センター	1	3	4	6	27	41	49
計	12	36	102	100	480	730	880

令和元年度(2019年1月~2019年12月)小児救急各病院当番コマ数

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
中	央	15	14	16	16	16	16	16	16	17	14	14	15	185
日	赤	4	3	3	5	5	5	4	5	5	5	3	8	55
医	大	16	13	17	16	17	16	17	17	14	16	17	13	189
2 8	ども	4	4	3	_	-	1	-	-	_	-	_	-	11
国立	盛岡	-	-	1	-	-	1	1	-	-	3	3	3	9
ΠЗ	入保	4	3	3	3	5	3	3	3	5	3	3	3	41
合	計	43	37	42	40	43	40	40	41	41	41	40	42	490

表 3 二次救急医療輪番病院及び小児救急輪番病院日程表 (平成 31 年 1 月~ 3 月)

1	月		二次	救:	急			力	児	救	急	
日	曜日		А		В		1	官直	Ī		日道	Ī
1	火	医	大	友		愛	Ш	久	保	Ш	久	保
2	水	中	央	つ	な	ぎ	日		赤	日		赤
(3)	木	日	赤	Ш	久	保	医		大	医		大
4	金	医	大	遠		山	中		央			
5	土	中	央	市		立	医		大	۲	ど	£
6	日	中	央	栃		内	中		央	中		央
7	月	医	大	国		立	医		大			
8	火	中	央	八		角	Ш	久	保			
9	水	日	赤	友		愛	中		央			
10	木	医	大	9	な	ぎ	医		大			
11	金	中	央	Ш	久	保	中		央			
12	土	日	赤	遠		山	医		大	Ţ	ど	P
13	日	医	大	市		立	中		央	中		央
14)	月	中	央	栃		内	医		大	医		大
15	火	医	大	国		立	Ш	久	保			
16	水	医	大	八		角	中		央			
17	木	中	央	高		松	医		大			
18	金	日	赤	つ	な	ぎ	中		央			
19	土	医	大	Щ	久	保	医		大	IJ	ど	P
20	日	中	央	遠		山	日		赤	日		赤
21	月	日	赤	市		立	4		央			
22	火	医	大	栃		内	中		央			
23	水	中	央	国		立	医		大			
24	木	中	央	八		角	中		央			
25	金	医	大	高		松	医		大			
26	土	中	央	友		愛	中		央	۲	ど	P
27	ш	日	赤	Щ	久	保	医		大	医		大
28	月	医	大	遠		山	中		央			
29	火	中	央	市		立	医		大			
30	水	日	赤	栃		内	中		央			
31	木	医	大	国		立	医		大			

2	月		二次	救	a			力	児	救	急	
日	曜日		А		В		1	官區	Ī		日直	į mir
1	金	中	央	八		角	中		央			
2	土	医	大	高		松	医		大	IJ	ど	P
3	日	医	大	友		愛	中		央	中		央
4	月	中	央	9	な	ぎ	医		大			
5	火	日	赤	遠		Щ	Ш	久	保			
6	水	医	大	市		立	中		央			
7	木	中	央	栃		内	医		大			
8	金	日	赤	国		立	中		央			
9	土	医	大	八		角	医		大	IJ	ど	f
10	日	中	央	高		松	医		大	医		大
(11)	月	中	央	友		愛	中		央	中		央
12	火	医	大	0	な	ぎ	Ш	久	保			
13	水	中	央	Ш	久	保	日		赤			
14	木	日	赤	市		<u>1</u>	医		大			
15	金	医	大	栃		内	中		央			
16	土	中	央	国		立	医		大	IJ	ど	$\mathcal{C}^{\!$
17	日	П	赤	八		角	中		央	中		央
18	月	医	大	高		松	医		大			
19	火	中	央	友		愛	Ш	久	保			
20	水	医	大	つ	な	ぎ	中		央			
21	木	医	大	Ш	久	保	医		大			
22	金	中	央	遠		Щ	中		央			
23	土	日	赤	栃		内	医		大	IJ	ど	Ġ
24	日	医	大	国		立	日		赤	日		赤
25	月	中	央	八		角	医		大			
26	火	日	赤	高		松	中		央			
27	水	医	大	友		愛	医		大			
28	木	中	央	9	な	ぎ	中		央			

3	月		二次	救:	急			/]	、児	救	急	
日	曜日		Α		В		1	官直	Ĺ		日直	Ī
1	金	中	央	Ш	久	保	医		大			
2	土	医	大	遠		Щ	中		央	Ľ	ど	f
3	日	中	央	市		立.	医		大	医		大
4	月	日	赤	国		立	中		央			
5	火	医	大	八		角	Ш	久	保			
6	水	中	央	高		松	医		大			
7	木	日	赤	友		愛	中		央			
8	金	医	大	つ	な	ぎ	医		大			
9	土	中	央	Ш	久	保	中		央	J	ど	f
10	日	医	大	遠		Щ	医		大	医		大
11	月	医	大	市		立	中		央			
12	火	中	央	栃		内	Ш	久	保			
13	水	日	赤	八		角	医		大			
14	木	医	大	高		松	日		赤			
15	金	中	央	友		愛	医		大			
16	土	日	赤	つ	な	ぎ	医		大	۲	ど	£
17	日	医	大	Ш	久	保	中		央	中		央
18	月	中	央	遠		Щ	医		大			
19	火	中	央	市		立	Ш	久	保			
20	水	医	大	栃		内	中		央			
(21)	木	中	央	国		立	日		赤	日		赤
22	金	日	赤	高		松	中		央			
23	土	医	大	友		愛	中		央	中		央
24	日	中	央	つ	な	ぎ	医		大	医		大
25	月	日	赤	Ш	久	保	中		央			
26	火	医	大	遠		山	医		大			
27	水	中	央	市		立	中		央			
28	木	医	大	栃			医		大			
29	金	医	大	国		立	中		央			
30	土	中	央	八		角	医		大	医		大
31	日	田	赤	友		愛	中		央	中		央

医	大	16
中	央	15
日	赤	4
Ξ	ども	4
川	久保	4
合	計	43

医	大	13
中	央	14
日	赤	5
こど	, f	4
川久	、保	5
合	計	37

医	大	17
中	央	16
日	赤	3
2 5	ども	3
<u> 川 2</u>	ス 保	3
合	計	42

(平成31年4月~令和元年6月)

4	月		二次	救:	急			小	児	救急	ē.
日	曜日		А		В		1	官直	Ĺ	E	直
1	月	医	大	つ	な	ぎ	中		央		
2	火	中	央	遠		Щ	Ш	久	保		
3	水	日	赤	Ш	久	保	医		大		
4	木	医	大	市		立	中		央		
5	金	毌	央	栃		内	Ш		赤		
6	土	毌	央	国		立	医		大	医	大
7	日	医	大	八		角	中		央	中	央
8	月	中	央	高		松	医		大		
9	火	Ш	赤	9	な	ぎ		久	保		
10	水	医	大	Ш	久	保	中		央		
11	木	中	央	遠		Щ	医		大		
12	金	日	赤	市		<u>\frac{\frac{1}{3}}{1}</u>	医		大		
13	土	医	大	栃		内	中		央	中	央
14	日	中	央	国		立	医		大	医	大
15	月	医	大	八		角	中		央		
16	火	医	大	高		松	Ш	久	保		
17	水	中	央	友		愛	医		大		
18	木	日	赤	Ш	久	保	中		央		
19	金	医	大	遠		Щ	日		赤		
20	土	中	央	市		立.	医		大	医	大
21	日	日	赤	栃		内	中		央	中	央
22	月	医	大	玉		立	医		大		
23	火	中	央	八		角	日		赤		
24	水	中	央	高		松	医		大		
25	木	医	大	友		愛	中		央		
26	金	中	央	つ	な	ぎ	医		大		
27	土	日	赤	遠		Щ	中		央	中	央
28	日	医	大	市		立.	日		赤	日	赤
(29)	月	中	央	栃		内	医		大	医	大
(30)	火	日	赤	国		立	中		央	中	央

5	月		二次	救;	a			力	、児	救:	急	
日	曜日		А		В		1	官直	Ĺ		ΗŒ	ī
1	水	医	大	八		角	日		赤	日		赤
(2)	木	中	央	高		松	医		大	医		大
(3)	金	医	大	友		愛	中		央	中		央
(4)	土	医	大	つ	な	ぎ	Ш	久	保	Ш	久	保
5	日	中	央	Ш	久	保	医		大	医		大
(6)	月	日	赤	市		<u>17.</u>	中		央	中		央
7	火	医	大	栃		内	Ш	久	保			
8	水	中	央	国		<u>17.</u>	医		大			
9	木	Ш	赤	八		角	中		央			
10	金	医	大	高		松	日		赤			
11	土	中	央	友		愛	医		大	医		大
12	日	中	央	2	な	ぎ	中		央	中		央
13	月	医	大	Ш	久	保	医		大			
14	火	中	央	遠		Щ	Ш	久	保			
15	水	日		栃		内	医		大			
16	木	医	大	国		立	中		央			
17	金	中	央	八		角	医		大			
18	土	日	赤	高		松	中		央	中		央
19	日	医	大	友		愛	医		大	医		大
20	月	中	央	Ш	久	保	日		赤			
21	火	医	大	つ	な	ぎ	Ш	久	保			
22	水	医	大	遠		Щ	中		央			
23	木	中	央	市		立	医		大			
24	金	日	赤	国		立.	医		大			
25	土	医	大	八		角	中		央	中		央
26	日	中	央	高		松	医		大	医		大
27	月	日	赤	友		愛	中		央			
28	火	医	大	9	な	ぎ	中		央			
29	水	中	央	Ш	久	保	医		大			
30	木	中	央	遠		Щ	日		赤			
31	金	医	大	市		立	中		央			

6	月		二次	救:	急			/]	児	救急	ē.
日	曜日		А		В		1	官直	Ĺ	E	直
1	土	中	央	栃		内	医		大	医	大
2	日	日	赤	八		角	中		央	中	央
3	月	医	大	高		松	日		赤		
4	火	中	央	友		愛	Ш	久	保		
5	水	日	赤	つ	な	ぎ	医		大		
6	木	医	大	Ш	久	保	中		央		
7	金	中	央	遠		山	医		大		
8	土	医	大	市		立	中		央	中	央
9	日	医	大	栃		内	日		赤	日	赤
10	月	中	央	国		立	医		大		
11	火	日	赤	高		松	Ш	久	保		
12	水	医	大	友		愛	中		央		
13	木	中	央	2	な	ぎ	中		央		
14	金	日	赤	Ш	久	保	医		大		
15	土	医	大	遠		Щ	中		央	中	央
16	日	中	央	市		立	医		大	医	大
17	月	中	央	栃		内	Ħ		赤		
18	火	医	大	Ħ		立.	Ш	久	保		
19	水	中	央	八		角	医		大		
20	木	日	赤	_		愛	_		大		
21	金	医	大	9	な	ぎ	中		央		
22	土	中	央	Ш	久	保	医		大	医	大
23	日	日	赤	遠		Щ	中		央	中	央
24	月	医	大	市		立	日		赤		
25	火	中	央	栃		内	医		大		
26	水	医	大	国		立	中		央		
27	木	医	大	八		角	中		央		
28	金	中	央	_			医		大		
29	土	日	赤	2	な	ぎ	医		大	医	大
30	日	医	大	Щ	久	保	中		央	中	央

医	大	16
中	央	16
日	赤	5
玉	<u> </u>	0
川久	、保	3
合	計	40

医	大	17
中	央	16
日	赤	5
玉	1	0
Ш	久 保	5
合	計	43

医	大	16
中	央	16
日	赤	5
玉	<u> </u>	0
川 /	久保	3
\triangle	#	40

(令和元年7月~9月)

ſ	7	月		二次	救:	急			小児	救急	急
	日	曜日		А		В		宿直		E	直
ſ	1	月	中	央	遠		Щ	医	大		
ſ	2	火	日	赤	市		立	Ш	久 保		
ſ	3	水	医	大	栃		内	中	央		
ſ	4	木	中	央	国		<u>17.</u>	日	赤		
ſ	5	金	中	央	八		角	医	大		
	6	土	医	大	高		松	中	央	中	央
I	7	日	中	央	友		愛	医	大	医	大
	8	月	П	赤	Ш	久	保	中	央		
L	9	火	医	大	遠		Щ	Л	久 保		
	10	水	中	央	市		立	医	大		
	11	木	П	赤	栃		内	中	央		
I	12	金	医	大	国		立	中	央		
I	13	土	中	央	八		角	医	大	医	大
	14	Ш	医	大	高		松	Ш	赤	日	赤
(15)	月	医	大	友		愛	中	央	中	央
I	16	火	中	央	つ	な	ぎ	Ш	久 保		
	17	水	П	赤	遠		Щ	医	大		
I	18	木	医	大	市		立	中	央		
	19	金	毌	央	栃		内	医	大		
L	20	土	日	赤	国		立	中	央	中	央
I	21	日	医	大	八		角	医	大	医	大
	22	月	毌	央	高		松	Ш	赤		
l	23	火	中	央	友		愛	医	大		
L	24	水	医	大	つ	な	ぎ	中	央		
	25	木	中	央	Ш	久	保	医	大		
	26	金	日	赤	市		立	医	大		
	27	土	医	大	栃		内	中	央	中	央
	28	日	中	央	国		立	医	大	医	大
	29	月	Ш	赤	八		角	中	央		
	30	火	医	大	高		松	医	大		
ĺ	31	水	中	央	友		愛	中	央		

8	月	二次救急						小児救急				
日	曜日		А		В		î	官直	Ĺ	E	直直	Ĺ
1	木	医	大	つ	な	ぎ	日		赤			
2	金	医	大	Ш	久	保	中		央			
3	土	中	央	遠		Щ	医		大	医		大
4	日	日	赤	栃		内	中		央	中		央
5	月	医	大	玉		立	医		大			
6	火	中	央	八		角	Ш	久	保			
7	水	日	赤	高		松	医		大			
8	木	医	大	友		愛	中		央			
9	金	中	央	2	な	ぎ	Ħ		赤			
10	土	中	央	Ш	久	保	医		大	医		大
11	日	医	大	遠		Щ	中		央	中		央
(12)	月	中	央	市		<u>\f\</u>	医		大	医		大
13	火	日	赤	玉		立	Ш	久	保			
14	水	医	大	八		角	中		央			
15	木	中	央	高		松	医		大			
16	金	日	赤	友		愛	中		央			
17	土	医	大	0	な	ぎ	日		赤	日		赤
18	日	中	央	Ш	久	保	医		大	医		大
19	月	医	大	遠		山	中		央			
20	火	医	大	市		<u>\f\</u>	Ш	久	保			
21	水	中	央	栃		内	医		大			
22	木	日	赤	八		角	中		央			
23	金	医	大	高		松	日		赤			
24	土	中	央	友		愛	医		大	医		大
25	日	日	赤	0	な	ぎ	中		央	中		央
26	月	医	大	Ш	久	保	医		大			
27	火	中	央	遠		Щ	中		央			
28	水	中	央	市		立	医		大			
29	木	医	大	栃		内	中		央			
30	金	中	央	玉		立	医		大			
31	土	日	赤	高		松	中		央	中		央

9	月		二次	救:	急			/]	、児	救:	a	
日	曜日		А		В		1	盲直	Ĺ		日直	Ĩ
1	日	医	大	友		愛	医		大	医		大
2	月	中	央	つ	な	ぎ	日		赤			
3	火	日	赤	遠		Щ	Ш	久	保			
4	水	医	大	Ш	久	保	中		央			
5	木	中	央	市		立	医		大			
6	金	医	大	栃		内	中		央			
7	土	医	大	国		立	医		大	医		大
8	日	中	央	八		角	医		大	医		大
9	月	田	赤	友		愛	中		央			
10	火	医	大	2	な	ぎ	Ш	久	保			
11	水	医	大	Ш	久	保	医		大			
12	木	日	赤	遠		Щ	中		央			
13	金	医	大	市		<u>17.</u>	医		大			
14	土	中	央	栃		内	中		央	中		央
15	日	中	央	国		立	日		赤	日		赤
(16)	月	医	大	八		角	中		央	中		央
17	火	日	赤	高		松	Л	久	保			
18	水		央	Ç	な	ぎ	中		央			
19	木	П	赤	Ш	久	保	中		央			
20	金	中	央	遠		Щ	日		赤			
21	土	日	赤	市		立	中		央	中		央
22	田	中	央	栃		内	Щ	久	保	Ш	久	保
(23)	月	田	赤	国		立.	中		央	中		央
24	火	中	央	八		角	日		赤			
25	水	医	大	高		松	中		央			
26	木	医	大	友		愛	医		大			
27	金	毌	央	Ш	久	保	医		大			
28	土	医	大	遠		Щ	中		央	中		央
29	ш	中	央	市		立	医		大	医		大
30	月	医	大	栃		内	医		大			

医	大	17
中	央	16
日	赤	4
玉	77	0
<u>川</u> 力	入保	3
合	計	40

医	大	17
中	央	16
日	赤	5
玉	<u> </u>	0
<u> </u>	入保	3
合	計	41

医	大	14
中	央	17
日	赤	5
玉	<u>17</u>	0
川.	久 保	5
		41

(令和元年 10 月~ 12 月)

10	O月		二次	救;	a			/]	児	救急	Ð.	
H	曜日		А		В		î	官直	Ĺ	E	1	Ī
1	火	中	央	国		立	Ш	久	保			
2	水	医	大	八		角	国		立			
3	木	中	央	高		松	日		赤			
4	金	医	大	友		愛	中		央			
5	土	中	央	2	な	ぎ	医		大	医		大
6	日	日	赤	遠		山	中		央	中		央
7	月	医	大	市		$\frac{1}{\sqrt{1}}$	日		赤			
8	火	中	央	栃		内	Ш	久	保			
9	水	日	赤	国		立	医		大			
10	木	医	大	八		角	中		央			
11	金	中	央	高		松	医		大			
12	土	医	大	友		愛	中		央	中		央
13	日	医	大	つ	な	ぎ	医		大	医		大
(14)	月	中	央	川	久		日		赤	日		赤
15	火	日	赤	市		$\frac{1}{\sqrt{1}}$	Ш	久	保			
16	水	医	大	栃		内	国		立			
17	木	中	央	国		立	医		大			
18	金	日	赤	八		角	医		大			
19	土	医	大	高		松	中		央	中		央
20	日	中	央	友		愛	医		大	医		大
21	月	中	央	つ	な	ぎ	医		大			
(22)	火	医	大	川	久	保	中		央	中		央
23	水	中	央	遠		Щ	国		立			
24	木	日	赤	栃		内	中		央			
25	金	医	大	国		立	医		大			
26	土	中	央	八		角	中		央	中		央
27	日	日	赤	高		松	医		大	医		大
28	月	医	大	友		愛	田		赤			
29	火	中	央	つ	な	ぎ	医		大			
30	水	医	大	Ш	久	保	医		大			
31	木	医	大	遠		山	中		央			

1	1月		二次	救急	a		小児救急					
日	曜日		А		В		1	官直	Ĺ		目直	Ĺ
1	金	中	央	市		立	医		大			
2	土	日	赤	玉		<u>17.</u>	中		央	中		央
3	日	医	大	八		角	医		大	医		大
(4)	月	中	央	高		松	医		大	医		大
5	火	日	赤	友		愛	Ш	久	保			
6	水	医	大	0	な	ぎ	玉		$\frac{1}{\sqrt{1}}$			
7	木	中	央	Ш	久	保	医		大			
8	金	中	央	遠		Щ	日		赤			
9	土	医	大	市		立.	中		央	中		央
10	П	中	央	栃		内	医		大	医		大
11	月	日	赤	八		角	中		央			
12	火	医	大	高		松	Ш	久	保			
13	水	中	央	友		愛	国		立			
14	木	日	赤	0	な	ぎ	医		大			
15	金	医	大	Ш	久	保	中		央			
16	土	中	央	遠		Щ	医		大	医		大
17	日	医	大	市		<u>17.</u>	中		央	中		央
18	月	医	大	栃		内	日		赤			
19	火	中	央	玉		立.	Ш	久	保			
20	水	日	赤	高		松	玉		$\frac{1}{\sqrt{1}}$			
21	木	医	大	友		愛	中		央			
22	金	中	央	0	な	ぎ	医		大			
(23)	土	日	赤	Ш	久	保	医		大	医		大
24	П	医	大	遠		Щ	中		央	中		央
25	月	中	央	市		立.	医		大			
26	火	中	央	栃		内	日		赤			
27	水	医	大	国		立	中		央			
28	木	中	央	八		角	医		大			
29	金	日	赤	友		愛	医		大			
30	土	医	大	つ	な	ぎ	中		央	中		央

1:	2月		二次	救:	急			/]	、児	救急		П
日	曜日		А		В		1	官直	Ī	E	直	
1	日	中	央	Ш	久	保	日		赤	日	į	赤
2	月	日	赤	遠		山	中		央			
3	火	医	大	市		立	Ш	久	保			
4	水	中	央	栃		内	国		<u>\f}</u>			
5	木	医	大	国		立	日		赤			
6	金	医	大	八		角	中		央			
7	土	中	央	高		松	医		大	医	-	大
8	日	日	赤	2	な	ぎ	中		央	中	1	央
9	月	医	大	Щ	久	保	医		大			
10	火	中	央	遠		Щ	Ш	久	保			
11	水	日	赤	市		立	国		<u>\frac{1}{1}</u>			
12	木	医	大	栃		内	中		央			
13	金	中	央	玉		立	医		大			
14	土	中	央	八		角	日		赤	日	į	赤
15	日	医	大	高		松	中		央	中	1	央
16	月	中	央	Ш	久	保	医		大			
17	火	H	赤	友		愛	Щ	久	保			
18	水	医	大	遠		臣	国		立			
19	木	中	央	市		$\frac{1}{\sqrt{1}}$	医		大			
20	金	H	赤	栃		内	中		央			
21	土	医	大	国		立	中		央	中	1	央
22	日	中	央	八		角	医		大	医	- 5	大
23	月	医	大	高		松	中		央			
24	火	医	大	友		愛	日		赤			
25	水	中	央	つ	な	ぎ	医		大			
26	木	日	赤	遠		山	中		央			
27	金	医	大	市		立	中		央			
28	土	中	央	栃		内	医		大	医		大
29	Ш	日	赤	国		立	中		央	中		央
30	月	医	大	八		角	田		赤	日		赤
31)	火	中	央	高		松	医		大	医	-	大

医	大	16
中	央	14
日	赤	5
玉	<u> </u>	3
川力	ス 保	3
合	計	41

医	大	17
中	央	14
日	赤	3
玉	<u> </u>	3
川久	保	3
合	計	40

医	大	13
中	央	15
日	赤	8
玉	<u> </u>	3
川.	久保	3
合	計	42

表 4 二次救急患者データ

	月	日		1	日			2	日		3 E	1 #	論番	日	4	日		5	日			6	日			7	日	
	曜	日		E	3			Ę	1			J	<u>ر</u>		7	k		7	<u></u>			ź	È			£		
	病院	名	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院	外 来	入	院	外 来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院
				救急車		救急車		救急車		救急車		改急車		救急車	救急車		救急車	救急車	1	救急車		救急車		救急車		救急車		救急車
		内科系	3	1				1			1				2 3		1	2	1		1	1	1		2	1		
深	AM0	外科系		3			2			1	1	1	1		1			2	1		1							1
	~	小児科			l'''''								l'''''			l					3							
夜	AM6	産 科											1															
		その他									1														1			
П		内科系	1				1	2		2				1		1	3					1		1	1			2
時		外科系	1		ļ			1									 ! !		Ī						1			
間	~	小児科			ļ																1							
外	AM9	産科			ļ												 ! !		Ī									
		その他			<u> </u>										1		Ī											
		内科系																							2		1	
±	AM9	外科系			<u> </u>																							1
曜		小児科																										
日	РМО	産 科																										
		その他																										
		内科系																							6	1	1	
±	РМО	外科系			l'''''																				2		1	1
曜	~	小児科																										
日	PM5	産 科																										
		その他			l																							
		内科系	7	1	1																							
日	АМ9	外科系	5	2	2	4																						
祭	~	小児科	7																									
日	PM5	産 科																										
		その他	4																									
П		内科系	2	2			1		1	2	1			2	1 1			3	2		2	1		1	6			1
時	PM5	外科系		1	1		3	1	1	2	2		<u> </u>		2	<u> </u>	1	2		2	2		1		1	\Box		
間		小児科	5	1													<u> </u>	2	1									
外	PM8	産 科															1											
Ш		その他										1			1			1										
		内科系	2	1		2	3	3		1	3	1			1 1		1	2		2	1			1	5	1		
夜	PM8	外科系	1		1		1				3	1	1	1			<u> </u>	3	1		1			1	3			2
	~	小児科	2		<u> </u>		1		1		Ĭ		<u> </u>			ļ	ļ	1]	
間	PM12	産 科											1															
		その他												1											1			
	合	計	40	12	5	6	12	9	3	8	12	4	4	5	9 5	1	7	16 2	6	4	12	3	2	4	31	3	3	8

二次救急患者(以下二次患者と略記す)データについては表4に示す通り、小児救急患者(以下小児患者と略記す)については表5に示す通りの資料を各二次救急医療病院より各病院事務長の責任において1ヵ月分をまとめ、翌月中旬まで医師会に提出される。

表 5 小児救急患者データ

F	日	1	日草	論番	日		2	日			3	日			4	日		5	日 隼	論番	日		6	日			7	日	
日	星日		E	1			F	1			2	<u>ر</u>			7	k			7	ţ.			3	È				<u> </u>	
疖	院名	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院	外	来	入	院
			教急車		教急車		救急車		教急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車		救急車
深夜	AM0 ~ AM6																	3											
時間外	AM6 ~ AM9																	1								1			
土曜日	AM9 ~ PM0																												
土曜日	PM0 ~ PM5																												
日曜日	AM9 ~ PM5	7																											
時間外	PM5 ~ PM8	5	1															2		1									
時間外	PM8 ~ PM12	2				1		1										1											
4	計	14	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0

表 6 に令和元年の月別の患者数を示した。患者数では昨年平成 30 年を 2,545 名下回った。

受診する患者数は岩手医大が 32.3%、中央病院が 36.3%、赤十字病院が 11.9%で例年通り全体の 80% を占めている。

表7には救急車搬入数を示している。中央病院が5,182件、岩手医大337件、赤十字病院は1,389件となっている。

(高度救命救急センターに搬送した例はすべて三次救急としたため、このデータには含まれていない。)

表 6 病院別・月別二次救急患者年間総数

			年月	2019年												合計	月平均	比率
病	院名			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	(名)	万十岁	(%)
中	央	病	院	1,679	1,328	1,330	1,249	1,522	1,394	1,411	1,568	1,541	1,510	1,446	1,607	17,585	1,465	36.3
日	赤	病	院	592	434	357	424	528	481	527	529	552	409	375	559	5,767	481	11.9
市	立	病	院	104	71	77	82	104	73	117	155	181	197	216	282	1,659	138	3.4
遠	山	病	院	63	50	12	9	8	5	8	9	11	5	10	8	198	17	0.4
八	角	病	院	298	202	162	168	255	155	180	255	183	170	168	240	2,436	203	5.0
岩	手	医	大	1,834	1,361	1,381	1,332	1,703	1,453	1,497	1,726	878	827	805	838	15,635	1,303	32.3
高	松	病	院	14	12	10	20	37	6	17	10	6	15	8	5	160	13	0.3
栃	内	病	院	42	23	25	27	138	31	23	30	84	34	33	47	537	45	1.1
27	なぎぇ	温泉病	肓院	41	46	21	32	80	28	39	58	31	27	34	57	494	41	1.0
友	愛	病	院	115	55	39	53	93	63	76	75	75	61	66	82	853	71	1.8
Ш	久(呆 病	院	201	225	146	96	368	78	93	150	275	180	100	377	2,289	191	4.7
盛岡	司医療	センタ	ター	75	52	47	57	72	64	54	68	82	69	61	78	779	65	1.6
É	ì	Ī	計	5,058	3,859	3,607	3,549	4,908	3,831	4,042	4,633	3,899	3,504	3,322	4,180	48,392	4,033	100

図2 二次救急病院来院患者総数月別分布

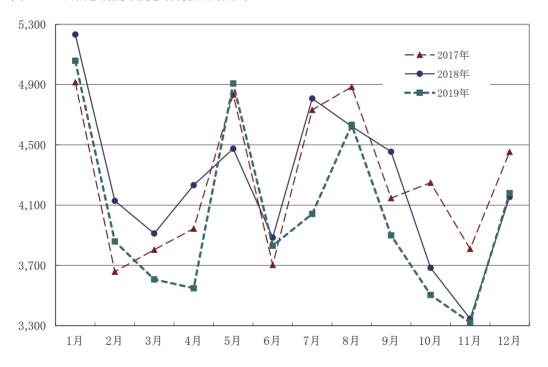


表7 二次救急医療病院における来院患者の実態(年間総数)

2019 年	1月		外	来	入	院	うち救急	急車搬入	総数
	~ 12	2月	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	/hts/ 女义
中 央	病	院	13,571 ^名	33.4 %	4,014 ^名	52.0 %	5,182 ^名	60.2 %	17,585 名
日 赤	病	院	4,540	11.2	1,227	15.9	1,389	16.1	5,767
市立	病	院	1,236	3.0	423	5.5	563	6.5	1,659
遠山	病	院	139	0.3	59	0.8	55	0.6	198
八角	病	院	2,306	5.7	130	1.7	146	1.7	2,436
岩 手	医	大	14,393	35.4	1,242	16.1	337	3.9	15,635
高 松	病	院	108	0.3	52	0.7	90	1.0	160
栃 内	病	院	505	1.2	32	0.4	70	0.8	537
つなぎ	温泉指	ክ院	384	0.9	110	1.4	123	1.4	494
友 愛	病	院	760	1.9	93	1.2	141	1.6	853
川久仙	呆 病	院	2,133	5.2	156	2.0	204	2.4	2,289
盛岡医療	セン	ター	593	1.5	186	2.4	308	3.6	779
合		計	40,668	100	7,724	100	8,608	100	48,392

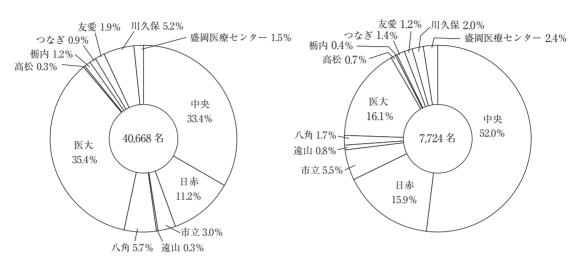
表8 二次救急医療病院における来院患者の実態(月平均)

2019	9年1	月		外	来		入		院	救急	息車	般入	総	計
		~ 1	2月	患	者 数		患	者	数	患	者	数	形的	ПI
中	央	病	院		1,131	名			335 名			432 名		1,465 名
日	赤	病	院		378				102			116		481
市	立	病	院		103				35			47		138
遠	山	病	院		12				5			5		17
八	角	病	院		192				11			12		203
岩	手	医	大		1,199				104			28		1,303
高	松	病	院		9				4			8		13
栃	内	病	院		42				3			6		45
つな	まぎ温	温泉系	房院		32				9			10		41
友	愛	病	院		63				8			12		71
Ш	久化	呆 病	院		178				13			17		191
盛岡	医療	セン	ター		49				16			26		65
É	ì	Ī	†		3,389				644			717		4,033

図3 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院・救急車搬入(表7参照)



< 入 院 >



< 救急車 >

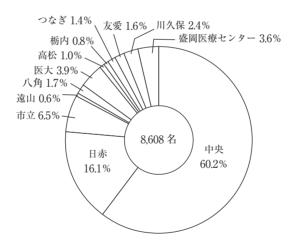


表 9 二次救急医療病院における救急車搬入患者内訳(2019.1~2019.12)その1

時間帯	外	来	入	院	4 1 Di	外	来	入	院
(表 4 参照)	患者数	比 率	患者数	比 率	科 別	患者数	比 率	患者数	比 率
深夜	881	18.1	606	16.2	内科系	2,211	45.4	1,978	52.9
時間外 A	706	14.5	508	13.6	外科系	1,895	38.9	1,460	39.1
土曜日 (1)	135	2.8	146	3.9	その他	764	15.7	300	8.0
土曜日 (2)	275	5.6	215	5.8	計	4,870	(100)	3,738	(100)
日 祭 日	641	13.2	505	13.5					
時間外B	1,117	22.9	1,000	26.8					
夜 間	1.115	22.9	758	20.3					

(100)

図4 二次救急医療病院における救急車搬入内訳

(100)

3,738

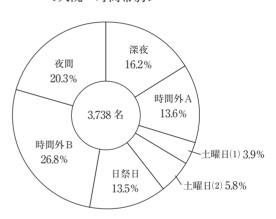
<外来・時間帯別>

4.870

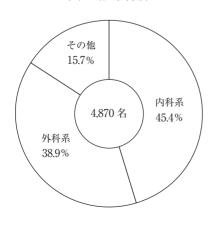
計

夜間 深夜 18.1% 22.9% 4,870 名 時間外A 14.5% 時間外B 22.9% 土曜日(1) 2.8% 土曜日(2) 5.6%

<入院・時間帯別>



<外来・診療科別>



<入院・診療科別>

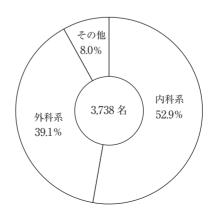


表 10 二次救急医療病院における病院別救急車搬入患者内訳(2019.1~2019.12)

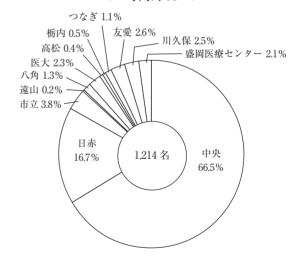
	深	夜	時間	外A	土曜	日 (1)	土曜	日 (2)	日祭	等 目	時間	外B	夜	間	総	合
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
中央病院	947	63.7	807	66.5	165	58.7	268	54.7	621	54.2	1,225	57.9	1,149	61.3	5,182	60.2
日 赤 病 院	183	12.3	203	16.7	49	17.4	92	18.8	214	18.7	365	17.2	283	15.1	1,389	16.1
市立病院	83	5.6	46	3.8	22	7.8	34	6.9	87	7.6	157	7.4	134	7.2	563	6.5
遠山病院	25	1.7	2	0.2	0	0.0	1	0.2	5	0.4	6	0.3	16	0.9	55	0.6
八角病院	17	1.1	16	1.3	6	2.1	14	2.9	31	2.7	32	1.5	30	1.6	146	1.7
岩手医大	69	4.6	28	2.3	9	3.2	19	3.9	34	3.0	89	4.2	89	4.8	337	3.9
高松病院	12	0.8	5	0.4	8	2.8	7	1.4	22	1.9	28	1.3	8	0.4	90	1.0
栃内病院	16	1.1	6	0.5	0	0.0	0	0.0	3	0.3	27	1.3	18	1.0	70	0.8
つなぎ温泉病院	17	1.1	13	1.1	2	0.7	8	1.6	22	1.9	28	1.3	33	1.8	123	1.4
友愛病院	24	1.6	32	2.6	6	2.1	9	1.8	18	1.6	33	1.6	19	1.0	141	1.6
川久保病院	46	3.1	30	2.5	0	0.0	8	1.6	21	1.8	53	2.5	46	2.5	204	2.4
盛岡医療センター	48	3.2	26	2.1	14	5.0	30	6.1	68	5.9	74	3.5	48	2.6	308	3.6
合 計	1,487	(100)	1,214	(100)	281	(100)	490	(100)	1,146	(100)	2,117	(100)	1,873	(100)	8,608	(100)

図5 二次救急医療病院における病院別、時間帯毎の救急車搬入内訳

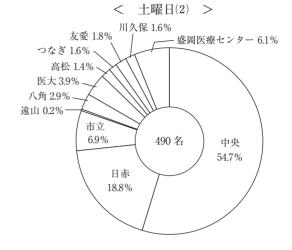


つなぎ 1.1% 友愛 1.6% 川久保 3.1% 栃内 1.1% 高松 0.8% 医大 4.6% 八角 1.1% 遠山 1.7% 市立 5.6%

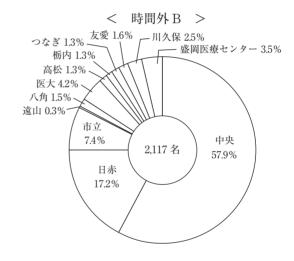
< 時間外 A >

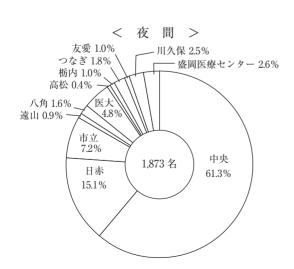


土曜日(1) > 方変 2.1% 高松 2.8% 医大 3.2% 八角 2.1% 市立 7.8% 281 名 中央 58.7%



< 日祭日 > 友愛 1.6% -川久保 1.8% つなぎ 1.9% — 盛岡医療センター 5.9% 栃内 0.3% 高松 1.9%、 医大 3.0% > 八角 2.7% < 遠山 0.4% ~ 市立 中央 7.6% 1,146 名 54.2% 日赤 18.7%





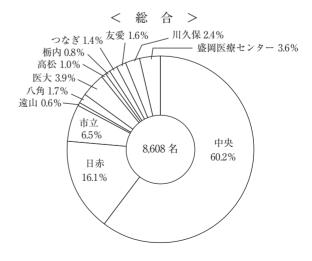


表 11 二次救急医療病院における外来・入院総合分布(系別による分類 [)

年 間 総	*4	総		合	月	平	均
平 间 心	奴	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内科系	5,466	2,146	7,612	455.5	178.8	634.3
中央病院	外科系	5,071	1,245	6,316	422.6	103.8	526.3
	その他	3,034	623	3,657	252.8	51.9	304.8
	内科系	1,313	352	1,665	109.4	29.3	138.8
日 赤 病 院	外科系	2,333	707	3,040	194.4	58.9	253.3
	その他	894	168	1,062	74.5	14.0	88.5
	内科系	579	214	793	48.3	17.8	66.1
市立病院	外科系	652	206	858	54.3	17.2	71.5
	その他	5	3	8	0.4	0.3	0.7
	内科系	98	54	152	8.2	4.5	12.7
遠 山 病 院	外科系	38	5	43	3.2	0.4	3.6
	その他	3	0	3	0.3	0.0	0.3
	内科系	1,915	118	2,033	159.6	9.8	169.4
八角病院	外科系	391	11	402	32.6	0.9	33.5
	その他	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	内科系	5,092	474	5,566	424.3	39.5	463.8
岩 手 医 大	外科系	5,783	276	6,059	481.9	23.0	504.9
	その他	3,518	492	4,010	293.2	41.0	334.2
	内科系	22	13	35	1.8	1.1	2.9
高 松 病 院	外科系	86	39	125	7.2	3.3	10.4
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	9	4	13	0.8	0.3	1.1
栃 内 病 院	外科系	496	28	524	41.3	2.3	43.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	371	109	480	30.9	9.1	40.0
つなぎ温泉病院	外科系	13	1	14	1.1	0.1	1.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	453	57	510	37.8	4.8	42.5
友 愛 病 院	外科系	132	20	152	11.0	1.7	12.7
	その他	175	16	191	14.6	1.3	15.9
	内科系	786	145	931	65.5	12.1	77.6
川久保病院	外科系	13	0	13	1.1	0.0	1.1
	その他	1,334	11	1,345	111.2	0.9	112.1
	内科系	152	88	240	12.7	7.3	20.0
国立盛岡医療センター	外科系	441	98	539	36.8	8.2	44.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	16,256	3,774	20,030	1,354.7	314.5	1,669.2
合 計	外科系	15,449	2,636	18,085	1,287.4	219.7	1,507.1
	その他	8,963	1,314	10,277	746.9	109.5	856.4
総合計		40,668	7,724	48,392	3,389.0	643.7	4,032.7
総合計				1日平均	111.4	21.2	132.6

表 12 二次救急医療病院における来院患者の総合分布(系別による分類Ⅱ)

病院名	内 和	斗 系	外和	斗 系	その	他
	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
中 央 病 院	7,612	38.0	6,316	34.9	3,657	35.6
日 赤 病 院	1,665	8.3	3,040	16.8	1,062	10.3
市立病院	793	4.0	858	4.7	8	0.1
遠 山 病 院	152	0.8	43	0.2	3	0.03
八角病院	2,033	10.1	402	2.2	1	0.01
岩手医大	5,566	27.8	6,059	33.5	4,010	39.0
高松病院	35	0.2	125	0.7	0	0.0
栃 内 病 院	13	0.1	524	2.9	0	0.0
つなぎ温泉病院	480	2.4	14	0.1	0	0.0
友 愛 病 院	510	2.5	152	0.8	191	1.9
川久保病院	931	4.6	13	0.1	1,345	13.1
国立盛岡医療センター	240	1.2	539	3.0	0	0.0
合 計	20,030	(100)	18,085	(100)	10,277	(100)

図6 二次救急医療病院における来院患者の総合分布(系別による分類)

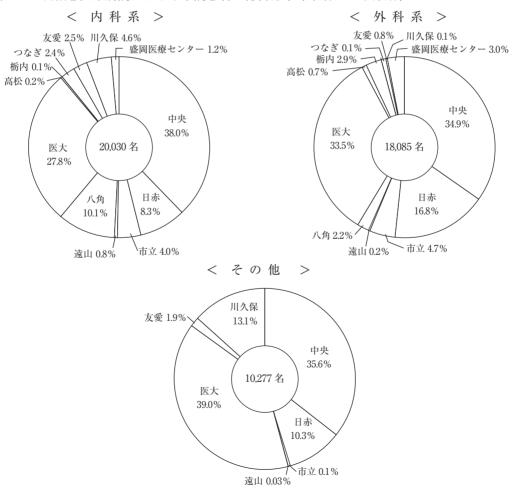


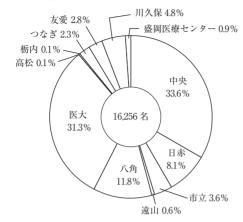
表 13 二次救急医療病院における来院患者の総合分布(系別による分類 II)

			外	-	来		入 院				院	
病院名	内科系		外科系		その他		内科系		外科系		その他	
	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率	患者数	比率
中央病院	5,466	33.6	5,071	32.8	3,034	33.9	2,146	56.9	1,245	47.2	623	47.4
日赤病院	1,313	8.1	2,333	15.1	894	10.0	352	9.3	707	26.8	168	12.8
市立病院	579	3.6	652	4.2	5	0.06	214	5.7	206	7.8	3	0.2
遠山病院	98	0.6	38	0.2	3	0.03	54	1.4	5	0.2	0	0.0
八角病院	1,915	11.8	391	2.5	0	0.0	118	3.1	11	0.4	1	0.1
岩手医大	5,092	31.3	5,783	37.4	3,518	39.3	474	12.6	276	10.5	492	37.4
高松病院	22	0.1	86	0.6	0	0.0	13	0.3	39	1.5	0	0.0
栃内病院	9	0.06	496	3.2	0	0.0	4	0.1	28	1.1	0	0.0
つなぎ温泉病院	371	2.3	13	0.1	0	0.0	109	2.9	1	0.04	0	0.0
友愛病院	453	2.8	132	0.9	175	2.0	57	1.5	20	0.8	16	1.2
川久保病院	786	4.8	13	0.1	1,334	14.9	145	3.8	0	0.0	11	0.8
国立盛岡医療センター	152	0.9	441	2.9	0	0.0	88	2.3	98	3.7	0	0.0
合 計	16,256	(100)	15,449	(100)	8,963	(100)	3,774	(100)	2,636	(100)	1,314	(100)

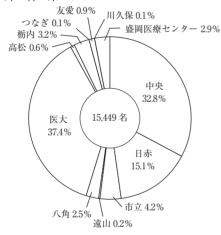
図7 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院病院別分布

<外来分布>

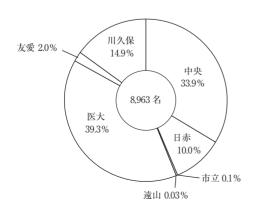
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

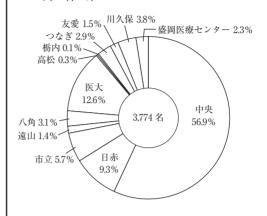


< そ の 他 >

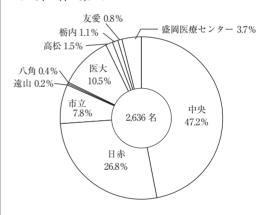


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

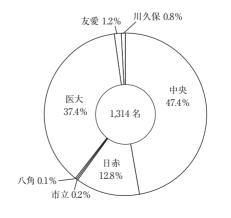
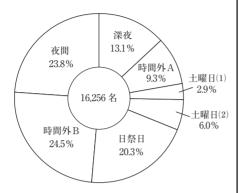


表 14 二次救急医療病院における来院患者の外来・入院時間別分布 (2019.1~2019.12)

		外	来	入 院			
		患 者 数	比 率	患 者 数	比 率		
	深夜	2,130	13.1	534	14.1		
	時 間 外A	1,517	9.3	446	11.8		
内	土 曜 日(1)	478	2.9	154	4.1		
科	土 曜 日 (2)	979	6.0	269	7.1		
177	日 祭 日	3,301	20.3	578	15.3		
系	時 間 外B	3,980	24.5	1,079	28.6		
	夜 間	3,871	23.8	714	18.9		
	計	16,256	100	3,774	100		
	深夜	1,278	8.3	329	12.5		
	時 間 外 A	1,203	7.8	308	11.7		
外	土 曜 日(1)	625	4.0	148	5.6		
科	土 曜 日 (2)	1,187	7.7	174	6.6		
177	日 祭 日	3,364	21.8	413	15.7		
系	時 間 外B	4,127	26.7	726	27.5		
l .	夜 間	3,665	23.7	538	20.4		
	計	15,449	100	2,636	100		
	深夜	1,212	13.5	231	17.6		
	時 間 外A	599	6.7	115	8.8		
そ	土 曜 日(1)	159	1.8	54	4.1		
の	土 曜 日 (2)	549	6.1	90	6.8		
	日 祭 日	1,834	20.5	208	15.8		
他	時 間 外B	2,268	25.3	347	26.4		
	夜 間	2,342	26.1	269	20.5		
	計	8,963	100	1,314	100		
	総 計	40,668		7,724			

<外来分布>

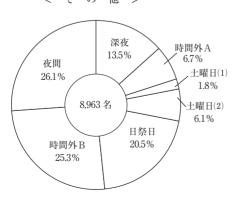
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

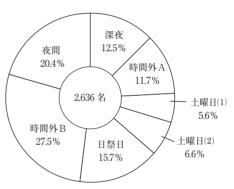


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

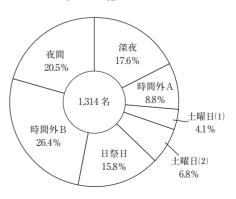


図 9 二次救急医療病院における時間帯別外来患者比率 (2019.1~2019.12)

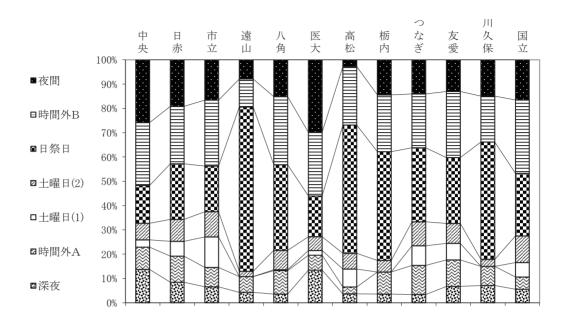


図 10 二次救急医療病院における時間帯別入院患者比率 (2019.1 ~ 2019.12)

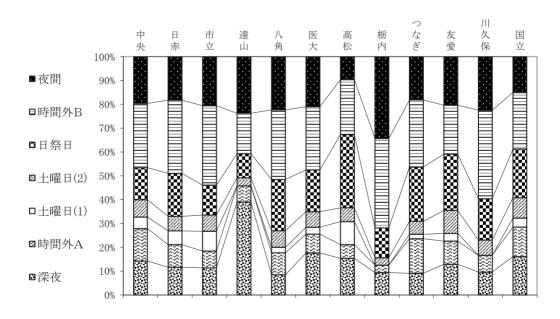


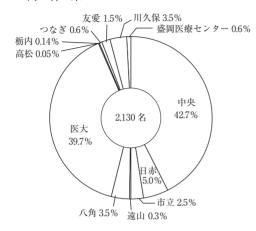
表 15 二次体制 40 年目の外来・入院分布(深夜)

深夜	2019.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM0 \sim AM6)$	2019.12	外 来	入 院	総 合	外来	入 院	総合
中央病院	内 科 系	910	292	1,202	75.8	24.3	100.2
	外科系	529	174	703	44.1	14.5	58.6
	その他	424	106	530	35.3	8.8	44.2
	内科系	107	41	148	8.9	3.4	12.3
日 赤 病 院	外科系	159	79	238	13.3	6.6	19.8
	その他	118	23	141	9.8	1.9	11.8
	内科系	53	27	80	4.4	2.3	6.7
市立病院	外科系	28	20	48	2.3	1.7	4.0
	その他	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	内科系	6	23	29	0.5	1.9	2.4
遠 山 病 院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	74	10	84	6.2	0.8	7.0
八角病院	外科系	8	0	8	0.7	0.0	0.7
	その他	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	内科系	845	87	932	70.4	7.3	77.7
岩手医大	外科系	513	34	547	42.8	2.8	45.6
	その他	575	98	673	47.9	8.2	56.1
	内科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
高松病院	外科系	3	8	11	0.3	0.7	0.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	3	1	4	0.3	0.1	0.3
栃 内 病 院	外科系	15	2	17	1.3	0.2	1.4
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	13	10	23	1.1	0.8	1.9
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	32	9	41	2.7	0.8	3.4
友 愛 病 院	外科系	2	1	3	0.2	0.1	0.3
	その他	17	2	19	1.4	0.2	1.6
	内 科 系	74	15	89	6.2	1.3	7.4
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	78	0	78	6.5	0.0	6.5
	内 科 系	12	19	31	1.0	1.6	2.6
国立盛岡医療センター	外科系	21	11	32	1.8	0.9	2.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	2,130	534	2,664	177.5	44.5	222.0
合 計	外科系	1,278	329	1,607	106.5	27.4	133.9
	その他	1,212	231	1,443	101.0	19.3	120.3
- 人 - ○		4,620	1,094	5,714	385.0	91.2	476.2
総 合 計		·		1日平均	12.7	3.0	15.7

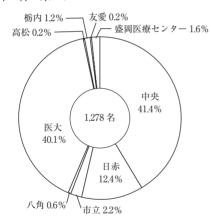
図 11 二次体制 40 年目の外来・入院分布 (深夜)

<外来分布>

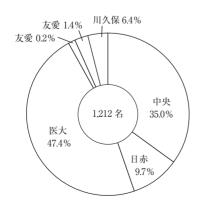
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

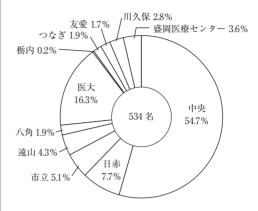


< そ の 他 >

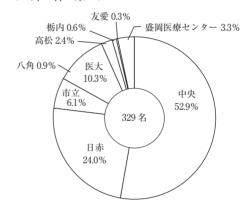


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< そ の 他 >

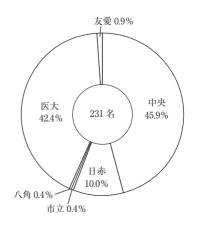
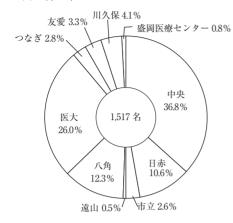


表 16 二次体制 40 年目の外来·入院分布(時間外A)

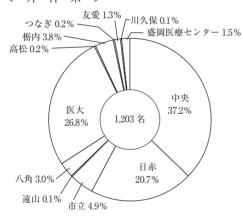
時間外A	2019.1 ~	総		合	月	平	均
$({\rm AM6}\sim{\rm AM9})$	2019.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
中央病院	内 科 系	559	316	875	46.6	26.3	72.9
	外 科 系	448	169	617	37.3	14.1	51.4
	その他	236	61	297	19.7	5.1	24.8
	内 科 系	161	27	188	13.4	2.3	15.7
日 赤 病 院	外科系	249	73	322	20.8	6.1	26.8
	その他	77	16	93	6.4	1.3	7.8
	内 科 系	40	14	54	3.3	1.2	4.5
市立病院	外科系	59	16	75	4.9	1.3	6.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	8	3	11	0.7	0.3	0.9
遠 山 病 院	外科系	1	1	2	0.1	0.1	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	187	11	198	15.6	0.9	16.5
八角病院	外科系	36	1	37	3.0	0.1	3.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	395	34	429	32.9	2.8	35.8
岩 手 医 大	外科系	323	28	351	26.9	2.3	29.3
	その他	164	36	200	13.7	3.0	16.7
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
高 松 病 院	外科系	3	3	6	0.3	0.3	0.5
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	外科系	46	1	47	3.8	0.1	3.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	43	15	58	3.6	1.3	4.8
つなぎ温泉病院	外科系	3	1	4	0.3	0.1	0.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	50	7	57	4.2	0.6	4.8
友 愛 病 院	外科系	16	0	16	1.3	0.0	1.3
	その他	17	2	19	1.4	0.2	1.6
	内 科 系	62	11	73	5.2	0.9	6.1
川久保病院	外科系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	105	0	105	8.8	0.0	8.8
	内 科 系	12	8	20	1.0	0.7	1.7
国立盛岡医療センター	外科系	18	15	33	1.5	1.3	2.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	1,517	446	1,963	126.4	37.2	163.6
合 計	外科系	1,203	308	1,511	100.3	25.7	125.9
·	その他	599	115	714	49.9	9.6	59.5
*- A 714		3,319	869	4,188	276.6	72.4	349.0
総 合 計				1日平均	9.1	2.4	11.5

<外来分布>

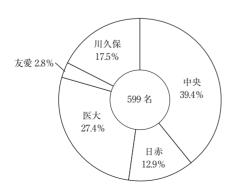
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

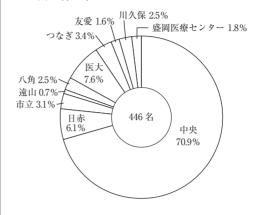


< そ の 他 >

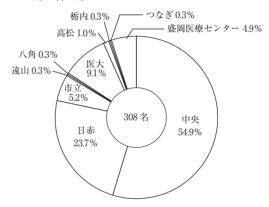


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

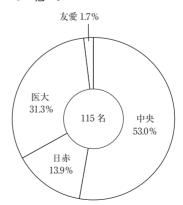


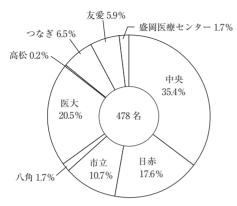
表 17 二次体制 40 年目の外来・入院分布(土曜日(1))

土曜日 (1)	2019.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM9 \sim PM0)$	2019.12	外 来	入 院	総合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	169	98	267	14.1	8.2	22.3
中央病院	外科系	191	62	253	15.9	5.2	21.1
	その他	51	34	85	4.3	2.8	7.1
	内 科 系	84	20	104	7.0	1.7	8.7
日 赤 病 院	外科系	150	44	194	12.5	3.7	16.2
	その他	43	7	50	3.6	0.6	4.2
	内 科 系	51	14	65	4.3	1.2	5.4
市立病院	外 科 系	101	20	121	8.4	1.7	10.1
	その他	3	1	4	0.3	0.1	0.3
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
遠山病院	外 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	8	2	10	0.7	0.2	0.8
八角病院	外 科 系	1	1	2	0.1	0.1	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	98	12	110	8.2	1.0	9.2
岩 手 医 大	外科系	138	12	150	11.5	1.0	12.5
	その他	48	12	60	4.0	1.0	5.0
	内 科 系	1	1	2	0.1	0.1	0.2
高 松 病 院	外科系	7	4	11	0.6	0.3	0.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	31	2	33	2.6	0.2	2.8
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	28	2	30	2.3	0.2	2.5
友 愛 病 院	外科系	10	1	11	0.8	0.1	0.9
	その他	14	0	14	1.2	0.0	1.2
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	8	3	11	0.7	0.3	0.9
国立盛岡医療センター	外科系	27	4	31	2.3	0.3	2.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	478	154	632	39.8	12.8	52.7
合 計	外科系	625	148	773	52.1	12.3	64.4
	その他	159	54	213	13.3	4.5	17.8
1: A 2%		1,262	356	1,618	105.2	29.7	134.8
総 合 計				1日平均	3.5	1.0	4.4

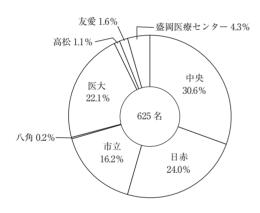
図 13 二次体制 40 年目の外来・入院分布(土曜日(1))

<外来分布>

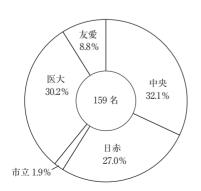
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

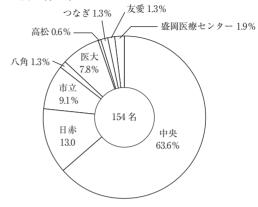


< そ の 他 >

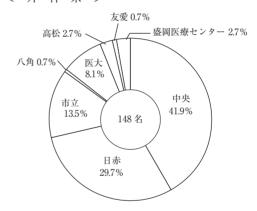


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

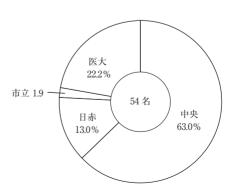


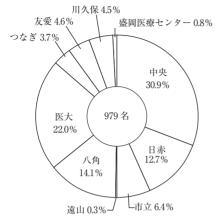
表 18 二次体制 40 年目の外来・入院分布(土曜日(2))

土曜日 (2)	2019.1 ~	総		合	月	平	均
$(PM0 \sim PM5)$	2019.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	303	154	457	25.3	12.8	38.1
中央病院	外科系	379	79	458	31.6	6.6	38.2
	その他	238	59	297	19.8	4.9	24.8
	内科系	124	20	144	10.3	1.7	12.0
日 赤 病 院	外科系	250	47	297	20.8	3.9	24.8
	その他	37	8	45	3.1	0.7	3.8
	内 科 系	63	19	82	5.3	1.6	6.8
市立病院	外科系	64	10	74	5.3	0.8	6.2
	その他	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	内 科 系	3	2	5	0.3	0.2	0.4
遠山病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	138	6	144	11.5	0.5	12.0
八角病院	外科系	45	3	48	3.8	0.3	4.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	215	39	254	17.9	3.3	21.2
岩 手 医 大	外科系	350	23	373	29.2	1.9	31.1
	その他	248	19	267	20.7	1.6	22.3
	内 科 系	0	1	1	0.0	0.1	0.1
高 松 病 院	外 科 系	7	2	9	0.6	0.2	0.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
栃 内 病 院	外科系	24	1	25	2.0	0.1	2.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	36	6	42	3.0	0.5	3.5
つなぎ温泉病院	外科系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	45	6	51	3.8	0.5	4.3
友 愛 病 院	外科系	9	0	9	0.8	0.0	0.8
	その他	8	3	11	0.7	0.3	0.9
	内 科 系	44	9	53	3.7	0.8	4.4
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	17	1	18	1.4	0.1	1.5
	内 科 系	8	7	15	0.7	0.6	1.3
国立盛岡医療センター	外科系	57	9	66	4.8	0.8	5.5
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	979	269	1,248	81.6	22.4	104.0
合 計	外科系	1,187	174	1,361	98.9	14.5	113.4
	その他	549	90	639	45.8	7.5	53.3
総 合 計		2,715	533	3,248	226.3	44.4	270.7
ло, П Ц				1日平均	7.4	1.5	8.9

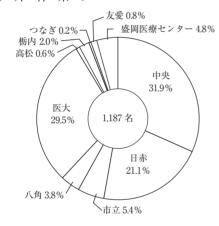
図 14 二次体制 40 年目の外来・入院分布(土曜日(2))

<外来分布>

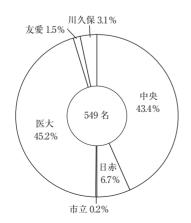
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

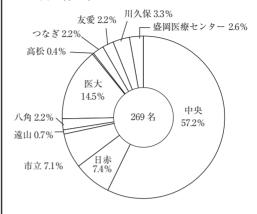


< そ の 他 >

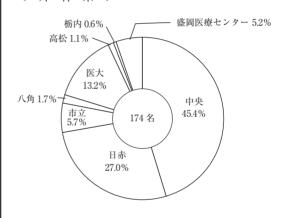


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

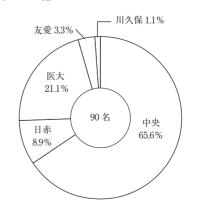
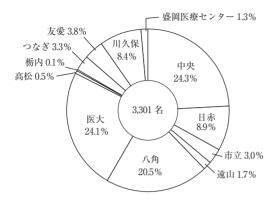


表 19 二次体制 40 年目の外来・入院分布(日祭日)

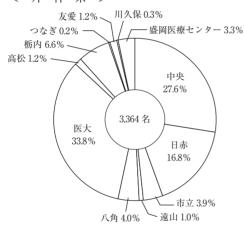
日 祭 日	2019.1 ~	総		合	月	平	均
$(AM9 \sim PM5)$	2019.12	外 来	入 院	総 合	外 来	入 院	総 合
	内 科 系	802	284	1,086	66.8	23.7	90.5
中央病院	外科系	927	180	1,107	77.3	15.0	92.3
	その他	387	77	464	32.3	6.4	38.7
	内 科 系	294	71	365	24.5	5.9	30.4
日 赤 病 院	外科系	565	106	671	47.1	8.8	55.9
	その他	180	44	224	15.0	3.7	18.7
	内 科 系	100	26	126	8.3	2.2	10.5
市立病院	外科系	132	26	158	11.0	2.2	13.2
	その他	0	1	1	0.0	0.1	0.1
	内 科 系	57	5	62	4.8	0.4	5.2
遠山病院	外科系	34	1	35	2.8	0.1	2.9
	その他	3	0	3	0.3	0.0	0.3
	内 科 系	677	28	705	56.4	2.3	58.8
八角病院	外科系	136	0	136	11.3	0.0	11.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	797	80	877	66.4	6.7	73.1
岩 手 医 大	外科系	1,138	60	1,198	94.8	5.0	99.8
	その他	481	78	559	40.1	6.5	46.6
	内 科 系	16	8	24	1.3	0.7	2.0
高 松 病 院	外科系	41	8	49	3.4	0.7	4.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	3	0	3	0.3	0.0	0.3
栃 内 病 院	外科系	223	4	227	18.6	0.3	18.9
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	110	25	135	9.2	2.1	11.3
つなぎ温泉病院	外科系	7	0	7	0.6	0.0	0.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	126	13	139	10.5	1.1	11.6
友 愛 病 院	外 科 系	40	4	44	3.3	0.3	3.7
	その他	40	5	45	3.3	0.4	3.8
	内 科 系	277	24	301	23.1	2.0	25.1
川久保病院	外科系	10	0	10	0.8	0.0	0.8
	その他	743	3	746	61.9	0.3	62.2
	内 科 系	42	14	56	3.5	1.2	4.7
国立盛岡医療センター	外科系	111	24	135	9.3	2.0	11.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	3,301	578	3,879	275.1	48.2	323.3
合 計	外 科 系	3,364	413	3,777	280.3	34.4	314.8
	その他	1,834	208	2,042	152.8	17.3	170.2
総 合 計		8,499	1,199	9,698	708.3	99.9	808.2
ли Ц П П				1日平均	23.3	3.3	26.6

<外来分布>

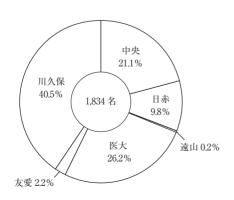
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

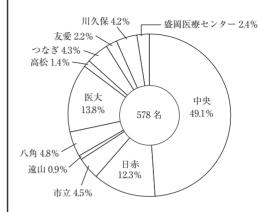


< そ の 他 >

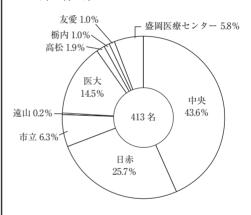


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< そ の 他 >

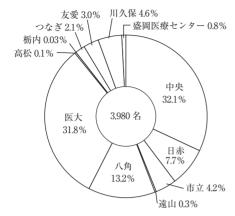


表 20 二次体制 40 年目の外来・入院分布 (時間外 B)

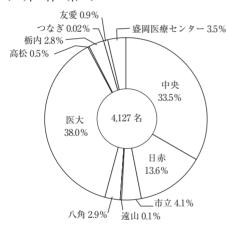
時間外B	2019.1 ~	総		合	月	平	均
$(\mathrm{PM5} \sim \mathrm{PM8})$	2019.12	外 来	入 院	総合	外 来	入 院	総合
	内 科 系	1,277	587	1,864	106.4	48.9	155.3
中央病院	外科系	1,384	335	1,719	115.3	27.9	143.3
	その他	852	159	1,011	71.0	13.3	84.3
	内 科 系	306	122	428	25.5	10.2	35.7
日 赤 病 院	外科系	560	214	774	46.7	17.8	64.5
	その他	206	41	247	17.2	3.4	20.6
	内 科 系	167	80	247	13.9	6.7	20.6
市立病院	外科系	168	61	229	14.0	5.1	19.1
	その他	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	内 科 系	13	9	22	1.1	0.8	1.8
遠 山 病 院	外科系	3	1	4	0.3	0.1	0.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	527	34	561	43.9	2.8	46.8
八角病院	外科系	120	4	124	10.0	0.3	10.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	1,266	125	1,391	105.5	10.4	115.9
岩 手 医 大	外科系	1,568	65	1,633	130.7	5.4	136.1
	その他	939	139	1,078	78.3	11.6	89.8
	内 科 系	4	3	7	0.3	0.3	0.6
高 松 病 院	外科系	22	9	31	1.8	0.8	2.6
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	1	1	2	0.1	0.1	0.2
栃 内 病 院	外科系	117	11	128	9.8	0.9	10.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	84	31	115	7.0	2.6	9.6
つなぎ温泉病院	外 科 系	1	0	1	0.1	0.0	0.1
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	118	11	129	9.8	0.9	10.8
友 愛 病 院	外 科 系	38	6	44	3.2	0.5	3.7
	その他	51	2	53	4.3	0.2	4.4
	内 科 系	184	52	236	15.3	4.3	19.7
川久保病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	219	6	225	18.3	0.5	18.8
	内 科 系	33	24	57	2.8	2.0	4.8
国立盛岡医療センター	外 科 系	146	20	166	12.2	1.7	13.8
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	3,980	1,079	5,059	331.7	89.9	421.6
合 計	外科系	4,127	726	4,853	343.9	60.5	404.4
	その他	2,268	347	2,615	189.0	28.9	217.9
1: A 20		10,375	2,152	12,527	864.6	179.3	1,043.9
総 合 計				1 日平均	28.4	5.9	34.3

<外来分布>

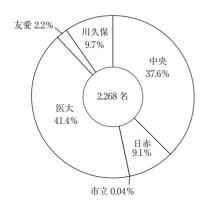
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

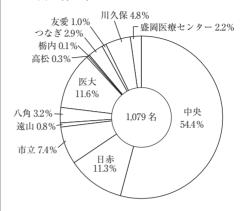


< そ の 他 >

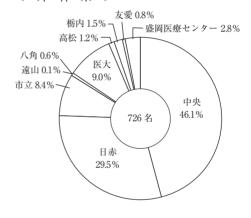


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

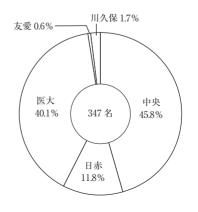
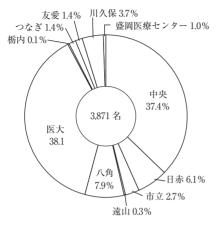


表 21 二次体制 40 年目の外来・入院分布(夜間)

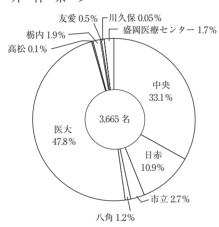
夜間	2019.1~	総			月	平	
$(PM8 \sim PM12)$	2019.12	外 来	入 院	総 合	外来	入 院	総 合
	内 科 系	1,446	415	1,861	120.5	34.6	155.1
中央病院	外科系	1,213	246	1,459	101.1	20.5	121.6
1 20 773 124	その他	846	127	973	70.5	10.6	81.1
	内科系	237	51	288	19.8	4.3	24.0
日 赤 病 院	外科系	400	144	544	33.3	12.0	45.3
1 33. 713 126	その他	233	29	262	19.4	2.4	21.8
	内科系	105	34	139	8.8	2.8	11.6
市立病院	外科系	100	53	153	8.3	4.4	12.8
7/3 1/2	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	11	12	23	0.9	1.0	1.9
遠 山 病 院	外科系	0	2	2	0.0	0.2	0.2
,,, ,,,	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	304	27	331	25.3	2.3	27.6
八角病院	外科系	45	2	47	3.8	0.2	3.9
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内科系	1,476	97	1,573	123.0	8.1	131.1
岩手医大	外科系	1,753	54	1,807	146.1	4.5	150.6
	その他	1,063	110	1,173	88.6	9.2	97.8
	内 科 系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
高 松 病 院	外科系	3	5	8	0.3	0.4	0.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	2	2	4	0.2	0.2	0.3
栃 内 病 院	外 科 系	71	9	80	5.9	0.8	6.7
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	54	20	74	4.5	1.7	6.2
つなぎ温泉病院	外科系	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	54	9	63	4.5	0.8	5.3
友 愛 病 院	外科系	17	8	25	1.4	0.7	2.1
	その他	28	2	30	2.3	0.2	2.5
	内 科 系	145	34	179	12.1	2.8	14.9
川久保病院	外 科 系	2	0	2	0.2	0.0	0.2
	その他	172	1	173	14.3	0.1	14.4
	内 科 系	37	13	50	3.1	1.1	4.2
国立盛岡医療センター	外科系	61	15	76	5.1	1.3	6.3
	その他	0	0	0	0.0	0.0	0.0
	内 科 系	3,871	714	4,585	322.6	59.5	382.1
合 計	外科系	3,665	538	4,203	305.4	44.8	350.3
	その他	2,342	269	2,611	195.2	22.4	217.6
		9,878	1,521	11,399	823.2	126.8	949.9
総 合 計				1日平均	27.1	4.2	31.2

<外来分布>

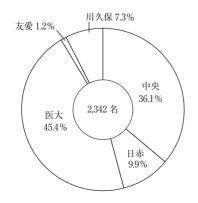
< 内 科 系 >



< 外 科 系 >

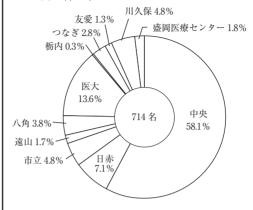


< そ の 他 >

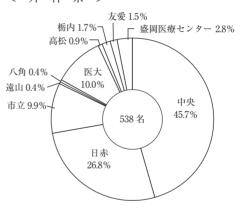


< 入院分布>

< 内 科 系 >



< 外 科 系 >



< その他 >

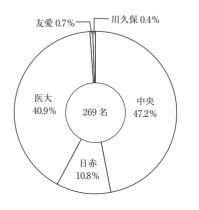


表 22 盛岡地区二次救急患者動態(前年との比較)

岸 险 夕	外来息	是者数	入院息	是者数	救急車搬	入患者数	総	数
病院名	平成 30 年	令和元年	平成 30 年	令和元年	平成 30 年	令和元年	平成 30 年	令和元年
中央病院	13,848	13,571	3,916	4,014	5,348	5,182	17,764	17,585
日赤病院	4,643	4,540	1,411	1,227	1,460	1,389	6,054	5,767
市立病院	658	1,236	281	423	287	563	939	1,659
遠山病院	236	139	77	59	61	55	313	198
八角病院	2,061	2,306	138	130	164	146	2,199	2,436
岩手医大	17,622	14,393	1,373	1,242	465	337	18,995	15,635
高松病院	124	108	76	52	163	90	200	160
栃内病院	472	505	39	32	112	70	511	537
つなぎ温泉病院	429	384	134	110	132	123	563	494
友愛病院	611	760	63	93	109	141	674	853
川久保病院	1,943	2,133	135	156	191	204	2,078	2,289
盛岡医療センター	506	593	141	186	239	308	647	779
合 計	43,153	40,668	7,784	7,724	8,731	8,608	50,937	48,392

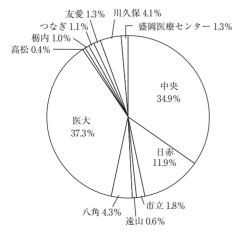
(高度救命救急センターに搬送した例はすべて三次救急としたため、このデータには含まれていない。)

図 18 二次救急患者病院別分布(前年との比較)

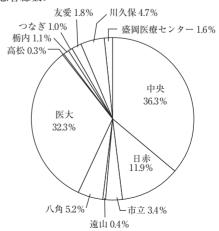
<平成 30 年>

<令和元年>

<患者総数>



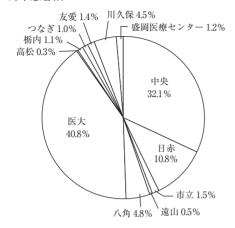
<患者総数>



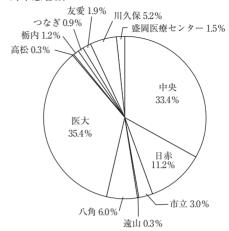
<平成 30 年>

<令和元年>

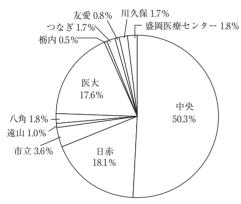
<外来患者数>



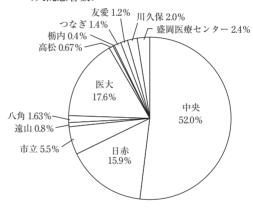
<外来患者数>



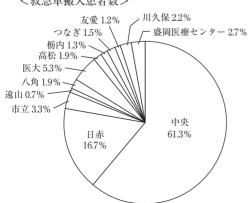
<入院患者数>



<入院患者数>



<救急車搬入患者数>



<救急車搬入患者数>

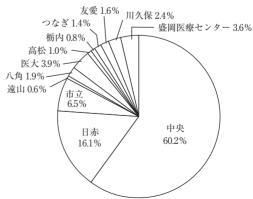
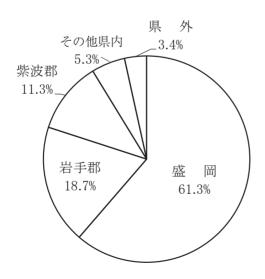


表 23 市町村別二次救急患者動態 (2019年1月~12月)

市	町 村	外 来	入 院	合 計
盛	岡	25,376	4,303	29,679
雫	石	905	255	1,160
葛	巻	56	33	89
岩	手	1,138	239	1,377
滝	沢	3,843	752	4,595
紫	波	2,323	532	2,855
矢	巾	2,224	374	2,598
八	幡平	1,483	330	1,813
その	他県内	1,880	677	2,557
県	外	1,440	229	1,669
合	計	40,668	7,724	48,392

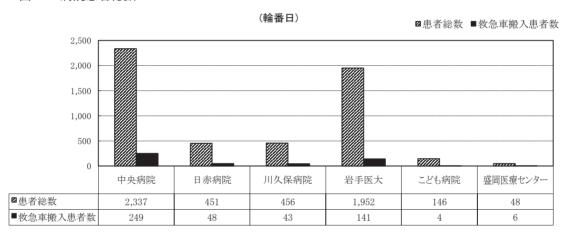
図 19 〈地区別患者比率〉

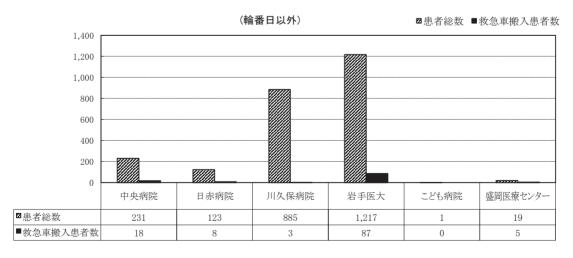


小児救急病院群輪番制 20 年目のまとめ

図 20~ 22 および表 24~ 27 に小児救急病院別の輪番日の受診者数と輪番日以外の受診者数、各病院別受診者数を示す。小児救急患者の総数は 7,866 名で、うち救急車搬入患者数は 612 名 (7.8%) であった。輪番日の受診者数は 5,390 名 (総数の 68.5%)、救急車搬入数 491 名 (輪番日受診者の 9.1%)、1 コマ単位平均 11.0 人であった。輪番日以外の受診者数は 2,476 名 (総数の 31.5%)、救急車搬入数 121 名 (輪番日以外受診者の 4.9%)、1 コマ単位平均 1.19 人であった。病院別では、総数では岩手医大が 3,169 名 (40.3%) と最も多く、1 コマ平均では医大が 14.41 人、中央病院が 13.36 人と多かった。入院を必要とした患者は平均 1.5 人であった。

図 20 病院患者総数





※※もりおかこども病院は平成31年4月より診療所化のため脱退 国立盛岡医療センターは平成14年9月より休止していたが令和元年10月より再開

表 24 小児救急患者病院別合計表 (輪番日)

平成31年1月~令和元年12月

, <u>+</u>	17/ ->-	外	来	入	院		総	数	
病	院	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	うち救急車 搬入患者数	比 率
中 央	病院	1,959	41.6	378	55.3	2,337	43.4	249	50.7
日 赤	病 院	386	8.2	65	9.5	451	8.4	48	9.8
川久旬	呆病 院	449	9.5	7	1.0	456	8.5	43	8.8
岩 手	医 大	1,746	37.1	206	30.1	1,952	36.2	141	28.7
もりおから	こども病院	133	2.8	13	1.9	146	2.7	4	0.8
国立盛岡医	療センター	33	0.7	15	2.2	48	0.9	6	1.2
合	計	4,706	100	684	100	5,390	100	491	100

表 25 1 コマあたりの病院別小児救急患者数 (輪番日)

平成31年1月~令和元年12月

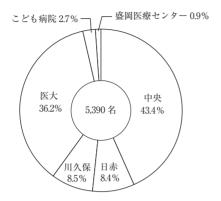
病院	外来	入 院	合	計
7/19 2/1	患 者 数	患 者 数	患者数	うち救急車搬入患者数
中 央 病 陸	10.58	2.02	12.60	1.34
日 赤 病 医	6.76	1.24	8.00	0.91
川久保病隊	10.87	0.19	11.06	1.04
岩 手 医 力	9.25	1.08	10.34	0.74
もりおかこども病	11.61	1.19	12.81	0.36
国立盛岡医療センタ・	3.67	1.67	5.33	0.67
平	9.60	1.39	11.00	1.00

[※]もりおかこども病院、川久保病院は休日救急当番医の来院患者数も含む。

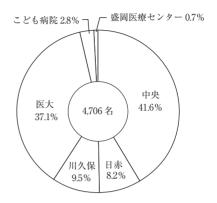
^{※※}もりおかこども病院は平成31年4月より診療所化のため脱退 国立盛岡医療センターは平成14年9月より休止していたが令和元年10月より再開

図 21 小児救急病院別患者比率(輪番日)

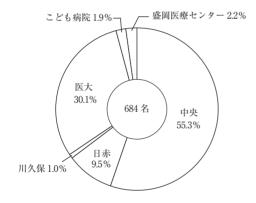
<総患者比率>



<外来患者比率>



<入院患者比率>



<救急車搬入患者比率>

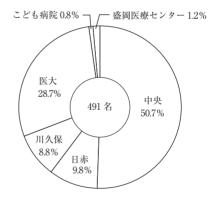


表 26 小児救急患者病院別合計表 (輪番日以外)

平成31年1月~令和元年12月

,44	17/2->	外	来	入	院		総	数	
病	院	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率	うち救急車 搬入患者数	比 率
中 央	病院	186	8.3	45	19.1	231	9.3	18	14.9
日 赤	病院	105	4.7	18	7.7	123	5.0	8	6.6
川久1	保病 院	881	39.3	4	1.7	885	35.7	3	2.5
岩 手	医 大	1,055	47.1	162	68.9	1,217	49.2	87	71.9
もりおか	こども病院	0	0	1	0.4	1	0.04	0	0
国立盛岡医	長療センター	14	0.6	5	2.1	19	0.8	5	4.1
合	計	2,241	100	235	100	2,476	100	121	100

表 27 1 コマあたりの病院別小児救急患者数 (輪番日以外)

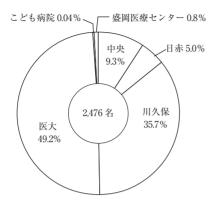
平成31年1月~令和元年12月

				^	⇒1 .
病	院	外 来	入 院	合	計
71/3	P)L	患 者 数	患 者 数	患者数	うち救急車搬入患者数
中 央 病	院	0.61	0.15	0.76	0.06
日 赤 病	院	0.24	0.04	0.28	0.02
川久保料	病 院	1.97	0.01	1.98	0.01
岩 手 医	大	3.54	0.53	4.07	0.29
もりおかこど	も病院	0	0.01	0.01	0
国立盛岡医療セ	ンター	0.12	0.04	0.17	0.04
平	均	1.08	0.11	1.19	0.06

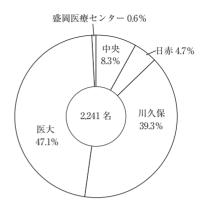
※もりおかこども病院、川久保病院は休日救急当番医の来院患者数も含む。

図 22 小児救急病院別患者比率(輪番日以外)

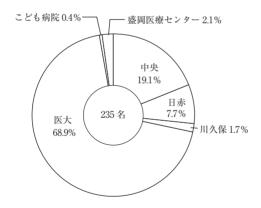
<総患者比率>



<外来患者比率>



<入院患者比率>



<救急車搬入患者比率>

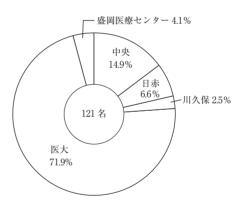


表 28 小児救急患者市町村別合計表(輪番日)

平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

市	町 村	外	来	入	院	総	数
111	叫,们	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	2,867	60.9	417	61.0	3,284	60.9
雫	石	61	1.3	10	1.5	71	1.3
葛	巻	5	0.1	1	0.1	6	0.1
岩	手	83	1.8	10	1.5	93	1.7
滝	沢	582	12.4	87	12.7	669	12.4
紫	波	273	5.8	38	5.6	311	5.8
矢	Щ	343	7.3	41	6.0	384	7.1
八	幡 平	188	4.0	19	2.8	207	3.8
小	計	4,402	93.5	623	91.1	5,025	93.2
70)他県内	140	3.0	43	6.3	183	3.4
県	外	164	3.5	18	2.6	182	3.4
合	計	4,706	100	684	100	5,390	100

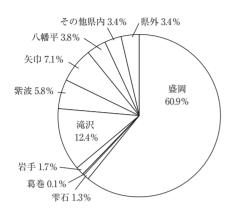
表 29 1 コマあたりの市町村別小児救急患者数 (輪番日)

平成31年1月~令和元年12月

市	町 村	外	来	入	院	合	計
1]1	М Ј Т У	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	5.85	60.9	0.85	60.9	6.70	60.9
雫	石	0.13	1.3	0.02	1.5	0.15	1.3
葛	卷	0.01	0.1	0.00	0.1	0.01	0.1
岩	手	0.17	1.8	0.02	1.5	0.19	1.7
滝	沢	1.19	12.4	0.18	12.7	1.37	12.4
紫	波	0.56	5.8	0.08	5.5	0.63	5.8
矢	巾	0.70	7.3	0.08	6.0	0.78	7.1
八	幡 平	0.38	4.0	0.04	2.8	0.42	3.8
小	計	8.98	93.6	1.27	91.1	10.25	93.3
その)他県内	0.29	3.0	0.09	6.3	0.37	3.4
県	外	0.33	3.5	0.04	2.6	0.37	3.3
合	計	9.60	100	1.39	100	11.00	100

図 23 小児救急市町村別患者比率(輪番日) 図 24 小児救急郡市別患者比率(輪番日)

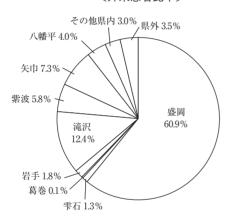
<総患者比率>



<地区別患者比率>



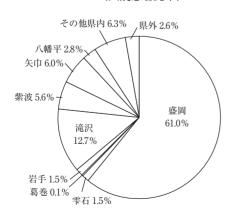
<外来患者比率>



<岩手郡患者比率>



<入院患者比率>



<紫波郡患者比率>

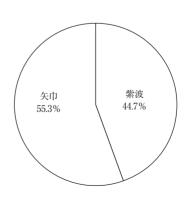


表 30 小児救急患者市町村別合計表(輪番日以外) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

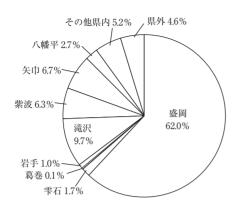
市	町 村	外	来	入	院	総	数
111	ш) 173	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	1,429	63.8	105	44.7	1,534	62.0
雫	石	38	1.7	3	1.3	41	1.7
葛	卷	2	0.1	0	0.0	2	0.1
岩	手	20	0.9	5	2.1	25	1.0
滝	沢	208	9.3	33	14.0	241	9.7
紫	波	142	6.3	15	6.4	157	6.3
矢	巾	141	6.3	25	10.6	166	6.7
八	幡 平	58	2.6	8	3.4	66	2.7
小	計	2,038	90.9	194	82.6	2,232	90.1
70)他県内	99	4.4	30	12.8	129	5.2
県	外	104	4.6	11	4.7	115	4.6
合	計	2,241	100	235	100	2,476	100

表 31 1コマあたりの市町村別小児救急患者数(輪番日以外) 平成 31 年 1 月~令和元年 12 月

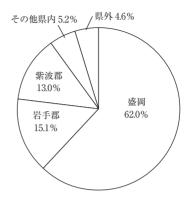
市	町村	外	来	入	院	合	計
111	叫	患者数	比 率	患者数	比 率	患者数	比 率
盛	岡	0.69	63.7	0.05	44.6	0.74	62.4
雫	石	0.02	1.7	0.00	1.2	0.02	1.6
葛	卷	0.00	0.1	0.00	0.0	0.00	0.1
岩	手	0.01	0.9	0.00	2.2	0.01	1.1
滝	沢	0.10	9.3	0.02	14.6	0.12	9.8
紫	波	0.07	6.3	0.01	6.2	0.07	6.2
矢	巾	0.07	6.3	0.01	10.5	0.08	6.5
八	幡 平	0.03	2.6	0.00	3.5	0.03	2.8
小	計	0.98	90.9	0.09	82.8	1.08	90.3
その)他県内	0.05	4.4	0.01	12.4	0.06	5.1
県	外	0.05	4.6	0.01	4.8	0.05	4.6
合	計	1.08	100	0.11	100	1.19	100

図 25 小児救急市町村別患者比率(輪番日以外) 図 26 小児救急郡市別患者比率(輪番日以外)

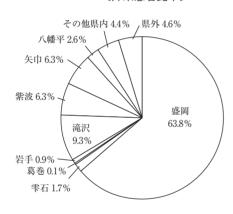
<総患者比率>



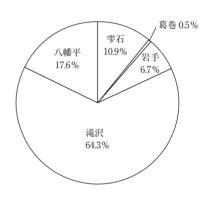
<地区別患者比率>



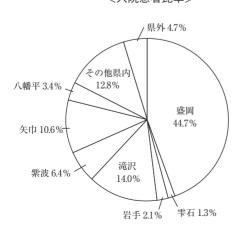
<外来患者比率>



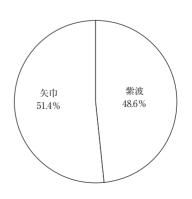
<岩手郡患者比率>



<入院患者比率>



<紫波郡患者比率>



2. 経過報告

Z · 小主,	吧 FIX			
平成31年	1月	17日	(木)	第 171 回小児救急電話相談事業事例検討会
		29 日	(火)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
	2月	8日	(金)	平成30年度第2回盛岡市夜間急患診療所運営協議会
		19日	(火)	第 172 回小児救急電話相談事業事例検討会
		22 日	(金)	盛岡地区二次救急医療対策委員会
	3月	7 日	(木)	盛岡地区二次救急病院事務長会議
		19日	(火)	第 173 回小児救急電話相談事業事例検討会
		25 日	(月)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
	4月	16日	(火)	第 174 回小児救急電話相談事業事例検討会
		26 日	(金)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
		"		第1回救急医療体制のあゆみ編集委員会
令和元年	5月	21 日	(火)	第 175 回小児救急電話相談事業事例検討会
		27 日	(月)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
	6月	18日	(火)	第 176 回小児救急電話相談事業事例検討会
		27 日	(木)	盛岡地区二次救急医療対策委員会
	7月	5 日	(金)	盛岡地区二次救急病院事務長会議
		16 日	(火)	第 177 回小児救急電話相談事業事例検討会
		26 日	(金)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
		"		第2回救急医療体制のあゆみ編集委員会
		29 日	(月)	盛岡市保健福祉部・子ども未来部との打合せ会
		30 日	(火)	第 16 回盛岡救急医療人のつどい
	8月	5 日	(月)	令和元年度盛岡地区二次救急医療関係市町会議
		20 日	(火)	第 178 回小児救急電話相談事業事例検討会
		30 日	(金)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
	9月	6 日	(金)	第 37 回救急医療学術講演会
		17日	(火)	第 179 回小児救急電話相談事業事例検討会
		26 日	(木)	令和元年度盛岡市夜間急患診療所従事者打合せ会
		30 日	(月)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
	10月	15日	(火)	第 180 回小児救急電話相談事業事例検討会
		29 日	(火)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会
	11月	1 2 日	(土)	盛岡市総合防災訓練
		6 日	(水)	盛岡地区二次救急医療対策委員会小委員会(小児輪番に関わる)
		19日	(火)	第 181 回小児救急電話相談事業事例検討会
		26 日	(火)	盛岡地区二次救急医療対策委員会
	12月	1 2 日	(月)	盛岡地区二次救急病院事務長会議
		14 日	(土)	令和元年度小児科救急医師研修 (岩手西北医師会担当)
		17 日	(火)	第 182 回小児救急電話相談事業事例検討会
		24 日	(火)	盛岡地区二次救急医療対策委員会 常任委員会

3. 令和元年度 盛岡地区二次救急医療関係市町会議

日 時:令和元年8月5日(月) 午後1時

場 所:盛岡市保健所7階大ホール



1. 報告

- (1)平成30年度盛岡地区二次救急医療補助事業決算について
 - ①平成30年度盛岡地区二次救急医療事業 決算書
 - ②平成30年度盛岡地区二次救急医療事業(小児救急)決算書
 - ①、②の報告があり、質問等なく了承された。

2. 協議

- (1)令和元年度盛岡地区二次救急医療補助事業 予算について

 - ②令和元年度盛岡地区二次救急医療事業(小児救急)予算書
- (2)令和元年度盛岡地区二次救急医療補助事業 市町別負担金について
 - ①令和元年度盛岡地区二次救急医療事業市 町別負担金割当表

②令和元年度盛岡地区二次救急医療事業市 町別負担金割当表(小児救急)

上記(1)、(2)についていずれも予算額で 問題なく了承された。

3. その他

- (1) 盛岡地区二次救急医療対策委員会会計について
 - ①平成30年度盛岡地区二次救急医療対策 委員会一般会計決算書
 - ②平成 31 年度盛岡地区二次救急医療対策 委員会一般会計予算書
 - ①、②の報告があり、質問等なく了承された。
- (2)救急医療機関の適正受診に係る周知について

本年9月21日の岩手医科大学附属病院 矢巾移転に伴い、岩手医大での救急患者 受け入れが停止になる期間、他の二次救急 入院受入病院にて受け入れること。特に重 症患者は県立中央病院、盛岡赤十字病院で 受け入れる。また移転後も救急患者の一部 病院への集中が予想されるため、救急診療 の支障がないように市民向けに広報、医師 会ホームページやマスコミを利用して、特 に軽症患者の適正受診を促すように周知し ていく。

(久保直彦)

	出席	者	i á	占 簿	<u> </u>
成网址区一次协会匠族社学系具合					
盛岡地区二次救急医療対策委員会	ın	ш	エロ	ᅭ	成四主医征令 (令) ()
委員長	和		利		盛岡市医師会(会長)
常任委員	野			<u>_</u>	盛岡市医師会(副会長)
常任委員	吉	田	耕ス		盛岡市医師会(副会長)
常任委員	金	_	博	純	盛岡市医師会(副会長)
常任委員	本		_	博	盛岡市医師会(総括部長)
常任委員	橋			生	盛岡市医師会(総務部長)
常任委員		保			盛岡市医師会(救急医療対策部長)
事務局長		Ш			盛岡市医師会(事務局長)
事務局員	水			彦	盛岡市医師会(次長)
事務局員	谷	藤	慎	冶	盛岡市医師会(係長)
 県央保健所					
医療介護課長	鎌	田	伸	_	
八幡平市	쟆	Щ	144	_	
八幡十川 健康福祉課長	*:	上	直	樹	
	ተህ		旦	似	
パーパーリー 健康推進課長	猿	舘	睦	ュ	
東石町	348	며	P±	J	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	小	**	由美	自己	
葛巻町	٧, د	17	ЩЭ	Z 1	
健康福祉課長	楢	*	幸	±	
岩手町	111	/ \	+		
	簗	場	睦	子	
紫波町	*	790	Р	,	
「無	須	Ш	範	_	
大 市 町	754	/11	∓ 6		
健康長寿課長	Ħ	村	英	典	
盛岡市	ш	13		/\	
保健所長	高	橋	清	実	
保健所次長兼企画総務課長	I		弘	幸	
保健所企画総務課課長補佐			_		
保健所企画総務課医事薬事係長	宮		直		
保健所企画総務課医事薬事係主任		沼	由約	_	
				_ 123	

4. 盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時: 平成31年2月22日(金) 午後7時

場 所:盛岡グランドホテル



報告

- 1. 委員の異動に伴う、常任委員・対策委員 の変更について:平成31年1月29日より 盛岡赤十字病院吉田幸恵先生より渡辺悠太 先生に変更になった。
- 2.1月分患者データについて:総数5,058名、 救急車搬送数818名と前年比、先月比で増加した。参考として夜間急患診療所が1,067 名と前月比500名増であった。インフルエンザの流行の影響と思われた。
- 3. 29~30年の患者データについて
 - (1)二次救急:総数 50,937 名と前年同様であった。救急車搬送数は 8,731 名と前年比500 名増加した。
 - (2)小児救急:小児輪番日 5,412 名と前年同様であった。非輪番日は 2,311 名と 300 名減少した。
 - (3)休日救急当番医・夜間急患診療所:ともに前年比で減少した。
- 4. 第 172 回小児救急電話相談事業事例検討会 (2/19) 及びH 30.1 月~12 月分データ について:別紙報告あり。

5. その他:本年は盛岡地域二次救急医療体制発足40周年であるが、常任委員会にて記念式典は行わず、50周年時に開催する方針になったことが報告された。

【協議】

- 1.3月分二次救急病院当番表について:原 案通り了承された。
- 2. 平成 31 年度二次・小児当番表(案) について:原案の通り了承された。

岩手医大の移転により若干の変更がある ことが予想され、随時検討していく。

- 3. 平成 31 年 4 月~ 6 月分の小児救急当番 表 (案) の公表について:原案の通り了承 された。
- 4. 平成 31 年度二次救急対策委員会運営予算(案)について:原案の通り了承された。
- 5. 盛岡地区二次救急医療対策委員会設置要綱の改正について:国立病院機構盛岡病院が国立病院機構盛岡医療センターに名称変更、もりおかこども病院が小児救急医療から外れるため削除することとした。

6. 医大移転に伴う今後の救急医療体制について:小笠原病院長より移転後の診療体制について説明があった。矢巾本院はこれまで通り、一次、二次、三次救急を行う。内丸メディカルセンターは外来機能主体で、救急車は受け入れない。時間外救急は平日

17 時~21 時まで初期救急のみ行う方針である。診療内容については今後検討する。 移転前後の救急診療体制については岩手 医大の詳細な移転計画が決定次第検討していく。

(久保直彦)

	出	÷	虎		者	<u> </u>		÷	÷	
			71 [.			•				
委 員 長		和	田	利	彦					
常任委員										
井上義博		小八	山	耕ス	比郎		須	原		誠
渡辺悠太		近	藤	公	亮		野	崎	英	=
吉 田 耕太郎		金	子	博	純		相	馬		淳
本 間 博		久	保	直	彦		智	田	文	徳
橋本真生		佐	藤	直	也		金	濱	誠	己
久保田 公 宜		小	林	有	_		関		博	文
臼 井 由紀子										
委員										
小笠原が邦の昭		森	野	禎	浩		宮	Ħ		岡山
松田壯正		加	藤	章			佐々ス		谷)	
遠藤重厚		千	葉	•	知				正 正	之
菊 池 喜 博		白	石	秀	夫		田	村		茂
八角有紀		米	沢	俊	_		高	橋	邦	尚
木 村 宗 孝										
		_						_		T.V.
岩手県県央保健所	所	長					野	原	_	勝
	次	長					高	橋	幸	代
 盛岡市保健所	所	長					高	橋	清	実
	次長熟	東企画	国総 務	务課長	Ē.		藤	井	優	子
	± 7/-	- E					-		***	άR
盛岡市医師会事務局								Ш	敬-	
	係	長					佐	藤	泰	
	係	長					谷	藤	慎	治

盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時:令和元年6月27日(木) 午後7時

場 所:盛岡グランドホテル



報告

- 1. 委員の異動に伴う、対策委員会委員の 変更について:国立病院機構盛岡医療セン ター 木村啓二病院長が新たに就任した。
- 2.5月分患者データ及びゴールデンウィークの受診状況について:受診総数 4,908 名と昨年より 400 名以上増加した。救急車搬送患者は 697 名と減少した。小児救急も輪番日 512 名と約 50 名増加した。ゴールデンウィーク(10 連休)の二次救急病院の総受診者総数は 9,298 名で、特に多くの診療機関が診療日とした 4 月 30 日 3,393 名、5月2日 2,511 名の受診者があった。
- 3. 年度毎の患者データについて
 - (1) 二次救急の総受診者数は 50,187 名と前年に比して約 2,000 名減少した。救急車搬送数は 8,602 名と増加した。
 - (2) 小児救急輪番日総数は5,359名と約400 名減少した
- (3) 休日救急当番医・夜間急患診療所:参考としてデータが示された。
- 4. 第176 回小児救急電話相談事業事例検討

- 会(5月18日)及び平成30年4月から令 和元年5月までのデータについて:別紙報 告あり。
- 5.「第16回盛岡救急医療人のつどい」の開催および事前アンケートの結果について: 7月30日(火午後7時より盛岡グランドホテルにて開催予定。テーマは「岩手医科大学附属病院移転時の救急現場対応」について。事前アンケートが報告され、岩手医科大学附属病院の小笠原邦昭病院長に講演と事前アンケートの回答をいただく予定となった。
- 6. 第 37 回救急医療学術講演会について: 9月6日岩手県医師会館にて講師として瀧 健治先生をお招きして開催予定。



協議

- 1.7月分二次救急病院当番表について:事 前協議の通り了承された。
- 2.10月~12月分の小児救急入院受入当番 表(案)及び令和元年度二次・小児輪番日 程表(8月以降)について:小児救急は原 案通りに了承された。二次救急は岩手医 科大学附属病院の救急受け入れ中止が9月19日午前0時からとなったため、前夜からの輪番日を務める岩手医科大学附属病院と県立中央病院の輪番日を一部調整した。
- 3. いわて盛岡シティマラソン 2019 に係る 医療救護人員の派遣依頼について:現時点 での事務局案で了承された。
- 4. 令和元年度盛岡市総合防災訓練への参加 について:11月2日出に開催予定である。
- 5. 平成30年度二次救急対策委員会一般会



計及び特別会計決算について:会計監査報告、会計報告通りに承認された。

6. 医大移転に伴う今後の救急医療体制について:岩手医科大学附属病院の救急受け入れ中止が9月19日午前0時からとなった。 移転後の盛岡市医師会ホームページの変更 案が提出されたが未定の部分があり、引き 続き検討する。

(久保直彦)

	出席	者
委 員 長	和 田 利 彦	
常任委員		
井 上 義 博	小 山 耕太郎	須原 誠 渡辺悠太
近 藤 公 亮	野崎英二	吉田 耕太郎 金子博 純
相 馬 淳	本間 博 :	久 保 直 彦 智 田 文 徳
橋 本 真 生	佐藤直也	金濱誠己 久保田公宜
小林有一	関 博文	臼 井 由紀子
委 員		
小笠原 邦 昭	森野 禎浩 7	宮田剛松田壯正
加藤章信	遠 藤 重 厚 -	千葉 知 髙松正之
木 村 啓 二	白 石 秀 夫 [田村 茂 八角有紀
高橋邦尚	木村宗孝(代理)	加藤(博巳)
岩手県県央保健所	所 長	田名場善明
盛岡市保健所	所 長	高橋清実
	次長兼企画総務課長	工藤弘幸
盛岡市医師会事務局	事務局長	及川敬一郎
	次 長	水本達彦
	係 長	谷 藤 慎 治

盛岡地区二次救急医療対策委員会

日 時:令和元年11月26日(火) 午後7時

場 所:盛岡グランドホテル



1. 報告

- (1)10月分患者データについて:総数3,504 名と昨年、先月に比較して減少した。 数急車は750分と前年に比較して100
 - 救急車は759台と前年に比較して100 台増加した。病院別患者数では岩手医 大が613名減少、県立中央病院が202名 増加、市立病院が117名増加、夜間急 患診療所が174名増加した。小児救急 は輪番日367名、輪番日以外205名と例 年と変わりなかった。
- (2)平成30年~令和元年10月の患者データ について:令和元年は月平均4,089名と 約250名減少で推移している。救急車 搬入患者も213名減少している。
- (3)第181回小児救急電話相談事業事例検 討会(11/20)及び平成30年10月~令和 元年10月までのデータについて:別紙 報告あり。
- (4)医療提供体制推進事業費補助金(医療 提供体制設備整備事業)について:令 和元年度は盛岡赤十字病院の事業計画 書を妥当とした。

- (5)令和元年度小児科医師研修事業ブロック別研修会の開催について:令和元年 12月14日岩手県医師会館で開催予定で ある。
- (6)盛岡市医師会ホームページの変更について:スマートフォン対応に変更された。

2. 協議

- (1)委員の異動に伴う対策委員会委員の変 更について:盛岡友愛病院院長の交代 に伴い、佐々木達哉院長の新委員就任 について了承された。
- (2)12月分二次救急病院当番表について: 提案通り了承された。
- (3)小児救急輪番病院制の辞退について: 川久保病院から医師減少のため辞退の 申し出があり了承された。
- (4)令和2年1月~3月分の小児入院受入 病院当番表(案)について:一部当番 病院の変更があり了承された。
- (5)令和2年度二次救急・小児救急輪番に

ついて:事務局案が提出され、12月開 て入院増加に伴う対応が説明された。 催の常任委員会までに委員、各病院で 検討していただいた後、1月末の常任 委員会で決定し、2月開催の対策委委 **員会で承認を得ることが了承された。**

(6)広報もりおかへの年末年始の救急医療 態勢記事掲載について: 例年通りの掲 載案が説明され了承された。

(7) 医大移転に伴う今後の救急医療体制に ついて:県立中央病院の一部診療科に

岩手医大からは転院後の状況について 報告があった。救急患者の受診動向を 観察し、適宜対策を検討していく方針 とした。

(久保直彦)

出席者名簿

委員 長

和田利彦

常任委員

井	上	義	博	小	山	耕力	息	須	原		誠	渡	辺	悠	太
近	藤	公	亮	野	崎	英	=	吉	田	耕え	息	金	子	博	純
相	馬		淳	本	間		博	久	保	直	彦	智	田	文	徳
橋	本	真	生	佐	藤	直	也	金	濱	誠	己	久傷	田	公	宜
小八	林	有	_	閗		博	$\dot{\nabla}$	FŦ	#	中級	2.子				

委 員

小笠	原	邦	昭	森!	野	禎	浩	宮	田	剛	松	田	壯	正
加	藤	章	信	佐々	木	達	哉	千	葉	知	髙	松	正	之
木	村	啓	=	白	石	秀	夫	田	村	茂	八	角	有	紀
高	橋	邦	尚	木	村	宗	孝							

岩手県県央保健所

所 長 田名場善明 鈴 木 洋 幸 長 次

盛岡市保健所

所 高橋清実 튽 次長兼企画総務課長 工 藤 弘 幸

盛岡市医師会事務局

事務局長 及川 敬一郎 次 長 水本達彦 係 長 谷 藤 慎 治

5. 盛岡地区二次救急医療対策小委員会

と き:令和元年11月6日(水) 午後7時

ところ:盛岡市医師会館 会議室

司 会:盛岡市医師会 救急医療対策部

部 長 久 保 直 彦

出席者

岩手医科大学小児科学講座	助教(医局長)	和	田	泰格
岩手県立中央病院	小児科長	\equiv	上	仁
盛岡赤十字病院	小児科副部長	渡	辺	悠 太
川久保病院	小児科長	蒔	苗	剛
国立病院機構盛岡医療センター	副院長	佐々	木	美 香
盛岡市医師会小児科医会	会 長	臼	井	由紀子
盛岡市医師会救急医療対策部 盛岡地区二次救急医療対策委員会	部 長 常任委員	久	保	直彦
盛岡市医師会	副会長	野	崎	英 二
	"	吉	田	耕太郎
	"	金	子	博 純
盛岡地区二次救急医療対策委員会	常任委員	金	濱	誠己
"	"	小	林	有 一

一 次 第 一

挨 拶

議題

- 1. 平成30年~令和1年小児救急病院患者データについて
 - ・本年は輪番日の月平均受診者が 462 人と昨年と比して 10 人増加していることが報告された。
- 2. 各小児救急輪番病院の現状と要望事項等について
- 3. 令和2年度小児救急輪番表(案) について
 - ・辞退の申し出があった川久保病院を除く4病院で本年の実績を基に輪番回数、当番周期に関する案と輪番表(案)が検討された。本案を二次救急対策委員会へ提出し、最終的に令和2年月末の二次救急常任委員会にて確定(最終決定は2月の対策委員会)し、各自治体へ連絡する予定となった。
- 4. 盛岡市及び近隣市町村広報での小児救急の周知について
 - ・各市町の広報について確認した。

6. 第16回盛岡救急医療人のつどい

日 時:令和元年7月30日(火)午後7時

場 所:盛岡グランドホテル



1. 挨拶

和田会長より「9月21日の岩手医科大学 附属病院矢巾移転に関わる救急医療に関する 研修会を行いたい。岩手医大での救急患者受 け入れが停止になる期間は各二次救急医療機 関で受け入れるが、特に重症患者は県立中央 病院、盛岡赤十字病院で受け入れる。また移 転後も救急患者の一部病院への集中が予想さ れる。今後は救急診療の支障がないように、 市民向けに軽症患者の適正受診を促すように 周知していきたい」と挨拶があった。今回は 「岩手医科大学附属病院移転時の救急現場対 応」をテーマに研修会を開始した。

2. 研修会

テーマ: 「岩手医科大学附属病院移転時の 救急現場対応 |

演 題: 「岩手医科大学附属病院移転時の 県内医療体制」

講 師:岩手医科大学附属病院

小笠原 邦昭 病院長

【講演要旨】



1. 矢巾新病院の概要に ついて

病床数1,000 床 (一般932 床、精神68 床)で、特定 機能病院、高度急性期病 床が主体である。外来は 特定の診療科と特殊検査

のみに限定し、完全予約制である。救急医療体制は、これまで通り24時間365日、全科対応する。救急車の受入れ、および小児救急、精神科救急、分娩は全て附属病院(矢巾)での対応とする。

2. 内丸メディカルセンターについて

外来診療主体。当面は既存施設を利用する。 病床を50 床置き検査入院、経過観察等に利 用する。救急診療は1次救急のみ実施し、受 付時間は17時~21時(土日祝祭日を除く 平日のみ)の診療体制とする。救急車は全て 矢巾新病院で受け入れる。



3. 病院移転前の診療態勢について

診療休止予定は、9月14日予定手術停止。 9月18日予定入院を停止。9月19日0時よ り救急受け入れを停止し、同日より緊急手術 を停止する。移転は9月21日に1日で行う。 9月24日外来、予定入院、救急受け入れを 開始し、9月30日より予定手術を開始する。 入院受け入れは診療科(心臓外科、救急科、 血液腫瘍内科など)により若干異なることが ある。この診療受け入れ制限期間においてそ れぞれの医療機関へ患者の受け入れを事前に 依頼済みである。県内で診療対応が困難な場 合でも県外の医療機関へ受け入れを依頼して ある。搬送手段、方法についても関係機関内 で体制を整備してある。この期間は岩手医大 病院の全ての医療機能が失われる。基幹病院 をはじめとする県内各医療機関、医師会、救 急隊、行政が一体となり、県民の"命"を守 ることが必須である。医療関係者の協力をお 願いしたい。

【質疑応答、意見交換】

- Q. 診療受け入れ制限期間内の救急診療依頼 について、各医療機関へ依頼済みとのこと であるが、その内容通りに実施見込みであ るか。
- A. いずれもその予定で協力していただく見込みである。
- Q. ドクターへリは運行するのか。
- A. 休みなく運行予定である。

その他、高度救命救急センター休止期間 の対応、患者搬送方法などについて質問が あり、岩手医大に対応連絡先を決めてあり、 何かあったら相談していただきたいとのこ とであった。

【情報交換会】

盛岡地区消防組合 中村俊行消防長のご挨 拶で開始され、さらに懇親を深めた。

出席者は医師 60 名、従事者(看護師・事務等)81 名、消防関係 75 名の計 216 名と盛会であった。

1000 床の病院が 12km 移転するという前 例のない大事業である。移転が無事終了する こと、県民市民の医療に影響の無いように協 力したい。

(久保直彦)

矢巾新病院の概要

■病床数:1,000床(一般:932床、精神:68床)

【病床機能区分(一般)】

高度急性期:862床 回復期:45床 慢性期:25床

■手術室数:20室

■主な医療機関指定

> 特定機能病院

➤ 高度救命救急センター

➤ 災害拠点病院

➤ 総合周産期母子医療センター

➤ 都道府県がん診療連携拠点病院

➤ 臨床研修指定病院 等

矢巾新病院の概要 『特定入院料病棟

■ 15 VE V NT 4+1/3/1×				
救命救急入院料病棟	東 20床 新生児集中治療室(NICU)			
脳卒中ケアユニット (SCU) 新設	6床	新生児治療回復室(GCU)	14床	
特定集中治療室(ICU)	24床	小児入院医療管理料病棟	58床	
ハイケアユニット (HCU) 新設	26床	回復期リハビリテーション病棟 新設	45床	
母体・胎児集中治療室 (MFICU)	9床	緩和ケア病棟	25床	
精神科急性期治療病棟 新設	50床	児童・思春期精神科病棟 新設	18床	
	1			

矢巾新病院の外来体制

- ■特定の診療科と特殊検査が必要な患者、 入院中の患者の院内紹介
- ■完全予約制 (受診希望の場合、事前問合せ必要)
- ■受診の際は紹介状が必要 紹介状の内容に応じて、内丸メディカルセ ンターへ案内する場合あり



矢巾新病院の外来対応診療科

• 血液腫瘍内科	• 小児外科
• 呼吸器外科	• 心臟血管外科
• 形成外科	• 頭頸部外科
• 小児科	• 産婦人科
• 放射線診断科	• 放射線治療科
• 救急科	• 精神科
緩和ケア科	• 病理診断科
リハビリテーション科	

※がん化学療法関係の診療は上記以外の診療科 も含め矢巾でのみ対応

latt / 岩手医科大学 40为约4. 未来~~5

矢巾新病院の救急医療体制

- · 常時(24時間365日)1次·2次·3次 救急全てに対応
- ・救急車の受入及び小児救急、精神科救急 、お産は全て附属病院(矢巾)での対応
- 医療費等に加えて時間外選定療養費を負 担いただく場合あり



内丸メディカルセンターの概要

- 当面は既存施設を利用
- 病床を50床置き検査入院、経過観察等に利用
- 矢巾でのみ診療を行う特定の診療科、特殊検査を除き、 原則として現状どおりの診療体制を維持
- 充実した検査体制を維持し、患者さんが受診当日に 検査を受け、早期に診断が可能な体制を整備

主な放射線関係装置

CT装置:4台 MRI装置:4台 心臓力テ装置:1台

紹介状の有無に関わらず受診が可能となる

内丸メディカルセンターの外来対応診療科

• 消化管内科	• 肝臓内科
• 腎 • 高血圧内科	• 循環器内科
・呼吸器・アレルギー・膠原病内科	• 神経内科 • 老年科
糖尿病・代謝・内分泌内科	• 外科
• 脳神経外科	• 整形外科
• 産婦人科 (不妊)	• 耳鼻咽喉科
• 眼科	• 皮膚科
• 泌尿器科	• 麻酔科
• 臨床検査科	• 総合診療科
• 睡眠医療科	• 臨床遺伝科
・歯科医療センター	

lasts Annual House Hous

内丸メディカルセンターの救急医療体制

- ・ 1 次救急に対応 受付時間:17時~21時 (土日祝祭日を除く平日のみ)
- 救急車の受入は全て附属病院(矢巾)で 亦放
- ・ 小児救急、精神科救急、お産、眼科、耳 鼻科は全て矢巾で対応

7. 盛岡市保健福祉部・子ども未来部との打合せ会

日 時:令和元年7月29日(月) 午後7時

場 所:アートホテル盛岡



盛岡市医師会 和田利彦会長、盛岡市 村上 淳保健福祉部長、藤澤忠範子ども未来部長の 順に挨拶の後、出席者の紹介があり議題に 移った。

【議題】

1. 令和元年度盛岡市保健福祉部・子ども未 来部主要事業について

保健福祉部の新規事業として地域福祉 課で地域福祉計画推進事業において複合的 な課題を抱える者に対する総合窓口事業を 実施する。長寿社会課で地域包括支援セン ターを仁王・上田圏域及び飯岡・永井圏域 の2か所を増設する。それに伴い「生活支 援コーディネーター」及び「認知症地域支 援推進員」の増員、一般介護予防事業とし て「シルバーリハビリ体操」の普及及び指 導者の養成事業の実施。介護保険課では介 護従事者確保事業の推進のため、介護職員 奨学金返還支援事業の実施。生活福祉第一 課・第二課では生活困窮者自立支援法に基 づき「家計改善支援事業」の実施。プレミアム商品券事務局では、地域における消費を喚起・下支えするため低所得者・子育て世帯向けのプレミアム商品券を販売。子ども未来部の新規事業として、子ども青少年課で、児童館管理運営事業の実施。母子健康課では新生児聴覚検査事業の実施、母妊に悩む方を対象とした特定治療支援事業の実施。盛岡市保健所の新規事業として、保健予防課では、高齢者肺炎球菌ワクチン補助事業が令和6年まで延長、インフルエンザワクチンの補助事業が中学生までに拡大され補助金も増額、などが説明された。

2. 盛岡市医師会からの要望事項について

(1)児童虐待防止のための関連機関による連携の推進について、(2)3歳児健診時のレフラクトメーター導入検討のお願い、(3)任意予防接種への助成について、(4)乳幼児総合審査後の受け入れ機関の充実について、(5)盛岡市夜間急患診療所に従事する非常勤



小児科医の確保について、(6)若年の末期が ん患者を対象にした介護サービス利用にか かる費用の助成についての6要望事項につ いては、積極的な改善、財務との調整、事 業化に向けた調査・研究の実施などの回答 であったが、行政の一定の理解を得られた と考える。

会議終了後は場所を変えて懇親会を行った。高橋清実盛岡市保健所長の乾杯の挨拶で歓談が始まった。終始穏やかな雰囲気で時間が流れ、金子博純副会長の中締めで閉会となった。

▶要望事項 No.1

児童虐待防止のための関連機関による連携 の推進について

妊娠期から産後までEPDS 質問用紙等を活用した妊婦さんの育児不安、産後うつ等精神不安、育児支援事業に関しては保健師さん等市行政の御協力のもとに順調に行われていますが、1カ月健診後の小児科との連携構築は未だに十分とは言えないのが現状です。市の要保護児童対策地域協議会でも「早くから情報共有されていれば」との事例があるようです。是非、関連機関と連携して早期に情報共有をし虐待等を未然に防止出来る様なシステムを構築して頂きたいと希望致します。

▶回答(子ども青少年課、母子健康課)

生後1か月児健康診査後の小児科との連携につきましては、現在、乳幼児期全8回の健康診査において、健康診査票の「保健指導の必要性」欄に、小児科から要否を御記入いただくとともに、保健指導が必要な保護者について電話又は連絡書等により連絡をいただいております。

小児科からの連絡により、保健指導が必要な保護者には、保健師、助産師が早期に家庭訪問等で支援し、その対応状況を小児科に連絡しておりますが、今後、更に連携を図りながら支援を行ってまいりたいと存じます。

また、要保護児童対策地域協議会における関係機関との早期の情報共有につきましては、虐待等を未然に防止するために重要な観点であると認識しておりますが、共有する個人情報の範囲や方法、その管理のあり方など、課題もあるものと存じますことから、今後、要保護児童対策地域協議会構成団体の意見も聴きながら、関係者と相談してまいりたいと存じます。

▶要望事項 No. 2

3歳児健診時の携帯型レフラクトメーター (スポットビジョンスクリーナー) 導入検討 のお願い

3歳児健診における視力検査の重要性は 周知されておりますが、事前に家庭で練習 しても残念なことに理解力、集中力の不足 が原因で検査困難な例が散見されます。

検査員の負担を軽減するのみならず、限られた時間内で正確で短時間、かつ円滑な視力検査を可能にするウエルチアリン社スポットビジョンスクリーナ(SVS)の導入の検討をお願いいたします。

SVSの特徴

- ・ハンディータイプで幅広い年齢層(6か 月齢以降の乳幼児から)で検査が可能で す。
- ・近視、遠視、乱視、不同視、斜視、瞳孔 不同がスクリーニングできます。
- ・子どもたちには数秒間、カメラのような 機器を見つめてもらう(写真撮影をする ような感覚)だけで負担もなく検査を受 けることができます。
- ・結果は自動的に数値で示され、客観性の 高いデータが得られます。スクリーニン グ成功率は97%とされています。以上 を鑑みて購入についてご検討いただきた くよろしくお願いいたします。

▶回答(母子健康課)

3歳児健康診査における視力検査への携帯型レフラクトメーターの導入につきましては、検査を受ける子どもたちの負担軽減や検査時間の短縮等、円滑な視力検査の実施に寄与するものと存じますが、導入には財源の確保等の課題もありますことから、今後、他自治体の導入状況等を参考にしながら研究してまいりたいと存じます。

▶要望事項 No.3

任意予防接種への助成について

流行性耳下腺炎、ロタウイルス感染症は ワクチンで予防できる疾患です。感染する と重い後遺症や長期の休園措置が必要な場合があり、こどもや保護者に負担が大きい疾患です。流行性耳下腺炎では治療不可能な難聴の後遺症が500人に1人という報告もあります。近隣市町村では接種費用の公費助成が開始されています。盛岡市でも助成の検討を是非お願いいたします。

▶回答(保健予防課)

流行性耳下腺炎、ロタウイルス感染症に 係る任意予防接種への助成についてです が、現在、国におきましてワクチンの定期 接種化について検討が続けられているとこ ろです。

市といたしましては、国の動向を注視してまいりながら、全国市長会を通じて国にも早期に定期接種として位置づけるよう提言を行ってまいりたいと存じます。

▶要望事項 No.4

乳幼児総合診査後の受け入れ機関の充実に ついて

盛岡市乳幼児総合診査では年に150名程 度の乳幼児が問題ありとされ、ほとんどが 知的発達に問題があり、早期の適切な療育 が必要とされます。現在、この子どもたち の受入れ施設は14あるとされていますが、 施設の老朽化、専門員の不足などで、受 け入れは十分ではありません。特にも母子 通園事業の主翼を担っているひまわり学園 は昭和49年に開園され、昭和60年改築工 事が行われておりますが、施設の老朽化の ため定員増(現在50名)が困難で、養育 を求める親の希望を叶えることが出来ませ ん。新築移転の話もあるようですが、でき るだけ早急に進めていただきたいと思いま す。それまでの間、受け入れ施設の充実、 拡大を並行して取り組んでいただくようお 願い致します。

▶回答(障がい福祉課)

「盛岡市立ひまわり学園」は、現在におきましても、定員を超えて障がい児を受け 入れているところでありますが、指定管理

を委託している社会福祉法人からは、定 員を増やす必要があることや相談支援専門 員の増員などについて意見をいただいてお り、また、御指摘のとおり、昭和49年の 開園以来45年経過して老朽化も進んでお りますことから、盛岡市公共施設保有最適 化・長寿命化実施計画では、令和3年度ま でに、施設修繕して民間譲渡することとし ており、定員を増やしたり採算の合う経営 となるよう検討していくものであります。 現在の定員は、「盛岡市立ひまわり学園」、 「いるか教室 | 及び「いるか教室つしだ | 併せて70名である一方、市内にはほかに も18施設あり、近隣市町の障がい児も含 めて 110 名程度が利用しているところであ り、これらの施設の充実についても考えて まいりたいと存じます。

▶要望事項 No.5

盛岡市夜間急患診療所に従事する非常勤小 児科医の確保について

夜間急患診療所に従事している盛岡市内の小児科開業医の減少と高齢化が進んでいます。さらに岩手医科大学矢巾移転に伴い、今まで従事していた岩手医科大学の先生方が辞める予定です。小児科医会では多くの先生方に声掛けをしてお願いしていますが盛岡市からもよろしくお願い致します。

▶回答(企画総務課)

夜間急患診療所の小児科従事医師の確保についてでありますが、昭和51年12月の開所以来、これまで28万人以上の方へ年中無休で診療を行うなど、盛岡市のみならず盛岡保健医療圏における初期救急医療の中心的な施設であり、特に、小児科では、診療所全体の患者の約6割の診療を行っており、大変重要な役割を担っております。

小児科医の皆様方におかれましては、初期救急医療業務に加え、学校等の保健業務、乳幼児健診、定期予防接種など、限られた人数のなかで、さまざまな健康保健事業に御協力いただいており、大きな負担となっ

ているものと存じております。

また、これまで小児科医の負担軽減に向け、近隣医師会による応援体制、大学病院等からの派遣などのご協力を得ながら進めてきたところでございます。

小児科従事医師の確保につきましては、 市ホームページにて募集を行っており、これまでのところ、平成29年度にご応募いただいた先生には、現在も勤務していただいているところでございます。

今後も継続してホームページ等により募集を行っていくほか、盛岡保健医療圏及び周辺自治体に在住・在勤する小児科医師への協力の呼びかけを、市医師会と共に行なってまいりたいと存じます。

▶要望事項 No.6

若年の末期がん患者を対象にした介護サービス利用にかかる費用の助成について

介護保険の給付対象は原則65歳以上ですが、保険料を納める40~64歳も末期がんなどの特定疾病で介護が必要となった場合は1割負担でサービスが受けらます。しかしながら、介護保険料を負担しない40歳未満の末期がん患者は介護保険が利用できないため、訪問入浴や福祉用具貸与などのサービスを利用するには費用を全額負担しなければなりません。

患者本人及び家族の身体的、経済的な負担の軽減を図り、安心して在宅療養ができるように、末期がんと診断された40歳未満の方の介護サービス利用にかかる費用を盛岡市で助成して下さるようお願いいたします。

▶回答(企画総務課)

末期がんなどの特定疾病で介護が必要になった場合につきましては、40歳から64歳までは1割負担で介護サービスを受けることができますし、小児がんなどの小児慢性特定疾病の対象となる18歳未満(引続き治療が必要であると認められる場合は、20歳未満)の児童については、患児家庭

の医療費の負担軽減を図るため医療費の自己負担分の一部助成や慢性的な疾病を抱える児童やご家庭の負担軽減と長期療養をしている児童の自立や成長支援について、地域の社会資源を活用するとともに利用者の環境等に応じた支援を受けることができます。

一方、20歳から30歳の末期がん患者に対しましては、支援はないことから、神戸

市や横浜市など一部の自治体におきまして、独自の若年者の在宅ターミナルケア支援事業を実施しているものと認識しており、若年者の末期がん患者本人やご家族の身体的・経済的・精神的負担が大きいものと存じておりますので、他市の支援状況を調査するとともに、今後研究してまいりたいと存じます。

(工藤卓次)

者 名 簿 席 盛岡市医師会 和田利彦 和田内科医院 会 長 野崎英二 副会長 岩手県立中央病院 循環器内科 副会長 吉 \blacksquare 耕太郎 産科婦人科吉田医院 副会長 子 金 博 純 金子胃腸科内科 理 事 (総括部長) 間 博 本 本間内科医院 理 事 (総務部長) 橋 本 真 生 はしもと眼科クリニック 理 事(救急医療対策部長) ク 保 直 彦 盛岡赤十字病院 脳神経外科 卓 工藤 次 くどう医院 理 事(地域医療部長) 理 事(保険部長) 鈴 木 知 己 鈴木内科医院 理 事 (地域医療部) 金 濱 誠 己 杜のこどもクリニック 理 事(検診部長) 久保田 公 宜 久保田医院 理事(母子保健・思春期保健対策部長) 小 林 有 小林小児科クリニック 理 事 (看護学院部長) 智 \mathbf{H} Ϋ́ 徳 未来の風せいわ病院 精神科 理 事(学幼保医部長) 千 葉隆史 ちば耳鼻咽喉科クリニック 理 事(産業保健部長) 佐藤 直也 なおや脳神経・頭痛クリニック 理 事(在宅医療部長) 木 村 幸 博 もりおか往診ホームケアクリニック 事務局長 及 川 敬一郎 次長 水本達彦 盛岡市 保健福祉部 部長 村 上 淳 次長 藤 澤 多津子 地域福祉課長 工 藤 浩 統 障がい福祉課長 野 中 降 長寿社会課長 下 田 法 孑 大志田 佳 子 介護保険課長 生活福祉第一課長 舩 越 阿 部 裕 生活福祉第二課長 (保健所) 保健所長 高 橋 澅 実 次長兼企画総務課長 工 藤 弘 幸 参事兼生活衛生課長 佐 藤 # 健康増進課長 澤口佐知子 保健師長 小 川 睦 子 梅 格 保健予防課長 原 子ども未来部 部長 藤澤 忠 範 次長 石 橋 浩 츞 根 本 雅 子 参事兼母子健康課長 子ども青少年課長 佐久山 久美子 子育てあんしん課長 藤本耕也

8. 第37回救急医療学術講演会

日 時:令和元年9月6日(金) 午後6時40分

場 所:盛岡グランドホテル



1. 特別講演

座長:岩手医科大学 救急・災害・総合医学講座 救急医学分野



井上義博 教授 演題:「ER型救急体制が 担う地域包括ケアシステム ~これからの救急医療体制はどうなるか~」 講師:札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター 瀧 健治 センター長

2. 講演要旨

私が勤務する札幌東徳洲会病院は320 床ほどの病院であるが、救急センターを有し年間8,000 人以上の救急搬送患者を受け入れている。医師3名のみで運営していた救急センターに2018年私が赴任して、これからICUに力を入れていくことを内外に理解していた

だくために救急集中治療センターに改名した。

「夢がないと楽しくない」という思いで診療 を始めたら人が集まってきた。

救急集中治療センターの基本方針は「断ら ない救急 | で、それをどう行うかである。多 くの患者を受け入れることは可能だが、病院 が満床になると次の救急患者のためのベット はなくなり、職員は過重労働で疲弊してくる。 そのために満床の改善策を考えた。そのひと つは医療連携であるが、先の勤務地の佐賀 大学時代に、大学病院と医師会の連携に問題 が起きたことがあった。現在の病院では、こ れまでの経緯から医師会との医療連携は無理 だと言われた。しかし、多くの患者を診るた めには、我々ができる範囲の患者を診て、さ らに連携により他の医療機関に患者を分担し て診療していかなければならない。病院内で も各科と連携し、救急科は専門分野と軽い肺 炎など専門医に任せるほどではない疾患を診 て、専門科の診療が必要な疾患はその診療科にお願いした。また、院内の学術教育部門、職員の安全のための警備、防災部門、看護部の体制整備を行い、断らない救急のために考え方を変えていった。

私の施設では月800~900台、年間約8,000~10,000台の救急車を受けているが、月約100台のキャンセルがあり、これを合わせた数が当施設への期待値と思われる。当施設で診るべきものは診ているが、他の施設で診療可能な患者の多くを医師会の施設へ転院診療をお願いしている。患者を紹介し続けた結果、徐々に連携ができてきた。さらに連携の会を立ち上げて、継続して開催した。連携の会に対して病院内ではその効果について懐疑的な声もあったが、次第に医師会の理解も得られ、保健所や行政も参加するようになっていった。

さらに周辺地域の行政や介護施設など幅広 く参加するようになった。次第に各施設間の コミュニケーションが取れて、気さくで深い ものになっていった。

さて、高齢者の患者が増加しているが、特

に独居老人が病気になったときが医療の現場で大きな問題となっている。人口 200 万人といわれる大都市札幌では、これまで私が勤務していた地方とは異なり、高齢者、独居老人の実態を行政が全く把握していないため、このような人たちに医療の手を差し伸べる方法がない。地域包括ケアが謳われているが、健康、元気でいる場合と病気になった時にはそのマネージメントが異なる。都会で病気になった時の地域包括ケアでは、二次救急病院が中心となり医療の関与をしていく必要がある。目指す救急医療は都会と地方では異なり、施設内で地域と医療連携し、この地域包括ケアの中での個々の役割を考えて実践していくことが大切である。

私はかつての恩師に「患者を紹介しなさい。 そうすれば患者は安心してあなたのものとに 戻ってくる」と教わった。その教えを現在も 行なっているだけである。

出席者は医師 46 名、消防 61 名、行政・その他 26 名の 133 名の参加であった。

(久保直彦)

9. 二次救急病院事務長会議

日時:平成31年3月7日(木) 午後1時

場所:盛岡市医師会館 会議室

盛岡市医師会 会 長 和 田 利 彦 副会長 野 崹 英 副会長 耕太郎 吉 \mathbf{H} 副会長 子 博 金 純 総括部長 本 間 博 総務部長 橋 本 牛 直

救急医療対策部長 久 保 直 彦

岩手医科大学附属病院

仁 病院事務部長 塚 澤 敏 医事課長 本 舘 老 信 岩手県立中央病院

事務局長 盛岡赤十字病院

事務副部長 佐々木 宏 文

小笠原 一

野

行

靖

理

盛岡市立病院

事務局長 佐藤 輝 男

遠山病院 栃内病院

事務部長 千 葉 俊 祐 金

高松病院

事務長代理 猫 塚 昌 弘

盛岡つなぎ温泉病院

事務部長 吉 譲 \mathbf{H} 治

事務部長

盛岡友愛病院

孝 文 事務長 小 原

川久保病院

事務長 片 方 直 樹 国立病院機構盛岡医療センター

我 事務部長 曽

もりおかこども病院

事務副部長 木 村 正 樹

八角病院

事務長 藤 原 正 孝

盛岡市保健所

企画総務課医事薬事係主任

田 沼 由紀枝

盛岡市医師会事務局

事務局長 及 川 敬一郎 次 長 水本 達彦 谷 藤 係 長 慎 治

第 — 次

挨 拶

> 盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長 盛岡市医師会会長 和田利彦

報 告

- 1. 委員の異動に伴う、常任委員・対策委員 の変更について
- 2. 1月分患者データについて
- 3. 29年~30年の患者データについて
 - (1) 二次救急
 - (2) 小児救急
 - (3) 休日救急当番医·夜間急患診療所
- 4. 第172 同小児救急電話相談事業事例検討 会 (2/19) 及び

H30.1 月~12 月分データについて

- 5.3月分二次救急病院当番表について
- 6. 平成31年度二次・小児当番表(案)に ついて
- 7. 平成31年4月~6月分の小児救急当番 表の公表について
- 8. 平成 31 年度二次救急対策委員会運営予 算について
- 9. 盛岡地区二次救急医療対策委員会設置要 項の改正について
- 10. 医大移転に伴う今後の救急医療体制につ いて

二次救急病院事務長会議

日時:令和元年7月5日(金) 午後1時

場所:盛岡市医師会館 2階会議室

盛岡市医師会 会 長 和 田 利 彦 副会長 野 崎 英 二 副会長 吉 田 耕太郎 副会長 子 博 純 金 本 間 博 総括部長 総務部長 橋 本真生 直彦 救急医療対策部長 久 保

岩手医科大学附属病院

医事課長 本 舘 孝 信

岩手県立中央病院

事務局長 河 野 聡

盛岡赤十字病院

総務課長 石山武美

盛岡市立病院

事務局長 佐藤輝男

遠山病院

事務部長 千葉俊祐

靖

栃内病院

事務部長 金 野

高松病院

事務長 小笠原 一 行

盛岡つなぎ温泉病院

事務部長 吉田譲治

盛岡友愛病院

事務長 山内裕之

川久保病院

事務長 片方直樹

国立病院機構盛岡医療センター

事務部長 小畑孝志

八角病院

医事係係長 小 綿 真 人

盛岡市保健所

医事薬事係長 宮野 直子

盛岡市医師会事務局

事務局長 及 川 敬一郎 次 長 水 本 達 彦 係 長 谷 藤 慎 治 一 次 第 一

挨 拶

盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長 盛岡市医師会会長 和 田 利 彦

報 告

- 1. 委員の異動に伴う、対策委員会委員の変更について
- 2.5月分患者データ及びゴールデンウィークの受診状況について
- 3. 年度毎の患者データについて
 - (1) 二次救急
 - (2) 小児救急
 - (3) 休日救急当番医·夜間急患診療所
- 4. 第176 回小児救急電話相談事業事例検討 会(6/18) 及びH30. 4月からR1.5月ま でのデータについて
- 5. 平成30年度二次救急対策委員会一般会 計及び特別会計決算について
- 6.7月分二次救急病院当番表について
- 7. 10月~12月分の小児救急入院受入当番 表及び令和元年度二次·小児輪番日程表(8 月以降)について
- 8. 「第 16 回盛岡救急医療人のつどい」の開催について (7/31)
- 9. 第37回救急医療学術講演会について (9/6)
- 10. いわて盛岡シティマラソン 2019 に係る 医療救護人員の派遣依頼について
- 11. 令和元年度盛岡市総合防災訓練への参加 について (11/2)
- 12. 医大移転に伴う今後の救急医療体制について

二次救急病院事務長会議

日時:令和元年12月2日(月) 午後7時

場所:ホテルニューカリーナ

盛岡市医師会 会 長 和 田 利 彦 副会長 野崎 英 二 副会長 吉 \mathbb{H} 耕太郎 副会長 子 博 純 金 本 間 博 総括部長 総務部長 橋 本 真生 直 彦 救急医療対策部長 久 保

岩手医科大学附属病院

病院事務部長 塚 澤 仁 敏 医事課長 本 舘 孝 信

岩手県立中央病院

事務局長 河 野 聡

盛岡赤十字病院

事務部長 佐々木 宏 文

盛岡市立病院

事務局長 佐藤輝男

遠山病院

事務部長 千葉俊祐

栃内病院

事務部長 金 野 靖

高松病院

看護部長 兼医療連携室長 八 島 美奈子 盛岡つなぎ温泉病院

事務部長 吉田譲治

盛岡友愛病院

事務長 山内裕之

川久保病院

事務長 片方直樹

国立病院機構盛岡医療センター

事務部長 小畑孝志

八角病院

事務長 藤原正孝

盛岡市保健所

医事薬事係長 宮野 直子

盛岡市医師会事務局

事務局長 及 川 敬一郎 次 長 水 本 達 彦 係 長 谷 藤 慎 治 一 次 第 一

挨 拶

盛岡地区二次救急医療対策委員会委員長 盛岡市医師会会長 和 田 利 彦

報 告

- 1. 委員の異動に伴う、対策委員会委員の変更について
- 2.10月分患者データについて
- 3. 平成 31 年 1 月~令和元年 10 月分の患者 データについて
 - (1) 二次救急
 - (2) 小児救急
 - (3) 休日救急当番医・夜間急患診療所
- 4. 第 181 回小児救急電話相談事業事例検討 会 (11/19) 及び H30.10 月から R1.10 月ま でのデータについて
- 5. 医療提供体制推進事業費補助金 (医療提供体制設備整備事業) について
- 6. 令和元年度小児科医師研修事業ブロック 別研修会について
- 7. 盛岡市医師会ホームページの変更について
- 8.12月分二次救急病院当番表について
- 9. 令和2年1月~3月分の小児救急入院受 入当番表について
- 10. 小児救急輪番病院制の辞退について(川 久保病院)
- 11. 令和2年度二次救急・小児救急輪番日程 (案) について
- 12. 広報もりおかへの年末年始の救急医療態勢記事掲載について
- 13. 医大移転に伴う今後の救急医療体制について

10. 令和元年度 盛岡市総合防災訓練

日時:令和元年11月2日(土) 8時~12時

会場:高松小学校、岩手県立中央病院



1. 災害設定

震度6強の地震が起きて建物が倒壊し多数 の負傷者が発生。

2. 医療関係訓練

- (1)応急救護所設営訓練、トリアージ訓練、医療救護訓練: 高松小学校
- (2)医療救護所開設運営訓練: 高松小学校
- (3)病院支援訓練、負傷者受入訓練:県立中央病院
- (4)DMAT活動拠点大学本部運営訓練: 県立 中央病院

3. 訓練内容

(1)応急救護所設営訓練、トリアージ訓練、医療救護訓練

医療側の参加機関は盛岡赤十字病院、岩 手医科大学附属病院、県立中央病院、盛岡 市立病院、岩手県看護協会であった。

高松小学校校庭に応急救護所を設置し、 市民による自主防災隊が災害現場から負 傷者を搬送し応急処置と1次トリアージを 行った。その負傷者が救護所に搬送され、 2次トリアージを行い、1)軽症:緑、2)中等症: 黄色、3)重症:赤の救護テントで応急処置と救急搬送を行った。トリアージセンターを盛岡赤十字病院、軽症エリアを看護協会、中等症エリアを県立中央病院、重症エリアを岩手医大が担当した。医療救護所訓練を終了した盛岡市立病院チームが途中より中等症エリアへ参加した。傷病者計30名、うち重症8名、中等症10名、軽症12名の訓練であった。

- (2)医療救護所開設運営訓練:災害発生数日後、 避難所となった高松小学校体育館にて避難 所生活の一般住民が体調不良を訴えて医療 救護所を受診という想定のもと、盛岡市立病 院チームが担当し救護所診察訓練を行った。
- (3)病院支援訓練、負傷者受入訓練:県立中央 病院に多数の傷病者が集まり、トリアージ 及び診療を実施した。また応急救護所から 救急搬送患者の受入訓練を行った。
- (4)DMAT活動拠点大学本部運営訓練:DMAT 参集指示により県立中央病院に岩手医大、 県立中央病院DMATが参集し、高松小学 校応急救護所へ派遣した。 (久保直彦)

寄 稿

令和元年度盛岡市総合防災訓練 「病院支援訓練・負傷者受入訓練」参加報告

岩手県立中央病院 災害医療部長 中 村 昭 浩

令和元年11月2日、盛岡市総合防災訓練が開催されました。

今回の訓練の一部、受入訓練は当院の 院内防災訓練との共同開催という形(第 2回院内BCP訓練)で行われ、土曜日に もかかわらず各部署から70名以上が参加 しました。災害想定は、「11月2日10: 25頃、盛岡市を中心に震度6強の大地震 が発生し、家屋の倒壊や交通事故、転 落、転倒のため多数の傷病者が発生し救 急車や自家用車等で当院に来院した」と いうものでした。模擬患者の想定傷病が ほぼ例年通りということもあってか、比 較的速やかに検査、処置が行われていま した。訓練慣れしているところがありま すが、実際には訓練通りに事が運ぶはず もなく、今後の訓練には工夫が必要と感 じました。盛岡消防本部や周辺住民との 連携を重視した共同訓練も模索していく 必要があります。

令和元年は台風15号、19号により甚大な被害に見舞われ、あらためて災害列島日本を皆が自覚した年でした。地震、火山、人的災害、台風水害と想定される災害は盛岡地域でも多岐にわたります。また、

災害規模も大型化し、毎年のように想定 外のことが起きています。災害を防ぐこと はできませんし、傷病者をゼロにすること もできません。今後は防災から減災への 具体的な取り組みが必要かもしれません。

災害という非日常を日常のものと意識 するのは容易なことではありません。災 害対策の考え方として、「目的防災」と「結 果防災しという考え方があるそうです。 「目的防災」とは今回のような災害訓練 を指し、一方、「結果防災」とは結果と して災害時に防災あるいは減災につなが る日常の取り組みを指すそうです。昨今、 病院のカルテはその多くが電子化されて おり災害時にはその機能の大半が失われ る恐れがあると危惧されています。当院 でも電子カルテが運用されております が、救急外来では紙カルテ運用を継続し ています。これは「結果防災」への取り 組みであり、災害訓練でのスムーズなカ ルテ運用に生かされていると思います。 今後、医療機関のみならず住民、消防、 警察、行政の災害に関わるすべてが「結 果防災」に対しても意識を高める必要が あると思います。



盛岡市総合防災訓練に参加して

岩手県立中央病院 看護師 遠 藤 満

今回の盛岡市総合防災訓練では、当 院災害拠点病院の役割であるDMAT参 集拠点本部を設置し、当院DMAT、岩 手医科大学附属病院DMATが参集し ました。その後、活動要請を受け当院 DMATは、高松小学校へ出動しました。

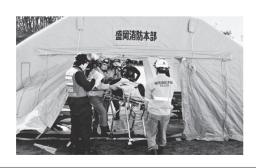
当院DMATはトリアージ訓練・医療 救護訓練を主とし、医師1名、看護師2 名、業務調整員1名にて救護所における 黄色エリアの診療を担当しました。現場 到着後、チームでのミーティングとエリ ア内のレイアウトを行いましたが、医師 を中心とし意見を出し合いながら、ス ムーズな設置を行うことができました。 活動開始直後は搬入傷病者に対し、どう 対応していくか迷う部分もありました が、そこでの注意点を早急に情報共有し、 修正することでその後の対応にも変化が 出てきました。お互いが声を出し合い、 エリア内で協同することで診察、治療、 搬送までの流れをスムーズに実施するこ とができました。

これまでDMATとしての実働や様々

な訓練に参加してきましたが、やはり確 実な情報共有と現場でのニーズに対する 共通認識、そして状況に応じた柔軟な対 応が必要だと改めて感じました。

実際の災害現場では情報はもちろん、 思考や行動まで混乱することが予測され ます。そのような状況では災害や傷病者 の情報をできる限り早く収集し、ニーズ や状況の把握、そしてその後の支援活動 に備えていく必要があります。看護師と しての役割発揮はもちろんですが、今 回、地域の方々との訓練を通して、固定 観念に捉われることなくお互いが協力し 支援を行っていくことが大切だと感じま した。

災害はいつ発生するか分かりません。 平時にできないことを緊急時に行うのは 非常に困難であり、日常からの訓練や準 備が大切になってきます。今後、それぞ れが災害に対する認識を高められるよう 訓練等、積極的に取り組んでいきたいと 思います。





盛岡市総合防災訓練に参加して

盛岡市立病院 看護師 武 藤 里 佳

11月2日出高松小学校の校庭において、盛岡市総合防災訓練が行われました。 訓練は大規模なもので、校庭にはトリアージテントや、災害によって崩壊した と想定された家屋が設置されており、その周囲には大勢の消防の方や盛岡市民の 皆さんが集まっていて規模の大きさに驚きました。

私は仮設施設での診察の介助を行いましたが、消防団の方々が模擬患者役として参加して下さり、医師の指示のもと簡易検査や血圧測定を行いました。限られた物品や薬剤、検査機器の状況で医療を行わなくてはならず、普段は総合病院で働いていますが充実した環境で看護が出来ること、患者として医療を受けられる事がどれだけ幸せなことかを実感しました。

その後には応急救護所でのトリアージ 訓練にも参加させて頂きました。大規模 災害発生時に被災傷病者を重症度により 選別し、応急処置を行い、より重症度の 高い患者から後方支援病院に搬送すると いう内容の訓練でした。岩手医科大学附属病院と岩手県立中央病院と盛岡赤十字病院のDMATチームが中心になりトリアージをしており、災害看護に知識のある医療者が処置や搬送を行うと、普段の病院勤務とは環境が大きく違うのにも関わらず戸惑うことなくスムーズに処置を行い、各所に連絡をして患者を安全に早急に搬送できるのだと思いました。

私が震災を経験したのは看護学生の頃です。当時、病院がどのような動きをして患者の安全を守ったのか経験していません。経験がないからこそ、この訓練に参加して災害看護を学ぶことができ良い機会となりました。震災を経験してからは災害ということに医療者だけでなく市民の皆さんも意識が高まったと思います。地震だけでなく最近では台風が猛威を振るい自然災害が多発しています。今回、経験した訓練を活かして災害発生時は看護師としての役割を担っていきたいです。

医療救護訓練

(於:高松小学校校舎)

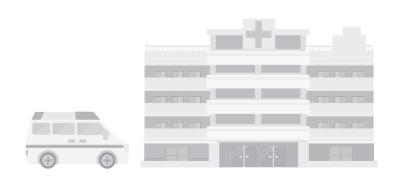
訓練概要:この訓練は、大規模災害発生から 数日後、避難所生活をされている一般住民 が体調不良等により医療救護所で医師(看 護師)から診察を受ける訓練。救護所に来 所された傷病者を重症度により選別し、応 急処置を行ない(簡易カルテへの記載も含む)、必要に応じて後方病院へ搬送する(想定)という内容。模擬患者は数名。

傷病者は、負傷部位や病名を記入した、 カード(首からぶら下げるプレート)を着用。









トリアージ訓練・医療救護訓練・応急救護所開設訓練 (於:市立高松小学校 校庭・校舎)

訓練概要:この訓練は、大規模災害発生時に 現場近くで被災傷病者を重症度により選別 し、応急処置を行ない、より重症度の高い 患者から後方病院へ搬送するという内容の 訓練。模擬患者が数十名ほど用意され、救 急隊が一次トリアージを行ない、会場に設 定された救護所に搬送。参加者には災害時 の医療班として救護所におけるトリアージ 及び医療救護を行っていただきます。救護 班長(医師)の指示に従い、次々と運ばれ る患者の処置を行ない、救急搬送の必要弦 患者を選別し、搬送可能な状態にして搬送 順位を決めて搬送するという内容。







盛岡赤十字病院(救護班)、岩手医大 DMATとの合同で実施。

傷病者は、負傷部位や病名を記入したビ ブスを着用。









病院支援訓練・負傷者受入訓練

(於:県立中央病院)

訓練概要:この訓練は大規模停電が発生し、 開業医が自院で治療を行えない状況の中、 岩手県立中央病院に多数の傷病者が集まり トリアージ及び診療を実施する。













11. 岩手県小児救急電話相談事業実績

はじめに

平成16年10月より、岩手県では「看護師によるこども救急相談電話」事業を実施している。この事業は、岩手県から岩手県医師会が受託し、実務的な業務は盛岡市医師会に委託されている。この相談員は、岩手県看護協会が推薦し、盛岡市医師会が雇用するものとし、9名を登録している。

相談業務は年中無休で午後7時から午後11時まで行われ、登録した看護師のうち2名ずつで担当している。相談内容の検証、より良い相談方法、相談員の技術向上のため、毎月1回相談員全員と小児科医3~4名が同席し、相談事例の検討会を行っている。その内容は市医師会の理事会で毎月報告されている。

1. 相談件数推移 (H16.10~R 1.12)

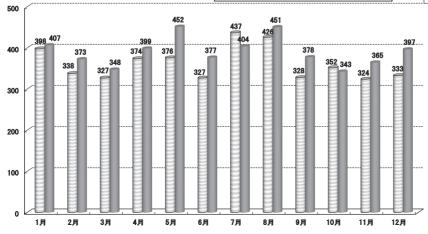
(件)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
平成 16 年	-	-	-	_	-	-	-	-	-	122	118	104	3,344	114.7
平成 17 年	118	224	281	185	219	199	191	145	138	200	169	248	2,317	193.1
平成 18 年	172	163	184	193	243	207	182	174	149	191	225	332	2,415	201.3
平成 19 年	220	221	271	245	239	226	189	175	191	172	251	347	2,747	228.9
平成 20 年	236	225	197	205	222	212	217	210	201	214	250	380	2,769	230.8
平成 21 年	296	266	262	242	276	274	209	249	309	454	493	494	3,824	318.7
平成 22 年	348	317	343	285	359	317	332	307	242	269	346	413	3,878	323.2
平成 23 年	368	325	297	262	350	314	351	345	307	303	331	360	3,913	326.1
平成 24 年	333	360	330	349	323	260	291	306	288	314	351	320	3,825	318.8
平成 25 年	305	255	277	303	331	297	297	334	362	314	292	353	3,720	310.0
平成 26 年	277	246	331	301	283	257	285	331	272	267	291	408	3,549	295.8
平成 27 年	364	256	240	245	325	279	268	305	288	283	309	350	3,512	292.7
平成 28 年	301	337	337	369	333	311	330	341	336	308	313	396	4,012	334.3
平成 29 年	297	261	258	315	391	367	376	372	309	352	338	352	3,988	332.3
平成 30 年	398	338	327	374	376	327	437	426	328	352	324	333	4,340	361.7
令和元年	407	373	348	399	452	377	404	451	378	343	365	397	4,694	391.2

2. 月別件数(前年度との比較)

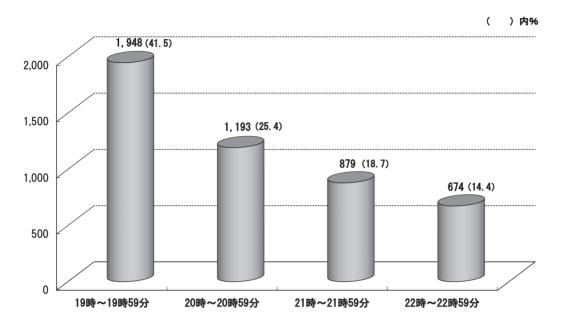
◇平成30年 4,340件(平均:361.7件)
◆令和元年 4,694件(平均:391.2件)

□平成30年 ■令和元年

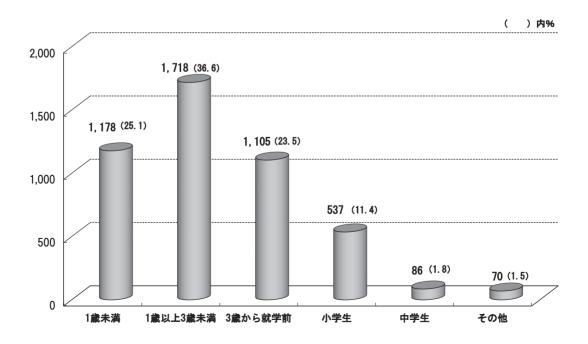


-160 -

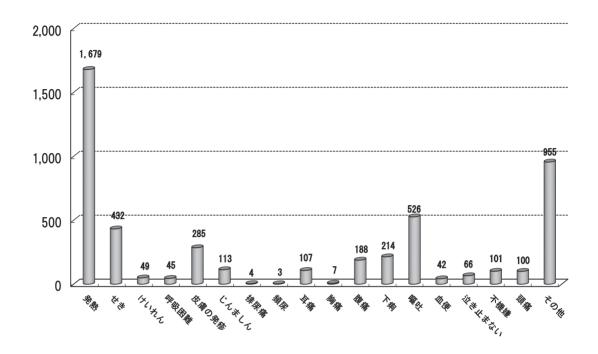
3. 時間帯別内訳 (H31.1~R1.12)



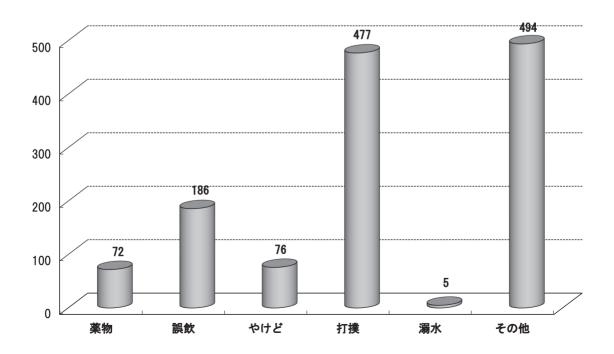
4. 年齢別内訳 (H31.1~R1.12)



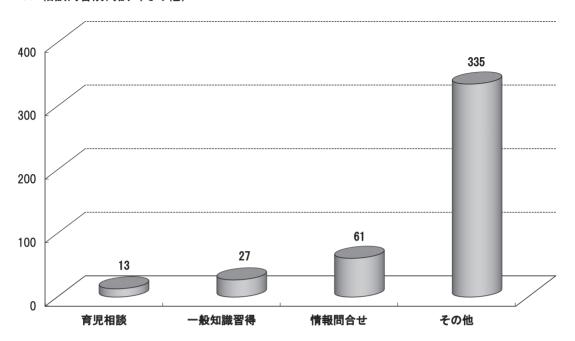
5. 相談別内容 (病気)



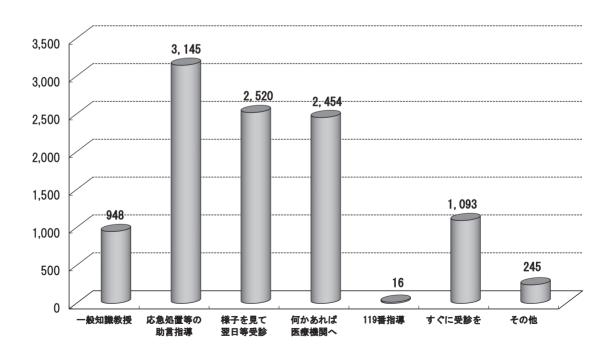
6. 相談内容別内訳(事故)



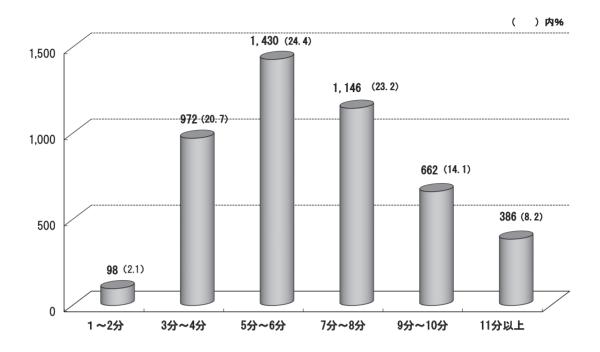
7. 相談内容別内訳(その他)



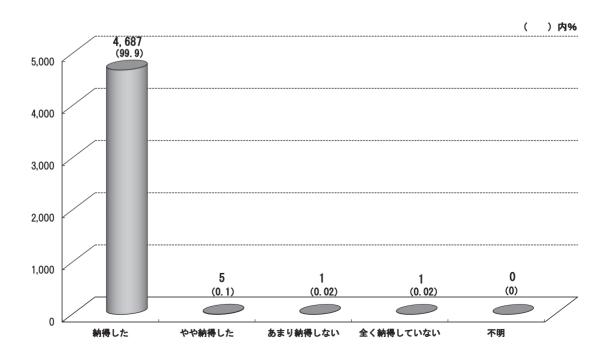
8. 対応内容別内訳 (H31.1~R1.12)



9. 相談時間別内訳 (H31.1~R1.12)



10. 相談者の印象別内訳(H31.1~R1.12)



11. 市町村別件数(H31.1~R1.12)

市町村名	相談件数	() 内%
市 部 計	4,059	(8.03)
盛岡市	1,535	(32.70)
宮 古 市	137	(2.92)
大船渡市	78	(1.66)
奥 州 市	436	(9.29)
花 巻 市	407	(8.67)
北上市	392	(8.35)
久 慈 市	58	(1.24)
遠 野 市	71	(1.51)
一関市	435	(9.27)
陸前高田市	30	(0.64)
釜 石 市	63	(1.34)
二戸市	51	(1.09)
八幡平市	71	(1.51)
滝 沢 市	295	(6.28)
岩 手 郡	93	(1.98)
雫 石 町	38	(0.81)
葛 巻 町	9	(0.19)
岩 手 町	46	(0.98)
紫 波 郡	290	(6.18)
紫 波 町	147	(3.13)
矢 巾 町	143	(3.05)
県 外	24	(0.51)
不 明	4	(0.09)

市町村	名	相談件数	() 内%
和賀	郡	5	(0.11)
西和賀	町	5	(0.11)
	郡	56	(1.19)
金ヶ崎	町	56	(1.19)
西磐井	郡	20	(0.43)
平 泉	町	20	(0.43)
気 仙	郡	9	(0.19)
住 田	町	9	(0.19)
上閉伊	郡	14	(0.30)
大 槌	町	14	(0.30)
下閉伊	郡	44	(0.94)
山田	町	20	(0.43)
岩泉	町	18	(0.38)
田野畑	村	2	(0.04)
普 代	村	4	(0.09)
九戸	郡	55	(1.17)
軽 米	町	13	(0.28)
洋 野	町	17	(0.36)
野田	村	12	(0.26)
九戸	村	13	(0.28)
二戸	郡	21	(0.45)
一戸	町	21	(0.45)
合	計	4,694	件

おわりに

令和元年の電話相談の月平均は391.2 件であった。平成16年の開設当初は月平均114.7 件だったが、その後右肩上がりに増加し、平成21年以降は300件台前半で推移していたが、26年に一度減少するも28年から増加傾向に転じ、令和元年は390件を超え過去最高となった。年齢別内訳では3歳未満が61.7%を占め、発熱に関する相談(34.2%)が最も多いという傾向は例年同じである。市町村別では、盛岡市からの相談が25.2%と最も多く、その他全県下から相談が寄せられているが、県外からの相談も0.5%認めた。また、相談時間が長くなるケースもみられ、対応に苦慮する事例も少なくない。しかし相談者の99.9%は相談員の対応に納得しており、適切に対応しているといえる。「はじめに」で述べたように、相談員は事例検討会を開催したりするなど日々の相談技術の向上に努めており、その努力に敬意と感謝を表したい。

VI 救急医療年譜

- 昭和40.1.10 休日当番医制発足(内科、一日2ヵ所)
 - 41.7 休日当番医制に小児科および外科(それぞれ1日1ヵ所)が参加
 - 51.12. 1 盛岡市夜間急患診療所が少年センター内(中の橋際、旧商工会議所)に開設
 - 53. 3. 岩手県医薬課より岩手県医師会、盛岡市医師会に二次体制確立要請
 - 53. 6.16 盛岡市夜間急患診療所開設 1 周年記念式典開催
 - 54.12. 1 盛岡地区二次救急医療体制発足、二次救急病院群輪番制 9 病院にて開始

岩手県立中央病院 盛岡市立病院 盛岡赤十字病院

岩手医科大学附属病院 遠山病院 高松病院 栃内病院 河南病院 はらた病院

- 55.11.1 岩手県高次救急センター開設
- 56. 9.10 盛岡市夜間急患診療所開設 5 周年記念懇談会開催
- 56.12 内丸病院が二次救急病院群輪番制に参加
- 57.2.6 盛岡市夜間急患診療所が若園町・市役所若園町分庁舎1階に移転、診療開始
- 57.10.15 盛岡市夜間急患診療所診療時間の変更 (夜 8:00 ~ 12:00 →夜 7:30 ~ 11:30)
- 58.7 はらた病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 62.11.1 盛岡市夜間急患診療所が肴町盛岡市保健センター2階に新築移転、診療開始
- 62.11.14 盛岡市夜間急患診療所落成式開催
- 平成 4.4.1 盛岡市·都南村合併
 - 5.1 河南病院が二次救急病院群輪番制を辞退
 - 7. 4. 1 盛岡繋温泉病院・盛岡友愛病院・川久保病院が二次救急病院群輪番制に参加 輪番病院を南北2ヶ所におく
 - 8.12. 7 盛岡市夜間急患診療所開設 20 周年記念式典開催
 - 11.4.1 小児救急病院群輪番制7病院にて開始

岩手県立中央病院 盛岡市立病院 盛岡赤十字病院

岩手医科大学附属病院 川久保病院 国立療養所盛岡病院

もりおかこども病院

- 11.11. 1 盛岡市夜間急患診療所診療時間の変更(夜7:30~11:00→夜7:00~11:00)
- 12.4.1 国立療養所盛岡病院が二次救急病院群輪番制に参加
- 12. 9. 1 南北にそれぞれおいていた輪番病院を A、B の二グループに変更

Aグループ

岩手県立中央病院 盛岡赤十字病院 岩手医科大学附属病院

Bグループ

盛岡市立病院 遠山病院 高松病院 栃内病院 内丸病院 盛岡繋温泉病院 盛岡友愛病院 川久保病院 国立療養所盛岡病院

- 13. 2.22 盛岡地区二次救急医療体制 20 周年記念式典開催
- 14. 2. 1 岩手県高次救急センターを「岩手県高度救命救急センター」と改称
- 14.9.1 国立療養所盛岡病院が小児救急病院群輪番制を休止

- 16.10.1 看護師によるこども救急電話相談の開設
- 17.4.1 川久保病院が小児救急病院群輪番制を休止
- 17.9.1 西根町・松尾村・安代町が合併し「八幡平市」となる
- 18. 1.10 玉山村が盛岡市と合併
- 19.324 盛岡市夜間急患診療所開設 30 周年を祝う会開催
- 19.4.1 盛岡市立病院が小児救急病院群輪番制を休止 (産婦人科も休止)
- 20.4.1 内丸病院が二次救急病院群輪番制を辞退
- 20. 4. 1 盛岡市が中核市となる 盛岡市夜間急患診療所が盛岡市保健所(神明町:旧競馬会館ビル)に移転開設
- 20.6.14 岩手・宮城内陸地震発生(最大震度6強)
- 20.6 盛岡市医師会災害時対応マニュアルの作成(全会員へ送付)
- 20. 7.24 岩手県沿岸北部を中心とする地震発生(最大震度6強)
- 21.1 川久保病院が小児救急病院群輪番制を再開
- 21.3 メキシコにおける豚インフルエンザの発生
- 21.5 新型インフルエンザの国内発生
- 21.6 新型インフルエンザの県内発生
- 21.10 夜間急患診療所小児科診療を 2 人体制で対応(H 22.1.3 まで)
- 21.11.26 盛岡地区二次救急医療体制 30 周年記念式典開催
- 22. 4. 1 八角病院が二次救急病院群輪番制に参加(B群病院として)
- 23. 3.11 東北太平洋沖地震発生(後に東日本大震災)PM2:46 発災、マグニチュード9.0 (最大震度7)、津波による死者・行方不明者19.000 人超
- 23. 3.12 遺体検案応援が始まる(盛岡市・岩手郡・紫波郡医師会は6月まで応援)
- 23. 5. 7 山田町保健センター救護所への当直応援開始(7/3まで) ※盛岡医師会・岩手郡医師会・二戸医師会で派遣対応
- 23. 7.10 岩手県立山田病院 仮設診療所への日曜・祝祭日の当直応援開始 ※盛岡医師会・岩手郡医師会・二戸医師会で派遣対応
- 23. 8. 7 岩手県医師会高田診療所への診療応援開始 ※各診療部会で派遣対応
- 24.5.8 岩手県による「ドクターヘリ」が運行開始(岩手医大矢巾キャンパス基地)
- 24.12.30 岩手県立山田病院 仮設診療所への日曜・祝祭日の当直応援終了
- 25. 8. 9 大雨により「大雨洪水警報」発令 雫石町国道 46 号線付近で乗用車・バスが孤立、消防本部による救助活動有
- 25. 9.16 台風 18 号の影響により玉山区松川が氾濫、浸水地域で消防本部による救助活動有
- 26. 1. 1 滝沢村が「滝沢市」となる
- 28. 3.20 岩手県医師会高田診療所への診療応援終了 (閉所式)
- 28. 8.31 台風 10 号の影響により、岩泉町・久慈市など沿岸地域に甚大な洪水被害有死者・行方不明者 24 名
- 29. 3.13 岩手医科大学附属病院新築工事起工式

- 31. 3. 1 国立病院機構盛岡病院が「国立病院機構盛岡医療センター」に名称変更
- 31.4.1 もりおかこども病院が「子どもは未来もりおかこどもクリニック」に名称変更 (無床化のため小児救急病院群輪番制を中止)
- 令和 1.5.20 岩手県立中央病院 (隣接地) にヘリポート完成
 - 1.6.18 国立病院機構盛岡医療センターが重症心身障がい者病棟(さくら病棟)を開棟
 - 1. 7.20 岩手医科大学附属病院(矢巾)竣工
 - 1. 9.21 岩手医科大学附属病院(矢巾)・内丸メディカルセンター開院
 - 1. 9.24 岩手医科大学附属病院(矢巾)外来診療開始
 - 1.10. 1 国立病院機構盛岡医療センターが小児救急病院群輪番制への参加を再開 (平成 14 年 9 月に休止)
 - 1.12 中国湖北省武漢市における新型コロナウイルス発生

WI 規程・協定書及び設置要項等資料

1. 盛岡市夜間急患診療所運営協議会会則

(昭和52年2月1日盛岡市長決裁)

改正 昭和 52 年 4 月 19 日 昭和 55 年 12 月 1 日 平成 9 年 4 月 1 日

> 平成20年4月1日(平成20年4月1日副市長専決) 平成22年4月1日(平成22年3月3日副市長専決) 平成24年6月1日(平成24年5月30日副市長専決)

- 第 1 条 盛岡市夜間急患診療所(以下「診療所」という。)の円滑な運営を図るため、盛岡市 夜間急患診療所運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。
- 第 2 条 協議会は、次に掲げる団体等をもって組織し、事務局を盛岡市保健所企画総務課内に 置く。
 - (1) 盛岡市医師会
 - (2) 盛岡薬剤師会
 - (3) 岩手県看護協会
 - (4) 盛岡市
- 第 3 条 協議会は、次に掲げる事項について協議決定の推進に努めるものとする。
 - (1) 診療所における医師その他従事者の勤務に関すること。
 - (2) 診療所において生じた事故処理に関すること。
 - (3) 診療所の事務改善に関すること。
 - (4) その他診療所の運営に必要な事項に関すること。
- 第 4 条 前条各号に掲げる事項を審議するため、協議会に次の各号に掲げる構成団体の区分に 応じ、当該各号に定める数の委員を置く。
 - (1) 盛岡市医師会 7人
 - (2) 盛岡薬剤師会 2人
 - (3) 岩手県看護協会 1人
 - (4) 盛岡市 2人
- 2 委員の任期は、2年とする。ただし、補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 第 5 条 協議会に会長及び副会長1人を置く。
 - (1) 会長及び副会長は、委員の互選とする。
 - (2) 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
 - (3) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 第 6 条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。
- 第 7 条 協議会の事務を処理させるたぬ協議会に事務局長及び事務局職員を置く。
 - 2 事務局長は盛岡市職員のうちから、事務局職員は構成団体職員のうちから会長が委嘱する。
- 第 8 条 この会則に定あるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って 定ある。

附則

この規約は、昭和52年4月19日から施行する。

附則

- この規約は、昭和55年12月1日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成9年4月1日から施行する。
- 附 則 この規約は、平成20年4月1日から施行する。 附 則
- この規約は、平成22年4月1日から施行する。 附 則
- 1 この規約は、平成24年6月1日から施行する。
- 2 第4条の2の規定によらず、平成24年6月1日から委嘱する委員の任期については、 平成24年6月1日から平成26年3月31日までの1年10か月とし、その後に委嘱す る委員の任期については、従前のとおりとする。

2. 災害時の医療救護活動に関する協定書

盛岡市医師会長 石 川 育 成

近時、集団災害時医療救助の体制確立は大きな社会問題であると同時に焦眉の急である。

外国に目を移すとその救助活動は目を見張るものであり、残念乍ら我が国は「富国日本は金も出さず人も出さず国際的役割を果たしていない」と批判の的であると言う。国内の体制が整備されない現実を視ればそれも頷かざるをえない事実であろう。

過去を省みるまでもなく、国内に発生した集団災害の医療救助体制は付け焼刃であり必ずしも満足出来るものではない。災害対策基本法に基づいて夫々の地方自治体に体制が現存するとは言え、過去においてその体制の本格的作動は皆無に近い。

地方小都市と言えども集団災害に無縁ではない。近年の高層ビルの林立は集団災害発生の素地を 有し、飛行機事故、大地震、津波等々の発生予見は不可能である。斯かる事態発生を想定しての医 師集団率先による具体的体制確立が急務であることは言を待たない。

盛岡市医師会は数年来、斯かる問題に鋭意検討、研究を重ねて来たところであるが、出動時の死傷補償が大きな壁であった。然し乍ら補償問題決着の待事では増があかず、体制確立と平行しての行政接衡を条件とし、医道・医心を弁えた会員の総意による『盛岡市医師会災害救助隊設置要項』が昭和61年5月の総会承認を得たのである。

此の度盛岡市当局は勇断をもって盛岡市医師会との協定を締結したが、この協定は医師集団の理念を充分理解したものであり、この実績が県内各市町村に波及する事によって15郡市医師会の足並みが完全に揃い、岩手県医師会の提唱する大目的が達成される原動力になる事を期待するものである。

此の種の問題は画一的にとらえて実行に移す事は極めて困難な部分が多い。地域環境、会員数等々の地域事情も考慮しなければならないが、災害における人命救助活動は医師集団の組織活動力以外にない。地域事情の困難性を越えての体制作りこそ医師集団への期待と信頼が倍加する事になろう。

岩手県医師会は災害救助体制確立を急務としている。底辺からの対応策の集積が「岩手県と岩手県医師会」「岩手県医師会と郡市医師会」「郡市医師会と市町村」「岩手県と市町村」の協定図式の 基盤となる事は明白である。

「盛岡地区救急医療体制のあゆみ 1988」より

① 岩手県と岩手県医師会との協定書

岩手県(以下「甲」という。)と社団法人岩手県医師会(以下「乙」という。)は災害時における 医療救護について、次のとおり協定を締結する。

(趣 旨)

第1条 この協定は岩手県地域防災計画に基づき、甲が行う医療救護に対する乙の協力に関し、必要な事項を定めるものとする。

(医療班の派遣)

- 第2条 甲は、岩手県地域防災計画に基づき、医療救護活動を実施する必要が生じた場合は、乙に対し医療班の編成及び派遣を要請するものとする。
 - 2 乙は、前項の規定により甲から要請を受けた場合は、直ちに医療班を編成し災害現場等の救 護所等に派遣するものとする。

(自主出動)

- 第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待っいとまがないときは、自主的に 被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療班を派遣する必要があると認あた場合は、自主 的に医療班を編成して、派遣することができる。
- 2 乙は、前項の規定により医療班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。
- 3 乙が前項の規定により派遣した後において、甲が前条に基づき医療班の派遣が必要と認あたと きは、乙が派遣したときに要請があったものとみなす。

(災害医療救護計画)

第3条 乙は、前2条の規定により医療救護活動の円滑な実施を図るため、災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出するものとする。

(医療班に対する指揮)

第4条 医療救護活動の総合調整を図るため、乙が派遣する医療班に対する指揮は、甲が指定する ものが行う。

(医療班の業務)

- 第5条 乙が派遣する医療班は、甲または市町村が避難所及び災害現場等に設置する救護所において医療救護活動を行うことを原則とする。
 - 2 医療班の業務は次の通りとする。
 - (1) 傷病者に対する応急処置及び医療
 - (2) 傷病者の収容医療機関への転送の要否及び転送順位の決定
 - (3) 被災者の死亡の確認

(医薬品等の供給)

第6条 乙が派遣する医療班が使用する医薬品等は、当該医療班が携行するもののほか、甲が供給 するものとする。

(収容医療機関の指定)

第7条 乙は、甲が傷病者の収容医療機関を指定しようとするときは、これに協力するものとする。

(医療費)

- 第8条 救護所における医療費は無料とする。
- 2 収容医療機関における医療費は、原則として患者負担とする。

(費用の弁償等)

- 第9条 甲の要請に基づき、乙が医療救護活動を実施した場合に要する次の費用は、甲が負担する ものとする。
 - (1) 医療班の編成及び派遣に要する経費
 - (2) 医療班が携行した医薬品等を使用した場合の実費
 - (3) 医療班員が医療救護活動において負傷し、疾病にかかりまたは死亡した場合の扶助金
 - (4) 前各号に該当しない費用であって、この協定実施のために要したもの

(細 目)

第10条 この協定を実施するための必要な事項については、別に定める。

(協議)

第11条 この協定に定めのない事項、またはこの協定に関し疑義が生じた事項については、甲乙協議のうえ定めるものとする。

(有効期間)

第12条 この協定の有効期間は、協定の締結の日から起算して1年間とする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1月前までに、甲乙いずれからも何らかの意思表示がないときは、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間この協定は延長され、以降同様とする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙者記名押印のうえ、各自その1通を保有する。

平成 10 年 3 月 19 日

甲 岩 手 県 代表者 岩手県知事 増 田 寛 也

乙 盛岡市菜園二丁目8番20号 社団法人 岩手県医師会 会 長 石 川 育 成

② 岩手県医師会と盛岡市医師会との協定書

社団法人岩手県医師会(以下「甲」という。)と社団法人盛岡市医師会(以下「乙」という。)とは、平成元年4月20日岩手県知事と岩手県医師会長との間に締結された「災害時の医療救護に関する協定書」に基づき、災害時の医療救護活動について、次のとおり協定を締結する。

(総 則)

第1条 この協定書は、岩手県地域防災計画に基づき、岩手県が行う医療救護活動に対し、岩手県 知事と岩手県医師会長との間に協定された災害時の医療救護活動についての乙の協力に関し、必 要な事項を定める。

(医療救護班の派遣)

- 第2条 甲は、医療救護活動を実施する必要が生じた場合は乙に対し、医療救護班の派遣を要請するものとする。
- 2 乙は、前項の協定により、甲から要請を受けたときは、直ちに乙の災害医療救護計画に基づき、 医療救護班を派遣するものとする。

(自主出動)

- 第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待ついとまがないときは、自主的に 被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療班を派遣する必要があると認めた場合は、自主 的に医療班を編成して、派遣することができる。
- 2 乙は、前項の規定により医療班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。
- 3 乙が、前項の規定により派遣した後において、甲が前条に基づき医療班の派遣が必要と認めた ときは、乙が派遣したときに要請があったものとみなす。

(災害医療救護計画)

第3条 乙は、医療救護活動の円滑な実施を図るため災害医療救護計画を策定し、これを甲に提出 するものとする。

(指揮命令)

第4条 医療救護班に係る指揮命令及び医療救護活動の連絡調整は、甲の指定する者が行うものと する。

(医療救護班の業務)

- 第5条 乙が派遣する医療救護班は、岩手県または市町村が避難場所、避難所及び災害現場等に設置する救護所において医療救護を行う。
- 2 医療救護班の業務は次のとおりとする。
- (1) 傷病者に対する応急処置及び医療
- (2) 傷病者の収容医療機関への転送の要否及び転送順位の決定
- (3) 被災者の死亡の確認

(医薬品等の供給)

第6条 乙が派遣する医療救護班が使用する医薬品等は、当該医療救護班が携行するもののほか、 原則として岩手県が供給するものとする。 (収容医療機関の指定)

第7条 乙は、岩手県が地域防災計画に基づく収容医療機関を指定しようとするときは、これに協力するものとする。

(医療費)

- 第8条 救護所における医療費は無料とする。
- 2 収容医療機関における医療費は、原則として患者負担とする。

(費用弁償等)

- 第9条 甲の要請に基づき、乙が医療救護活動を実施した場合に要する次の費用については、乙が 甲に請求するものとする。
 - (1) 医療救護班の編成及び派遣に要する経費
 - (2) 医療救護班が携行した医薬品等を使用した場合の実費
 - (3) 医療救護班員が医療救護活動において負傷し、疾病にかかり、または死亡した場合の扶助金
 - (4) 前各号に該当しない費用であって、この協定実施のために要したもの
- 2 前項第1号、第2号の定めにより請求する費用弁償等の額については、岩手県知事と岩手県医 師会長との間に締結された「災害時の医療救護に関する協定書及び同実施細則」によるものとする。 (費用弁償等の請求、報告)
- 第10条 前条の定めによる費用弁償等の請求、報告については、医療救護活動終了後、速やかに 乙が一括して別に定める方式により甲に請求、報告するものとする。

(費用弁償等の支払)

第11条 甲は、乙からの請求、報告に基づき費用弁償等を岩手県へ請求するものとし、岩手県から入金後速やかに乙に支払うものとする。

(協議)

第12条 前各条に定めのない事項及び協定実施にあたって疑義を生じた場合には、甲乙協議のう え決定するものとする。

(有効期間)

第13条 この協定の有効期間(以下「協定機関」という。)は、協定の締結の日から起算して1年間とする。ただし、この協定の有効期間満了の日の1月前までに、甲乙いずれからも何らかの意思表示がないときは、有効期間満了の日の翌日から起算して1年間この協定は延長され、以降同様とする。

この協定を証するため、本書2通を作成し、甲乙両者記名押印のうえ各自その1通を保有する。

平成 10 年 3 月 31 日

岩手県盛岡市菜園二丁目8番20号

甲 社団法人 岩手県医師会

会 長 石川 育成

岩手県盛岡市愛宕町18番6号

乙 社団法人 盛岡市医師会

会 長 小 林 高

③ 盛岡市と盛岡市医師会との協定書

盛岡市(以下「甲」という。)と社団法人盛岡市医師会(以下「乙」という。)とは、災害が発生 した場合の医療救護活動について、次のとおり協定を締結する。

(趣 旨)

- 第1条 この協定は、盛岡市地域防災計画(以下「防災計画」という。)に基づき、甲が乙の協力 を得て行う医療救護活動を円滑に実施するため、その実施に関し必要な事項を定めるものとする。 (医療救護班の派遣)
- 第2条 甲は、防災計画に基づく医療救護活動を行う必要が生じたときは、乙に対し、医師、看護婦等で編成する医療救護班(以下「医療救護班」という。)の派遣を要請するものとする。
- 2 乙は、前項の規定により甲の要請を受けたときは、直ちに、医療救護班を甲の指定する場所に 派遣するものとする。
- 第2条の2 乙は、甲と連絡がとれないとき又は派遣の要請を待っいとまがないときは、自主的に 被災地の情報収集を行い、その結果、緊急に医療救護班を派遣する必要があると認めた場合は、 自主的に医療救護班を編成して、派遣することができる。
- 2 乙は、前項の規定により医療救護班を派遣したときは、遅滞なく甲に報告するものとする。 (医療救護班の業務)
- 第3条 医療救護班の業務は、次のとおりとする。
 - (1) 傷病者に対する応急処置
 - (2) 後送医療施設への転送の要否及び転送順位の決定
 - (3) 助産
 - (4) 死亡の確認

(医療救護班の輸送)

第4条 医療救護班の輸送は、原則として甲が行う。

(救護所の設置)

- 第5条 甲は、災害の状況により必要に応じて救護所を設置する。
- 2 甲は、前項に定めるもののほか、災害の状況により必要と認あたときは、医療救護活動が可能 な被災地周辺の医療施設に乙の協力を得て救護所を設置する。

(使用医薬品等)

- 第6条 医療救護活動に使用する医薬品、医療材料その他医療関係物品(以下「医療品等」という。) は、原則として甲が備える医薬品等とする。
- 2 前項の医薬品の輸送は、原則として甲が行う。

(救護所における給食等)

第7条 救護所において必要とする給食及び給水は、甲が行う。

(医療費)

- 第8条 救護所における医療費は、無料とし、患者に対しては請求しないものとする。
- 2 後送医療施設における医療費は、患者が負担する。

(費用弁償)

- 第9条 甲は、次の各号に掲げる費用について、当該各号に定める額を負担する。
 - (1) 医療救護班を派遣したときの人件費災害救助法 (昭和 22 年法律第 118 号) の規定に基づく 実費弁償の程度を基準として、甲、乙協議して定ある額
 - (2) 医療救護班が調達した医薬品等を使用したときのその使用した医薬品等の費用実費の額
 - (3) 後送医療施設及び救護所において行った医療救護活動に伴い、当該後送医療施設及び救護所 の施設又は設備を損傷したときの当該施設又は設備の現状回復に要する費用実費の額
 - (4) 前各号に該当しない費用で、この協定実施のため要したもの甲、乙協議して定ある額 (扶助費)
- 第10条 甲は、医療救護班の医師、看護婦等が医療救護活動において負傷し、疾病にかかり、又は死亡したときは、災害救助法の規定に基づき支給される扶助金の例により扶助費を支給する。 (医事紛争の措置)
- 第11条 医療救護班が医療活動により患者との間に医事紛争が生じたときは、乙は、直ちに甲に連絡するものとする。
- 2 甲は、前項の連絡を受けたときは速やかに調査し、乙と協議の上誠意をもって解決のため適当 な措置を講ずるものとする。

(報 告)

第12条 乙は、医療救護活動終了後速やかに甲の定あるところにより医療救護活動従事者の氏名 及び人数その他医療救護活動の内容を、甲に報告するものとする。

(費用等の請求)

第13条 乙は、第9条の費用及び第10条の扶助費(以下「費用等」という。)を請求するときは、 甲の定めるところにより行うものとする。

(支 払)

第14条 甲は、前条の規定により費用等の請求があったときは、その内容を審査し、適当である と認めたときは、その費用等を乙に支払うものとする。

(協議)

第15条 この協定に定めのない事項又はこの協定について疑義が生じた事項については、甲、乙 協議して定める。

(協定機関)

第16条 この協定の有効期間は、昭和62年10月1日から昭和63年3月31日までとする。ただし、この協定の有効期間満了1月前までに甲、乙いずれかから何ら意思表示がないときは、更に期間満了の翌日から1年間この協定を更新するものとし、以後この例による。

この協定の締結の証として、本書 2 通を作成し、甲、乙記名押印して、それぞれの 1 通を保有するものとする。

平成 11 年 11 月 15 日

甲 盛岡市 代表者 盛岡市長 桑 島 博

乙 盛岡市愛宕町 18番6号 社団法人盛岡市医師会

会 長 小 林 高

3. 盛岡地区二次救急医療対策委員会 設 置 要 項

(設 置)

第1条 盛岡市医師会に二次救急医療対策委員会(以下委員会という)を置く。

(所 掌)

- 第2条 委員会は次に掲げる事項を審議する。
 - (1) 盛岡地区に於ける救急医療対策に関する事項
 - (2) その他二次救急医療対策に伴う必要な事項

(構 成)

第3条 委員会は盛岡市医師会長が任命した委員をもって構成し、委員会に若干名の 常任委員を置く。

(任期)

第4条 委員の任期は盛岡市医師会役員の任期と同じとする。

(委員長)

- 第5条 委員会に委員長を置き委員長は盛岡市医師会長とする。
 - (1) 委員長は会務を総括し会議の議長となる
 - (2) 委員長が事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を 代理する

(会 議)

- 第6条 委員会の会議は必要に応じて委員長が招集する。
 - (1) 会議は委員会と常任委員会の二種とする
 - (2) 委員長は必要があるときは関係者を出席させ説明又は意見を求めることが 出来る

(会議の結果)

- 第7条 委員会は必要に応じて審議した結果を速やかに医師会長に報告する。
- 第8条 本委員会の庶務は盛岡市医師会事務局に於いて処理する

(経 費)

第9条 委員会の経費は補助金、関連医療機関からの拠出金及びその他の収入金をもって充てる。

(1) 拠出金の額は毎年3月に委員会に於いて審議決定する

附 則

第 10 条 この要項は昭和55年4月1日から施行する。

この会則は、平成 2年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成 7年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成 8年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成 9年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成12年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成20年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成22年4月 1日一部改正する。

この会則は、平成24年6月26日一部改正する。

この会則は、平成31年3月 1日一部改正する。

この会則は、平成31年4月 1日一部改正する。

この会則は、令和 2年4月 1日一部改正する。

付 表

-委 員岩 手 医 科 大 学 附 属 病 院 院長 他4名 岩手県立中央病院 院長 他1名 院長 他1名 盛 出 赤 十 字 病 院 岡 市 <u>17.</u> 盛 病 院 院長 他1名 内 院 院長 1名 栃 病 遠 Щ 病 院 院長 1名 盛岡つなぎ温泉病院 院長 1名 岡 友 愛 盛 病 院 院長 1名 Ш 久 俣 病 院長 1名 院 独立行政法人国立病院機構盛岡医療センター 院長 1名 八 角 1名 病 院 院長

夜間急患診療所運営委員 4名

盛 岡 市 医 師 会 理 事 8名

岩 手 西 北 医 師 会 会長 1名 紫 波 郡 医 師 会 会長 1名

その他若干名

以上 37 名以内

Ⅷ 編集後記

2019年4月30日、平成は幕を閉じて、5月1日新天皇が即位され、新しい時代「令和」となりました。令和元年は新天皇即位の明るい話題に始まり、秋にはラグビーワールドカップにおける日本代表チームの活躍があり大いに盛上りましたが、その最中に台風19号による風水害が起き、また京都アニメーションスタジオ放火事件など痛ましい事件も発生しました。そして12月には中国、武漢で新型コロナウイルス感染症が発生し、全世界に広がりパンデミックとなり100年に一度と言われる災厄になってしまいました。日本でも2月から患者発生が報告され、クルーズ船におけるクラスター発生が大きな話題となり、次第に感染者が増えて国が非常事態宣言を出す事態にまで至りました。この原稿を書いている時点で、大都市圏を中心に感染再拡大し第2波と言える状態です。東京オリンピックは延期になり、社会、経済、我々医療界にも大きな影響が出ています。1日でも早く終息し、一年限りの出来事として記録されるように祈ります。

岩手県医療の大きな話題は、岩手医科大学付属病院の矢巾移転であった。1000 床の病院が10 数キロ移転するというのは全国的にも例がなかったそうで、この大きな事業が無事に終了したことは喜ばしい限りであった。この移転に伴い盛岡地域でも各病院が協力し、救急医療にも大きな混乱がなく過ぎた。医大移転後には救急患者の受診行動に変化がみられている。予想されていたことであるが今後とも経過をみて対応していきたい。

2019年は盛岡地区二次救急医療体制発足から40年になります。それを記念し40周年特集と題しました「あゆみ」を発刊いたしました。10年ごと開催していた記念祝賀会などは行わず50年周年に開催することとし、この記念号の発刊のみといたしました。寄稿していただきました各位様、貴重なデータを毎月報告している各医療機関、保健所の事務職員の皆様、盛岡市医師会事務局の皆様に感謝申し上げます。

最後に長年盛岡市医師会理事、副会長、そして会長として救急医療体制の発展に寄与された 和田利彦先生が令和2年4月15日逝去されました。謹んでご冥福を祈り、編集後記といたします。

久保 直彦

※盛岡地区救急医療体制のあゆみ編集委員

吉 田 耕太郎 · 小 山 耕太郎 · 佐々木 一 裕 · 相 馬 淳 金 子 博 純 · 本 間 博 · 橋 本 真 生 · 久保田 公 宜 金 濱 誠 己 · 小 林 有 一 · 三 浦 義 孝 · 久 保 直 彦

盛岡地区救急医療体制のあゆみ

2020

発行日 令和2年10月9日

発行者 盛岡市

盛岡市医師会

盛岡地区二次救急医療対策委員会

印刷所、株、杜、陵、印刷